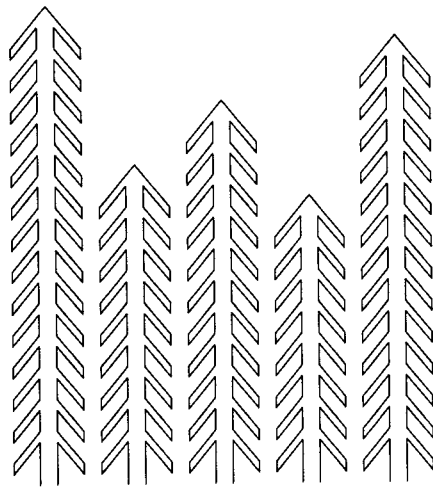


令和8年度

シ ラ バ ス

(※シラバスとは学習計画表のこと)

国語科



愛媛県立内子高等学校 小田分校

令和8年度 内子高等学校 小田分校 シラバス

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	2単位	学 年	1 学年
教科書	高等学校改訂版標準現代の国語(第一学習社)		副教材等	新国語総合ガイド(啓隆社) 常用漢字ダブルクリア(尚文出版) 他			

1 学習の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を高めます。

- 1 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けます。
- 2 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりします。
- 3 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯に渡って読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	世界を広げる 話して伝える 言葉が開く世界	・ 筆者の考える読書の効用について、文章構成をもとに理解し、自分に照らして考えを深めます。 ・ 話し言葉と書き言葉の特徴を理解し、相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解します。 ・ 人間関係を調整する「言葉」と「言葉遣い」の役割について、具体的事例とともに理解を深めます。	期末考查
第2学期	人間と文化 書いて伝える 生活の中での表現	・ 東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握します。 ・ 表記・表現の基本ルールを理解し、接続表現の種類や用法を理解します。 ・ 与えられた資料と会話を関連付けながら、課題に即して必要な情報を読み取り、活用します。	期末考查
第3学期	社会と人間 現代と社会	・ 「弱いロボット」の開発意図を理解し、人との間に生まれた関係性について考えを深めます。 ・ イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察します。	学年末考查

3 評価の規準

【知識・技能】

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持とうとしている。

4 評価方法

各学期の評価は、上記3つの観点から踏まえ、単元テスト、実習の成果物、提出物、学習態度（発表方法や取り組む意欲）、出欠等を基に総合的に評価します。学年末の評価は、各学期の成績を基に算出します。

5 学習のアドバイス

日頃から時事問題に関心を持ち、メディアから情報を収集し、家族や友人と意見を交わしたり、自分の意見をまとめたりしましょう。また、日頃から適切な言葉遣いを心掛けるとともに、積極的に読書に励みましょう。

令和8年度 内子高等学校 小田分校 シラバス

教科	国語	科目	言語文化	単位数	2単位	学 年	1学年
教科書	高等学校改訂版標準言語文化(第一学習社)		副教材等	新国語総合ガイド(啓隆社)、常用漢字ダブルクリア(尚文出版)、学ぶぞ古文と漢文(尚文出版) 他			

1 学習の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を高めます。

- 1 生涯に渡る社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深めます。
- 2 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにします。
- 3 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	小説を読む(一) 古文入門 古文に親しむ 漢文入門 詩の楽しみ 随筆を読む(一) 故事成語	- 話の構成と展開を理解し、せりふや行動から人物像と心情を読み取ります。 - 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知ります。 - 歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解します。 - 訓読のきまりを理解します。 - 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈します。 - 随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解します。 - 漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知ります。	期末考查
第2学期	小説を読む(二) 歌物語を読む 漢詩の鑑賞 短歌と俳句 随筆を読む(二) 軍記物語を読む 史伝を読む	- 小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉えます。 - 和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解します。 - 古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取ります。 - 我が国の言語文化に特徴的な俳句の表現の技法とその効果について理解します。 - 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈します。 - 原文と口語訳とを比較しながら、軍記物語の合戦場面の生き生きとした描写を味わいます。 - 戦国時代を背景とした各国の状況を知るとともに、蘇秦の言葉が諸侯を動かした理由を理解します。	期末考查
第3学期	小説を読む(三) 伝統と文化 和歌と俳諧 中国の思想	- 読書の意義と効用を理解します。 - 我が国の伝統芸能について書かれた文章を積極的に読み、自分の考えを持ちます。 - 調べや修辞技法に留意しながら、和歌の鑑賞のしかたを理解します。 - 日本にも大きな影響を及ぼした『論語』について知り、孔子のものの見方や考え方を理解します。	学年末考查

3 評価の規準

【知識・技能】

生涯に渡る社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。

【思考・判断・表現】

「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持とうとしている。

4 評価方法

各学期の評価は、上記3つの観点から踏まえ、単元テスト、実習の成果物、提出物、学習態度(発表方法や取り組む意欲)、出欠等を基に総合的に評価します。学年末の評価は、各学期の成績を基に算出します。

5 学習のアドバイス

高校の国語学習において最も大切なことは、授業の予習です。日本文学編(近現代)では、本文を何度も読んで分からない部分に線を入れておき、語句調べをします。日本文学編(古文)と漢文学編は、ノートに本文を写し、現代語訳を自分で考えてきます。予習を基に真剣に授業に臨み、考査前には徹底的に復習をします。これを継続すれば、国語の力は間違いなく伸びます。地道な学習の積み重ねが大事です。積極的に学習に取り組みましょう。

令和8年度 内子高等学校 小田分校 シラバス

教科	国語	科目	文学国語	単位数	2単位	学 年	2学年ビジネス
教科書	新編文学国語（大修館書店）			副教材等	新国語総合ガイド（啓隆社） 常用漢字ダブルクリア（尚文出版） 他		

1 学習の目標

- 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めます。
- 国語で適切かつ効果的に表現する能力や、伝え合う力を高めます。
- 思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	1 明日をひらく	・ 筆者が大切だと考えていることを読み取り、理解を深めます。	
	2 小説を楽しむ（一）	・ 筆者の考えと比較しながら、自分の生き方について考えを深めます。	
第2学期	古典の世界1	・ 場面設定の仕方を通して、登場人物の心情を考えます。	期末考查
	3 詩を味わう	・ 情景描写の効果を考えながら、的確に読む能力を高めます。	
第3学期	4 名作を読む（一）	・ 話のおもしろさと教訓を捉えます。	期末考查
	5 社会に生きる	・ 詩の様々な表現と、その効果について考えを深めます。	
第4学期	6 表現を味わう	・ 登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深めます。	学年末考查
	7 社会に生きる	・ 漢文訓読調の文章の魅力を味わいます。	
第5学期	8 表現を味わう	・ かぐや姫の心情とその変化を読み取ります。	学年末考查
	9 社会に生きる	・ 登場人物の描写から人物像を捉え、場面ごとの心情を読み取ります。	
第6学期	10 表現を味わう	・ 仕事や自然に対する描写を読み取り、ものの見方、感じ方を豊かにします。	学年末考查
	11 社会に生きる	・ 様々な文章を読み、構成や表現の工夫を読み取ります。	
第7学期	12 表現を味わう	・ 読み手と自分の関係に注意して、相手に応じた内容や表現を工夫して手紙を書きます。	学年末考查
	13 社会に生きる	・ 作品に表れている作者の考え方を捉えます。	

3 評価の規準

【知識・技能】

生涯に渡る社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。

【思考・判断・表現】

深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯に渡って読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付けることができる。

4 評価方法

各学期の評価は、上記3つの観点から踏まえ、単元テスト、実習の成果物、提出物、学習態度（発表方法や取り組む意欲）、出欠等を基に総合的に評価します。学年末の評価は、各学期の成績を基に算出します。

5 学習のアドバイス

- ・ 予習 本文をよく読みます。分からないところや重要だと思うところにそれぞれチェックを入れます。意味が分からない語句は調べておきましょう。
- ・ 授業 他の人の意見や解説で理解したこと、発見したことなどを必ず書き留めておきましょう。
- ・ 復習 学習した内容を自らの知識とし、さらに自分の考えをまとめておきましょう。

令和8年度 内子高等学校 小田分校 シラバス

教科	国語	科目	文学国語	単位数	3単位	学 年	2学年グローバル・アカデミア
教科書	文学国語（大修館書店）			副教材等	新国語総合ガイド（啓隆社） 常用漢字ダブルクリア（尚文出版） 他		

1 学習の目標

- 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めます。
- 国語で適切かつ効果的に表現する能力や、伝え合う力を高めます。
- 思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第Ⅰ章 1 随想・評論（一）想像と共感	・ 自然や身近な出来事を描いた文章に触れ、文学に親しみます。	期末考查
	2 小説（一）現代への視点	・ 登場人物の描写を的確に捉えます。	
	3 小説（二）語りの世界	・ 李徴の心情や境遇を理解します。	
	4 小説（三）想像を広げる	・ 構成や表現の効果に着目しながら、寓意的な表現に込められた主題を読み取ります。	
	5 随想・評論（二）自然を表す	・ 情景描写から自然と人間の関係を捉えます。	
	6 小説（四）記憶の継承	・ 登場人物の心情理解を通して、自己の生き方や他者との関わりについて考えを深めます。	
	7 小説（五）虚構の可能性	・ 舞台設定や時代背景をふまえて読む力を高めます。	
第2学期	8 随想・評論（三）視点を広げる	・ 翻訳の視点で日本の言語文化の特徴を捉えます。	期末考查
	9 詩・短歌・俳句 韻文の世界	・ 詩の表現を通して、作者の心情を読み取ります。	
	第Ⅱ章 2 小説（一）日常への視点	・ 時間の流れと登場人物の変化の関係を的確に捉えます。	
	3 小説（二）寓意の世界	・ 心の不可解さや生の不条理さについて考え、寓話を面白さを味わいます。	
第3学期	6 小説（四）時代と表現	・ 明治という時代背景・舞台設定の意味を考え、登場人物の境遇と心情への理解を深めます。	学年末考查
	4 随想・評論（二）文化と伝統	・ 日本文化についての感性豊かな言語表現を読み取ります。	
	5 小説（三）発見と批評	・ 文体の特徴に着目し、その効果について考えます。	
	7 小説（五）見知らぬ世界へ	・ 時代を超えて共感できる作品にあらわれた主題の重層性を学びます。	

3 評価の規準

- 【知識・技能】
生涯に渡る社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。
- 【思考・判断・表現】
深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
- 【主体的に学習に取り組む態度】
言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯に渡って読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付けることができる。

4 評価方法

各学期の評価は、上記3つの観点で踏まえ、単元テスト、実習の成果物、提出物、学習態度（発表方法や取り組む意欲）、出欠等を基に総合的に評価します。学年末の評価は、各学期の成績を基に算出します。

5 学習のアドバイス

- ・ 予習 本文をよく読みます。分からないところや重要だと思うところにそれぞれチェックを入れます。意味が分からない語句は調べておきましょう。
- ・ 授業 他の人の意見や解説で理解したこと、発見したことなどを必ず書き留めておきましょう。
- ・ 復習 学習した内容を自らの知識とし、さらに自分の考えをまとめておきましょう。

令和8年度 内子高等学校 小田分校 シラバス

教科	国語	科目	古典探究	単位数	2単位	学 年	2学年アカデミア
教科書	新編古典探究（東京書籍）			副教材等	新国語総合ガイド（啓隆社） 学ぶぞ古文と漢文（尚文出版） 他		

1 学習の目標

- 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めます。
- 古典としての古文と漢文を読む能力を養います。
- ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	古文編1 説話に親しむ	・ 展開の面白さを味わいながら、説話を正確に読み取ります。	期末考查
	漢文編1 故事と小話	・ 漢文の読み方を確認し、興味を持った内容を調べることで理解を深めます。	
	古文編2 随筆を読む	・ 随筆に表れている作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ります。	
	漢文編2 唐詩と文	・ 漢詩に描かれている情景や心情を読み取り、優れた表現に親しむ態度を養います。	
第2学期	古文編3 作り物語を読む	・ 作り物語の内容を叙述に即して読み取り、そこに表れた人々の思いを捉えます。	期末考查
	古文編4 和歌の世界	・ 和歌を多面的・多角的な視点から評価することを通して、言語文化について自分の考えを深めます。	
	漢文編3 史記を読む	・ 登場人物の行動や心情、起こっている出来事などを捉え、感じたことを話し合い、考えを深めます。	
	漢文編4 中国の知恵	・ 古代中国の様々な考え方に触れ、寓話や故事成語の意味について理解を深めます。	
	古文編5 日記を読む	・ 表現の特色をふまえて、作品に込められた意図を考えます。	
第3学期	古文編6 軍記物語を味わう	・ 朗読などを通して、内容の解釈を深めたり、表現の特色について理解を深めたりします。	学年末考查
	漢文編5 三国志の世界	・ 歴史上の人物を描いた作品を通し、登場人物の行動や心情を捉え、人間の生き方について考えを深めます。	

3 評価の規準

【知識・技能】

生涯に渡る社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の伝統文化に対する理解を深めることができる。

【思考・判断・表現】

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができる。

4 評価方法

各学期の評価は、上記3つの観点で踏まえ、単元テスト、実習の成果物、提出物、学習態度（発表方法や取り組む意欲）、出欠等を基に総合的に評価します。学年末の評価は、各学期の成績を基に算出します。

5 学習のアドバイス

- ・ 予習 現代語訳、品詞分解までやっておきましょう。調べても分からなかった部分をチェックしておきましょう。
- ・ 授業 予習で分からなかった部分を理解できたか確認しましょう。内容が理解できたら、作品を読み味わいましょう。
- ・ 復習 重要表現や句法等、学習した内容を確実に定着させましょう。

令和8年度 内子高等学校 小田分校 シラバス

教科	国語	科目	文学国語	単位数	2単位	学 年	3学年ビジネス
教科書	新編文学国語（大修館書店）			副教材等	新国語総合ガイド（啓隆社） 常用漢字ダブルクリア（尚文出版） 他		

1 学習の目標

- ・ 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めます。
- ・ 国語で適切かつ効果的に表現する能力や、伝え合う力を高めます。
- ・ 思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	1 心を見つめる 2 小説を楽しむ（二） 古典の世界4	・ 具体例をもとに、筆者のメッセージを読み取ります。 ・ 文体の特徴や表現に注目し、その効果を考えます。 ・ 登場人物の視点や表現の特色に注目し、その働きを意識しながら読みます。 ・ 登場人物の設定や描写のしかたを捉え、読みを深めます。	期末考查
第2学期	3 文化を感じる 4 短歌・俳句に親しむ 5 小説を味わう 古典の世界5	・ 筆者の考える、短歌が人を感動させるための方法を読み取ります。 ・ 引用された作品を読み解き、筆者の主張を確かめます。 ・ 形式や表現に注意して短歌を読み味わいます。 ・ 登場人物の描写から、場面ごとの心情の変化を読み取ります。 ・ 作品の状況設定を的確に捉え、その寓意性を読み取ります。 ・ 能登殿の描かれ方を捉え、読みを深めます。	期末考查
第3学期	6 名作を読む（二） 7 文学を生み出す	・ 登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深めます。 ・ 優れた表現に触れ、読み味わいます。 ・ 構成・展開や、心情・情景描写などの表現を工夫します。	

3 評価の規準

【知識・技能】

生涯に渡る社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。

【思考・判断・表現】

深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯に渡って読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付けることができる。

4 評価方法

各学期の評価は、上記3つの観点で踏まえ、単元テスト、実習の成果物、提出物、学習態度（発表方法や取り組む意欲）、出欠等を基に総合的に評価します。学年末の評価は、各学期の成績を基に算出します。

5 学習のアドバイス

- ・ 予習 本文をよく読みます。分からないところや重要だと思うところにそれぞれチェックを入れます。意味が分からない語句は調べておきましょう。
- ・ 授業 他の人の意見や解説で理解したこと、発見したことなどを必ず書き留めておきましょう。
- ・ 復習 学習した内容を自らの知識とし、さらに自分の考えをまとめておきましょう。

教科	国語	科目	論理国語	単位数	3単位	学 年	3学年グローバル・アカデミア
教科書	論理国語（大修館書店）			副教材等	新国語総合ガイド（啓隆社） 常用漢字ダブルクリア（尚文出版） 他		

1 学習の目標

- 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めます。
- 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を高めます。
- 論理的・批判的に考える力や創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりします。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第Ⅰ部 1 世界・言葉・私	・ 筆者が定義することを的確に押さえ、主張を捉えます。	期末考查
	2 芸術と文化	・ 比喩的な表現に注意しつつ、論の展開を捉えます。	
	3 共同体のいま	・ 統計資料や事例と筆者の主張との関係を捉えます。	
	4 科学の可能性	・ 論理の展開を的確に押さえ、筆者の主張を捉えます。	
	5 人間の多様性	・ 敬語についての筆者の主張と論理の展開を的確につかみます。	
	6 思考の枠組み	・ 実験結果などの具体例の本文中での役割を理解し、主張を読み取ります。	
第2学期	7 社会の原点	・ 論の展開の仕方や、具体的なエピソードの意図を理解します。	期末考查
	8 グローバル化の先へ	・ 文章全体の構成を意識して、筆者の主張を捉えます。	
	第Ⅱ部 1 自己と他者	・ 筆者の発想の仕方や論の展開の特徴を読み取ります。	
	2 コミュニケーションの手段	・ 対比的な概念を的確に捉え、筆者の主張をつかみます。	
	3 メディアの変容	・ 筆者の現状認識と問題意識を正確に捉えます。	
	4 言葉の探究	・ 問題提起と答えとをつなぐ論理の展開を的確に読み取ります。	
第3学期	5 政治と社会	・ 対比的な概念や具体例の意図を捉え、筆者の主張をつかみます。	
	6 存在への問い	・ 具体的な説明と抽象論との関係を捉えます。	
	7 環境へのまなざし	・ 論理の展開の仕方を捉え、主張を批判的に検討します。	
	8 歴史と時間	・ 筆者の思索の流れや論の展開の仕方を捉えます。	

3 評価の規準

【知識・技能】

生涯に渡る社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。

【思考・判断・表現】

深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯に渡って読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付けることができる。

4 評価方法

各学期の評価は、上記3つの観点を踏まえ、単元テスト、実習の成果物、提出物、学習態度（発表方法や取り組み意欲）、出欠等を基に総合的に評価します。学年末の評価は、各学期の成績を基に算出します。

5 学習のアドバイス

- ・ 予習 本文をよく読み、分からないところや重要だと思うところにそれぞれチェックを入れます。意味が分からない語句は調べておきましょう。
- ・ 授業 他の人の意見や解説で理解したこと、発見したことなどを必ず書き留めておきましょう。また、積極的に自分の意見を述べましょう。
- ・ 復習 評論の内容を100字～200字程度で要約しましょう。学習した内容を自らの知識とし、さらに自分の考えをまとめておきましょう。

令和8年度 内子高等学校 小田分校 シラバス

教科	国語	科目	古典探究	単位数	3単位	学 年	3学年アカデミア文系
教科書	新編古典探究（東京書籍）			副教材等	新国語総合ガイド（啓隆社） 学ぶぞ古文と漢文（尚文出版） 他		

1 学習の目標

- 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めます。
- 古典としての古文と漢文を読む能力を養います。
- ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	古文編1 随筆を味わう	・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにします。 ・ 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えます。 ・ 古典特有の表現に注意して、内容を的確に捉えます。 ・ 漢詩に描かれている情景や心情を読み取り、優れた表現に親しむ態度を養います。	期末考查
	漢文編1 小話を読む		
	古文編2 歌物語を楽しむ		
	漢文編2 古詩を味わう		
第2学期	古文編3 歴史物語を読む	・ 歴史物語の内容を叙述に即して読み取り、そこに表れた人々の思いを捉えます。 ・ 和歌を多面的・多角的な視点から評価することを通して、言語文化について自分の考えを深めます。 ・ 登場人物の行動や心情、起こっている出来事などを捉え、感じたことを話し合い、考えを深めます。 ・ 古代中国の様々な考え方に触れ、寓話や故事成語の意味について理解を深めます。 ・ 作り物語の内容を叙述に即して読み取り、そこに表れた人々の思いを捉えます。	期末考查
	古文編4 歌話・歌論を読む		
	漢文編3 史記を味わう		
	漢文編4 中国の思想		
	古文編5 作り物語を味わう		
第3学期	古文編6 俳諧に親しむ	・ 朗読などを通して、内容の解釈を深めたり、表現の特色について理解を深めたりします。 ・ 表現豊かな詩情を味わい、日本文化と中国文化の関係について考えます。	
	漢文編5 日本の漢詩文		

3 評価の規準

【知識・技能】

生涯に渡る社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の伝統文化に対する理解を深めることができる。

【思考・判断・表現】

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができる。

4 評価方法

各学期の評価は、上記3つの観点から踏まえ、単元テスト、実習の成果物、提出物、学習態度（発表方法や取り組む意欲）、出欠等を基に総合的に評価します。学年末の評価は、各学期の成績を基に算出します。

5 学習のアドバイス

- ・ 予習 現代語訳、品詞分解までやっておきましょう。調べても分からなかった部分をチェックしておきましょう。
- ・ 授業 予習で分からなかった部分を理解できたか確認しましょう。内容が理解できたら、作品を読み味わいましょう。
- ・ 復習 重要表現や句法等、学習した内容を確実に定着させましょう。

令和8年度 内子高等学校 小田分校 シラバス

教科	国語	科目	古典探究	単位数	2単位	学 年	3学年アカデミア理系
教科書	新編古典探究（東京書籍）		副教材等	新国語総合ガイド（啓隆社） 学ぶぞ古文と漢文（尚文出版） 他			

1 学習の目標

- 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めます。
- 古典としての古文と漢文を読む能力を養います。
- ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	古文編1 随筆を味わう	・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにします。 ・ 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えます。 ・ 古典特有の表現に注意して、内容を的確に捉えます。 ・ 漢詩に描かれている情景や心情を読み取り、優れた表現に親しむ態度を養います。	期末考查
	漢文編1 小話を読む		
	古文編2 歌物語を楽しむ		
	漢文編2 古詩を味わう		
第2学期	古文編3 歴史物語を読む	・ 歴史物語の内容を叙述に即して読み取り、そこに表れた人々の思いを捉えます。 ・ 和歌を多面的・多角的な視点から評価することを通して、言語文化について自分の考えを深めます。 ・ 登場人物の行動や心情、起こっている出来事などを捉え、感じたことを話し合い、考えを深めます。 ・ 古代中国の様々な考え方に触れ、寓話や故事成語の意味について理解を深めます。 ・ 作り物語の内容を叙述に即して読み取り、そこに表れた人々の思いを捉えます。	期末考查
	古文編4 歌話・歌論を読む		
	漢文編3 史記を味わう		
	漢文編4 中国の思想		
	古文編5 作り物語を味わう		
第3学期	古文編6 俳諧に親しむ	・ 朗読などを通して、内容の解釈を深めたり、表現の特色について理解を深めたりします。 ・ 表現豊かな詩情を味わい、日本文化と中国文化の関係について考えます。	
	漢文編5 日本の漢詩文		

3 評価の規準

【知識・技能】

生涯に渡る社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の伝統文化に対する理解を深めることができる。

【思考・判断・表現】

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができる。

4 評価方法

各学期の評価は、上記3つの観点を踏まえ、単元テスト、実習の成果物、提出物、学習態度（発表方法や取り組む意欲）、出欠等を基に総合的に評価します。学年末の評価は、各学期の成績を基に算出します。

5 学習のアドバイス

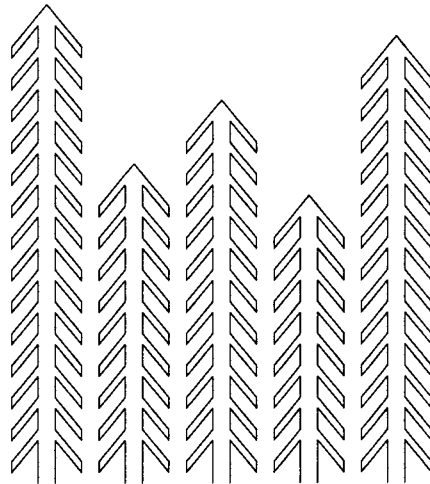
- ・ 予習 現代語訳、品詞分解までやっておきましょう。調べても分からなかった部分をチェックしておきましょう。
- ・ 授業 予習で分からなかった部分を理解できたか確認しましょう。内容が理解できたら、作品を読み味わいましょう。
- ・ 復習 重要表現や句法等、学習した内容を確実に定着させましょう。

令和8年度

シ ラ バ ス

(※シラバスとは学習計画表のこと)

地理・歴史、公民科



愛媛県立内子高等学校 小田分校

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	2単位	学 年	1学年
教科書	新地理総合（帝国書院） 標準高等地図（帝国書院）		副教材等				

1 学習の目標

- ・ 持続可能な社会づくり目指し、環境条件と人間の営みとの関わり着目して現代の地理的な諸課題を考察します。
- ・ グローバルな視座から国際理解や国際協力の在り方を、地域的な視座から防災などの諸課題への対応を考察します。
- ・ 地図や地理情報システムなどを用いることで、汎用的で実践的な地理的技能を身に付けます。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第1部 第1章 地図と地理情報システム 1節 地球上の位置と時差 2節 地図の役割と課題 第2章 結びつきを深める現代社会 1節 現代社会の国家と領域 2節 グローバル化する世界	・ 様々な世界地図の特色・読図を通して、方位や時差について理解します。 ・ 日本の位置と領域、国と国の結び付きを理解します。	単元テスト 期末考查
	第2部 第1章 生活文化の多様性と国際理解 1節 世界の地形と人々の生活 2節 世界の気候と人々の生活 3節 世界の言語・宗教と人々の生活	・ 世界の気候区分をケッペン記号を基に学習し、それぞれの気候の特色及びその気候の地域の景観について理解します。 ・ 世界の様々な宗教・言語・民族などについて学習し、それぞれの文化を尊重することの大切さを理解します。	
第2学期	4節 歴史的背景と人々の生活 5節 世界の産業と人々の生活 第2章 地球的課題と国際協力 1節 複雑に絡み合う地球的課題 2節 地球環境問題 3節 資源・エネルギー問題 4節 人口問題 5節 食糧問題 6節 都市・居住問題	・ 人々を取り巻く自然環境と産業の密接な関係を学習します。 ・ 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する課題相互の関連性などについて理解します。	単元テスト 期末考查
第3学期	第3部 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 1節 日本の自然環境 2節 地震・津波と防災 3節 火山災害と防災 4節 気象災害と防災 5節 自然災害への備え 第2章 生活圏の調査と地域の展望 1節 生活圏の調査と地域の展望	・ 我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への祖尾苗や対応の重要性などについて理解します。	学年末考查

3 評価の規準

【知識・技能】

地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題へ取組などを理解している。

【思考・判断・表現】

考察・構想したことを効果的に説明したりそれらを基に議論したりすることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

地理に関わる諸事象について、より良い社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及・解決しようとしている。

4 評価方法

各学期の評価は、上記3つの観点で踏まえ、定期考查（期末考查・学年末考查）、単元テスト、提出物、学習態度（発表や意欲）、出欠席等を基に総合的に評価（100点法）します。学年末の評価は、各学期の成績を基に算出します。

5 学習のアドバイス

授業が大切なので授業を集中して受けるようにしましょう。また、内容については教科書が基本なので、教科書を理解しましょう。

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	2単位	学 年	1 学年
教科書	明解 歴史総合 (帝国書院)			副教材等			

1 学習の目標

- ・ 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を、身に付けるようにします。
- ・ 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりに着目し、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養います。
- ・ グローバル化や情報化、少子高齢化など急激に変化する現代社会に至る歴史的過程を理解し、平和で民主的な国家及び社会を形成するために必要な資質・能力を育成します。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	1部 歴史の扉		
	1章 歴史と私たち	・ 身の回りの事象と世界の歴史がつながっていることを理解します。	単元テスト
	2章 歴史の特質と資料		
	2部 近代化と私たち	・ 18世紀の日本やアジア、ヨーロッパがそれぞれどのように結び付いているのかを理解します。	
	1章 江戸時代の日本と結び付く世界		
	2章 欧米諸国における近代化	・ 欧米で起こった市民革命・産業革命により社会がどのように変化したのか理解します。	期末考査
第2学期	3章 近代化の進展と国民国家形成		
	4章 アジア諸国の動揺と日本の開国		
	5章 近代化が進む日本と東アジア		
	3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち	・ 第一次世界大戦は日本を含む世界の人々にとってどのような戦争であったのか考察します。	単元テスト
	1章 第一次世界大戦と日本の対応		
第3学期	2章 国際協調と大衆社会の広がり	・ 世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について理解します。	期末考査
	3章 日本の行方と第二次世界大戦		
	4章 再出発する世界と日本		
	3部 グローバル化と私たち	・ 冷戦が展開されるなかで、日本や世界の国々がどのような選択をしたか理解します。	学年末考査
	1章 冷戦で揺れる世界と日本	・ 冷戦が終わり、グローバル化は、世界をどのように変えたか考察します。	
	2章 多極化する世界		
第3学期	3章 グローバル化の中の世界と日本		

3 評価の規準

【知識・技能】

近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。

【思考・判断・表現】

考察・構想したことを効果的に説明したりそれらを基に議論したりすることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

歴史に関わる諸事象について、より良い社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及・解決しようとしている。

4 評価方法

各学期の評価は、上記3つの観点から踏まえ、定期考査（期末考査・学年末考査）、単元テスト、提出物、学習態度（発表や意欲）、出欠席等を基に総合的に評価（100点法）します。学年末の評価は、各学期の成績を基に算出します。

5 学習のアドバイス

授業が大切なので授業を集中して受けるようにしましょう。また、内容については教科書が基本なので、教科書を理解しましょう。

令和8年度 内子高等学校 小田分校 シラバス

教科	地理歴史	科目	地理探究	単位数	2単位	学 年	2学年アカデミア
教科書	新詳地理探究（帝国書院） 標準高等地図（帝国書院）			副教材等	新詳 地理資料 COMPLETE（帝国書院） 新地理の研究（啓隆社） 新地理要点ノート（啓隆社）		

1 学習の目標

- ・ 現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域の歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養います。
- ・ 地理的な見方や考え方を培います。
- ・ 国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第I編 現代世界の系統地理的考察	・ 地形に関わる諸事象の規則性や傾向、人間による利用などについて理解します。 ・ 気候と生態系に関わる諸事象の規則性や傾向、気候の地域性などについて理解します。 ・ 世界各地の自然と生活に関わる諸事象の規則性や傾向、気候区分の方法などについて理解します。	単元テスト 期末考查
	第1章 自然環境		
	1節 地形		
	2節 気候と生態系		
第2学期	3節 世界各地の自然と生活		
	4節 日本の自然環境と防災	・ 日本の自然環境に関わる諸事象の規則性や傾向、自然災害などについて理解します。 ・ 地球環境問題に関わる諸事象の規則性や傾向、持続可能な地球環境の開発の在り方などについて理解します。 ・ 農林水産業や資源・エネルギーに関わる諸事象の規則性や傾向、現状や問題について理解します。	単元テスト 期末考查
	5節 地球環境問題		
	第2章 資源と産業		
	1節 農林水産業		
第3学期	2節 資源・エネルギー		
	3節 工業	・ 工業に関わる諸事象の規則性や傾向、工業生産のグローバル化に伴う諸課題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解します。 ・ 第3次産業に関わる諸事象の規則性や傾向、サービス経済化の現状や要因、解決に向けた取組について理解します。	学年末考查
	4節 第3次産業		

3 評価の規準

【知識・技能】

我が国及び世界の生活、文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、知識を身に付けている。また、地理的技能に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。

【思考・判断・表現】

地理的事象から課題を見い出し、我が国及び世界の生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。

【主体的に学習に取り組む態度】

地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとしている。

4 評価方法

各学期の評価は、上記3つの観点から踏まえ、定期考查（期末考查・学年末考查）、単元テスト、提出物、学習態度（発表や意欲）、出欠席等を基に総合的に評価（100点法）します。学年末の評価は、各学期の成績を基に算出します。

5 学習のアドバイス

授業が大切なので、授業に集中して受けるようにしましょう。また、内容については教科書が基本なので、教科書を理解しましょう。そして、地図帳の地形・地名などを興味・関心を持ち、世の中で起こっている出来事・ニュースを地理的に分析・考察・話し合う習慣を付けましょう。

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	2単位	学 年	2学年グローバル・アカデミア
教科書	詳説日本史（山川出版社）		副教材等	新詳日本史（浜島書店）			

1 学習の目標

- ・ 日本の歴史を地理的条件や世界の歴史と関連付けて理解します。
- ・ 日本の伝統と文化について理解を深めます。
- ・ 歴史的思考力を養い、国際社会において日本のあるべき姿を考えます。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第1章 日本文化のあけぼの 1 文化のはじまり 2 農耕社会の成立 第2章 古墳と大和政権 1 古墳文化の展開 2 飛鳥の朝廷	・ 旧石器文化、縄文文化、弥生文化をそれぞれの時代の遺跡・遺物により学習します。 ・ 古墳の変遷及びその副葬品によって、当時の社会を理解します。 ・ 飛鳥地方の朝廷の特色を理解するとともに、国際関係との関連から、当時どのような国づくりを目指したかを考えます。	単元テスト 期末考査
第2学期	第3章 律令国家の形成 1 律令国家への道 2 平城京の時代 3 律令国家の文化 4 律令国家の変容 第4章 貴族政治の展開 1 摂関政治 2 国風文化 3 地方政治の展開と武士 第5章 院政と武士の躍進 1 院政の始まり 2 院政と平氏政権	・ 平城京に都が定められた奈良時代の様子を政治の混迷と鎮護国家の思想から理解します。 ・ 平安京に都が定められた平安時代初期の様子を律令体制の動揺という視点から理解します。 ・ 藤原氏北家が権力を握っていく経過を理解するとともに、遣唐使の廃止による国風文化の成立や地方政治の乱れによる武士の台頭について学習します。	単元テスト 期末考査
第3学期	第6章 武家政権の成立 1 鎌倉幕府の成立 2 武士の社会 3 モンゴル襲来と幕府の衰退 4 鎌倉文化 第7章 武家社会の成長 1 室町幕府の成立 2 幕府の衰退と庶民の台頭 3 室町文化 4 戦国大名の登場	・ 武士でありながら貴族的な政権であった平氏の繁栄を見た後、武士の最初の政権である鎌倉幕府の成立について学習します。 ・ 執権政治の成立について理解するとともに、モンゴル民族の襲来である元寇が当時の社会に与えた影響について考えます。 ・ 武士の文化である鎌倉文化の特色を、仏教の影響や当時の国際関係から理解します。 ・ 南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察します。	学年末考査

3 評価の規準

【知識・技能】

我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的に捉えて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。

【主体的に学習に取り組む態度】

我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、より良い社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。

4 評価方法

各学期の評価は、上記3つの観点から踏まえ、定期考査（期末考査・学年末考査）、単元テスト、提出物、学習態度（発表や意欲）、出欠席等を基に総合的に評価（100点法）します。学年末の評価は、各学期の成績を基に算出します。

5 学習のアドバイス

授業が大切なので、授業を集中して受けるようにしましょう。また、内容については教科書が基本なので、教科書を理解しましょう。図表や史料を有効に活用し、授業で学習したことはその日のうちに教科書、図表で復習をしておきましょう。そして、図表の写真・図・エピソードなどを興味・関心を持って見るようにしましょう。

令和8年度 内子高等学校 小田分校 シラバス

教科	地理歴史	科目	地理探究	単位数	3単位	学 年	3学年アカデミア
教科書	地理探究（二宮書店） 標準高等地図（帝国書院）			副教材等	新詳 地理資料 COMPLETE（帝国書院） 新地理の研究（啓隆社）		

1 学習の目標

- ・ 現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域の歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養います。
- ・ 地理的な見方や考え方を養います。
- ・ 国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第Ⅰ編 現代世界の系統地理的考察	・ 交通・通信や貿易・観光に関わる諸事象の空間的な規則性や傾向、それらに関わる現状や要因、解決に向けた取組などについて理解します。 ・ 人口や村落・都市に関わる諸事象の空間的な規則性や傾向、それらに関わる現状や要因、解決に向けた取組などについて理解します。 ・ 生活文化や言語・宗教、国家とその領域についての規則性や傾向、それらに関わる現状や要因、解決に向けた取組を理解します。 ・ 地域区分について理解し、現代世界が自然、文化、国家群、経済などの指標によって様々な区分ができることを理解します。	単元テスト
	第3章 人・モノ・金のつながり		
	1節 交通・通信		
	2節 貿易・観光		
	第4章 人口、村落・都市		
	1節 人口		期末考查
	2節 村落・都市		
	第5章 文化と国家		
	1節 生活文化と言語・宗教		
	2節 国家とその領域		
第2学期	第Ⅱ編 現代世界の地誌的考察	・ それぞれの国、地域について歴史的背景や経済体制、政策、工業、人口、民族、自然などに着目し、整理しながら基本的な知識を習得します。	単元テスト
	第1章 地域区分		
	第2章 現代世界の諸地域		
	1節 中国		
	2節 朝鮮半島		
	3節 東南アジア		期末考查
	4節 南アジア		
	5節 西アジア・中央アジア		
	6節 北アフリカ・サブサハラアフリカ		
	7節 ヨーロッパ		
第3学期	8節 ロシア	・ これまでの学習を基にして、将来の日本の国土像について多面的・多角的に考察し、探究します。日本が抱える地理的課題の解決の方向性や将来の国土像について提言を行います。	
	9節 アングロアメリカ		
	10節 ラテンアメリカ		
	11節 オーストラリア		
	12節 ニュージーランドと島嶼部		
第3学期	第Ⅲ編 現代日本におけるこれからの日本の国土像		
	1節 現代日本に求められる国土像		

3 評価の規準

- 【知識・技能】
我が国及び世界の生活、文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、知識を身に付けている。また地理的技能に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。
- 【思考・判断・表現】
地理的事象から課題を見い出し、我が国及び世界の生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。
- 【主体的に学習に取り組む態度】
地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとしている。

4 評価方法

各学期の評価は、上記3つの観点から踏まえ、定期考査（期末考査）、単元テスト、提出物、学習態度（発表や意欲）、出欠席等を基に総合的に評価（100点法）します。学年末の評価は、各学期の成績を基に算出します。

5 学習のアドバイス

授業が大切なので、授業に集中して受けるようにしましょう。また、内容については教科書が基本なので、教科書を理解しましょう。そして、地図帳の地形・地名などを興味・関心を持ち、世の中で起こっている出来事・ニュースを地理的に分析・考察・話し合う習慣を付けましょう。

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	3単位	学 年	3学年アカデミア
教科書	詳説日本史 (山川出版社)		副教材等	新詳日本史 (浜島書店)			

1 学習の目標

- 日本の歴史を地理的条件や世界の歴史と関連付けて理解します。
- 日本の伝統と文化について理解を深めます。
- 歴史的思考力を養い、国際社会において日本のあるべき姿を考えます。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第8章 近世の幕明け 1 織豊政権 2 桃山文化 第9章 幕藩体制の成立と展開 1 幕藩体制の成立 2 幕藩体制の構造 3 幕政の安定 4 経済の発展 5 元禄文化 第10章 幕藩体制の動揺 1 幕政の改革 2 宝暦・天明期の文化 3 幕府の衰退と近代への道	- 織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一、秀吉の朝鮮侵略と続く織豊政権の特色と意義、その後の時代への影響について学習します。 - 江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を学習します。	単元テスト
	第11章 近世から近代へ 1 開国と幕末の動乱 2 幕府の滅亡と新政府の発足 第12章 近代国家の成立 1 明治維新と富国強兵 2 立憲国家の成立 第13章 近代国家の展開 1 日清・日露戦争と国際関係 2 第一次世界大戦と日本 3 ワシントン体制 第14章 1 近代産業の発展 2 近代文化の発達 3 市民生活の変容と大衆文化 第15章 恐慌と第二次世界大戦 1 恐慌の時代 2 軍部の台頭 3 第二次世界大戦	- 国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、日本の開国を社会・経済面での変化と関わらせて考察します。 - 明治新政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、政治的変革と国家的統一過程を理解します。 - 東アジアをめぐる国際環境が変容する中、国家的課題であった不平等条約の改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について理解します。 - 日清・日露戦争前後にかけて資本主義国家の基礎が確立された過程を、産業革命や近代産業の発展に着目して理解します。 - 日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について理解します。	期末考査
第2学期	第16章 占領下の日本 1 占領下の日本 2 冷戦の開始と講和 第17章 高度成長の時代 1 55年体制 2 経済復興から高度経済成長へ 第18章 激動する世界と日本 1 経済大国への道 2 冷戦の終結と日本社会の変容	- 戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策および戦後の民主化政策とそれともなう諸改革について、その経過と内容を理解します。 - 冷戦構造の中で日本が国際社会に復帰したことについて、日本の国際連合への加盟、アメリカ・中華人民共和国・大韓民国との関係に着目して、独立回復後の日本の動きを考察します。 - 高度成長が終焉し、保守政権が動揺する中、2度にわたる石油危機を乗り越え、経済大国としての道を歩み始めた日本の状況を多面的・多角的に考察します。	単元テスト
第3学期			期末考査

3 評価の規準

【知識・技能】

我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。

【主体的に学習に取り組む態度】

我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。

4 評価方法

各学期の評価は、上記3つの観点から踏まえ、定期考査（期末考査）、単元テスト、提出物、学習態度（発表や意欲）、出欠席等を基に総合的に評価（100点法）します。学年末の評価は、各学期の成績を基に算出します。

5 学習のアドバイス

授業が大切なので、授業を集中して受けるようにしましょう。また、内容については教科書が基本なので、教科書を理解しましょう。図表や史料を有効に活用し、授業で学習したことはその日のうちに教科書、図表で復習をしておきましょう。そして、図表の写真・図・エピソードなどを興味・関心を持って見るようにしましょう。

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	2単位	学 年	3学年グローバル
教科書	詳説日本史（山川出版社）		副教材等	新詳日本史（浜島書店）			

1 学習の目標

- 日本の歴史を地理的条件や世界の歴史と関連付けて理解します。
- 日本の伝統と文化について理解を深めます。
- 歴史的思考力を養い、国際社会において日本のあるべき姿を考えます。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第8章 近世の幕明け 1 織豊政権 2 桃山文化 第9章 幕藩体制の成立と展開 1 幕藩体制の成立 2 幕藩体制の構造 3 幕政の安定 4 経済の発展 第10章 幕藩体制の動揺 1 幕政の改革 2 幕府の衰退と近代への道	- 織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一、秀吉の朝鮮侵略と続く織豊政権の特色と意義、その後の時代への影響について学習します。 - 江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を学習します。 - 農村や都市の変容により幕藩体制が動揺する中、幕府や諸藩がおこなった諸改革の意義とその影響を考察します。	単元テスト 期末考査
第2学期	第11章 近世から近代へ 1 開国と幕末の動乱 2 幕府の滅亡と新政府の発足 第12章 近代国家の成立 1 明治維新と富国強兵 2 立憲国家の成立 第13章 近代国家の展開 1 日清・日露戦争と国際関係 2 第一次世界大戦と日本 3 ワシントン体制 第14章 1 近代産業の発展 第15章 恐慌と第二次世界大戦 1 恐慌の時代 2 軍部の台頭 3 第二次世界大戦	- 国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、日本の開国を社会・経済面での変化と関わらせて考察します。 - 明治新政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、政治的変革と国家的統一過程を理解します。 - 東アジアをめぐる国際環境が変容する中、国家的課題であった不平等条約の改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について理解します。 - 日清・日露戦争前後にかけて資本主義国家の基礎が確立された過程を、産業革命や近代産業の発展に着目して理解します。 - 日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について理解します。	単元テスト 期末考査
第3学期	第16章 占領下の日本 1 占領下の日本 2 冷戦の開始と講和 第17章 高度成長の時代 1 55年体制 2 経済復興から高度経済成長へ 第18章 激動する世界と日本 1 経済大国への道 2 冷戦の終結と日本社会の変容	- 戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策および戦後の民主化政策とそれにもなう諸改革について、その経過と内容を理解します。 - 冷戦構造の中で日本が国際社会に復帰したことについて、日本の国際連合への加盟、アメリカ・中華人民共和国・大韓民国との関係に着目して、独立回復後の日本の動きを考察します。 - 高度成長が終焉し、保守政権が動揺する中、2度にわたる石油危機を乗り越え、経済大国としての道を歩み始めた日本の状況を多面的・多角的に考察します。	

3 評価の規準

【知識・技能】

我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。

【主体的に学習に取り組む態度】

我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。

4 評価方法

各学期の評価は、上記3つの観点から踏まえ、定期考査（期末考査）、単元テスト、提出物、学習態度（発表や意欲）、出欠席等を基に総合的に評価（100点法）します。学年末の評価は、各学期の成績を基に算出します。

5 学習のアドバイス

授業が大切なので、授業を集中して受けるようにしましょう。また、内容については教科書が基本なので、教科書を理解しましょう。図表や史料を有効に活用し、授業で学習したことはその日のうちに教科書、図表で復習をしておきましょう。そして、図表の写真・図・エピソードなどを興味・関心を持って見るようにしましょう。

令和8年度 内子高等学校 小田分校 シラバス

教科	公民	科目	公共	単位数	2単位	学 年	2学年
教科書	公共（実教出版）			副教材等	テーマ別資料 公共（とうほう）		

1 学習の目標

- ・ 人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせる資質・能力を養います。
- ・ 現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して社会の有為な形成者として必要な資質・能力を養います。
- ・ 広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者としての資質・能力を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第1部 公共の扉 (倫理) 第1章 社会を作る私たち 第2章 人間としてよく生きる 第3章 他者とともに生きる 第4章 民主社会の倫理 (政治) 第5章 民主国家における基本原理	・ 様々な社会事象や価値観、制度や仕組みを学ぶ中で、人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であることを理解します。 ・ 各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解します。	 単元テスト 期末考査
第2学期	第2部 よりよい社会の形成に参加する私たち 1 現代の民主政治と日本国憲法 第1章 日本国憲法の基本的性格 第2章 日本の政治機構と政治参加 (経済) 2 現代の経済社会と国民生活 第1章 現代の経済社会 第2章 日本経済の特質と国民生活 (国際) 3 国際社会と人類の課題 第1章 国際政治の動向と課題	・ 法や規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題を学び、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解します。 ・ 現実社会における経済的事象を学ぶ中で、活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解します。	 単元テスト 期末考査
第3学期	第2章 国際経済の動向と課題 第3部 持続可能な社会づくりの主体となる私たち 持続可能な社会をめざして	・ 地域の創造、より良い国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見だし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを表現します。	 学年末考査

3 評価の規準

【知識・技能】

政治・経済・国際関係などの事柄について主体的に考察し、良識ある公民として公正な判断を下せるための知識を身に付けることができる。

【思考・判断・表現】

考察・構想したことを効果的に説明したりそれらを基に議論したりすることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

地理に関わる諸事象について、より良い社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及・解決しようとしている。

4 評価方法

各学期の評価は、上記3つの観点を踏まえ、定期考査（期末考査・学年末考査）、単元テスト、提出物、学習態度（発表や意欲）、出欠席等を基に総合的に評価（100点法）します。学年末の評価は、各学期の成績を基に算出します。

5 学習のアドバイス

教科書を読み、疑問に感じたことなどをノートに書き出してみましょう。また、新聞やテレビのニュースを見る習慣を身に付け、社会の動きに目を向けましょう。

令和8年度 内子高等学校 小田分校 シラバス

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	2単位	学 年	3 学年ビジネス・グローバル
教科書	政治・経済（東京書籍）			副教材等	政治・経済 資料（とうほう）		

1 学習の目標

- ・ 広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めます。
- ・ 現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解します。
- ・ 現代における諸課題について主体的に考察し、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を身に付けます。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治 1節 民主政治の基本原理 2節 日本国憲法の基本原理 3節 日本の政治機構 4節 現代政治の特質と課題 第2章 現代日本の経済 1節 現代の資本主義経済 2節 現代経済のしくみ	・ 議会制民主主義の本質を学び、それらを尊重する意義を理解します。 ・ 日本国憲法の成立過程や国民主権、基本的人権の尊重、平和主義について、基本的知識を身に付けます。 ・ 国際政治の動向や国際連合等の国際機構の役割と諸活動を理解します。 ・ 国際紛争の諸要因とその望ましい解決策について考察します。 ・ 経済に関する基本的事項を理解し、現代経済の特質について考察します。 ・ 需要と供給の関係を考察し、市場価格の決定メカニズムについて理解します。	単元テスト

3 評価の規準

【知識・技能】

政治・経済・国際関係などの事柄について主体的に考察し、良識ある公民として公正な判断を下せるための知識を身に付けることができる。

【思考・判断・表現】

政治・経済・国際関係などについて多角的に考察し、様々な要因・要素に注目をして認識を深めるとともに、良識ある公民としての公正な判断力を高めようとしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

現代における政治・経済・国際関係などに対して興味・関心を持ち、自ら意欲的に追究する態度を示すとともに、積極的に時事問題に触れ知識を深めようとする。

4 評価方法

各学期の評価は、上記3つの観点から踏まえ、定期考査（期末考査）、単元テスト、提出物、学習態度（発表や意欲）、出欠席等を基に総合的に評価（100点法）します。学年末の評価は、各学期の成績を基に算出します。

5 学習のアドバイス

教科書を読み、疑問に感じたことなどをノートに書き出してみましょう。また、新聞やテレビのニュースを見る習慣を身に付け、社会の動きに目を向けましょう。

令和8年度 内子高等学校 小田分校 シラバス

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	3単位	学 年	3学年アカデミア
教科書	政治・経済（東京書籍）			副教材等	政治・経済 資料（とうほう）		

1 学習の目標

- ・ 広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めます。
- ・ 現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解します。
- ・ 現代における諸課題について主体的に考察し、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を身に付けます。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第1編 現代日本の政治と経済		
	第1章 現代日本の政治		
	1節 民主政治の基本原則	・ 議会制民主主義の本質を学び、それらを尊重する意義を理解します。	単元テスト
	2節 日本国憲法の基本原則	・ 日本国憲法の成立過程や国民主権、基本的人権の尊重、平和主義について、基本的知識を身に付けます。	
	3節 日本の政治機構	・ 国際政治の動向や国際連合等の国際機構の役割と諸活動を理解します。	
	4節 現代政治の特質と課題	・ 国際紛争の諸要因とその望ましい解決策について考察します。	
第2学期	第2章 現代日本の経済		
	1節 現代の資本主義経済	・ 経済に関する基本的事項を理解し、現代経済の特質について考察します。	期末考查
	2節 現代経済のしくみ	・ 需要と供給の関係を考察し、市場価格の決定メカニズムについて理解します。	
	3節 日本経済の発展と現状	・ 財政と租税との関わりを理解し、望ましい財政運営について考察します。	単元テスト
	4節 福祉社会と日本経済の課題	・ 日本経済の直面する諸問題について理解し、その対策について考察します。	
	第3章 現代日本の諸課題	・ 日本社会が抱える諸問題について現状を理解し、明るい未来を迎えるため、日本の進むべき道を考察します。	
	第2編 グローバル化する国際社会		
	第1章 現代の国際政治		
	1節 国際政治のしくみ	・ 国際政治の基本的なしくみについて理解し、国際社会における利害調整の方策について考察します。	
	2節 複雑化する国際政治と日本	・ 日本の安全保障の問題について理解し、国際平和に寄与する日本の役割を考察します。	
第3学期	第2章 現代の国際経済		
	1節 国民経済と国際経済	・ 貿易の仕組みを理解し、外国為替市場の動向と国際的な経済格差の是正を考察します。	期末考查
	2節 世界経済の現状と課題	・ 国際経済の動向を概観し、日本が国際経済に果たすべき役割を考察します。	
	第3章 国際社会の諸課題	・ 国際社会が抱える諸問題について現状を理解し、明るい未来を迎えるため、日本の進むべき道を考察します。	

3 評価の規準

【知識・技能】

政治・経済・国際関係などの事柄について主体的に考察し、良識ある公民として公正な判断を下せるための知識を身に付けることができる。

【思考・判断・表現】

政治・経済・国際関係などについて多角的に考察し、様々な要因・要素に注目して認識を深めるとともに、良識ある公民としての公正な判断力を高めようとしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

現代における政治・経済・国際関係などに対して興味・関心を持ち、自ら意欲的に追究する態度を示すとともに、積極的に時事問題に触れ知識を深めようとする。

4 評価方法

各学期の評価は、上記3つの観点で踏まえ、定期考查（期末考查）、単元テスト、提出物、学習態度（発表や意欲）、出欠席等を基に総合的に評価（100点法）します。学年末の評価は、各学期の成績を基に算出します。

5 学習のアドバイス

教科書を読み、疑問に感じたことなどをノートに書き出してみましょう。また、新聞やテレビのニュースを見る習慣を身に付け、社会の動きに目を向けましょう。

令和8年度 内子高等学校 小田分校 シラバス

教科	公民	科目	倫理	単位数	2単位	学 年	3学年ビジネス
教科書	詳述倫理（実教出版）			副教材等	アプローチ倫理資料 PLUS（とうほう）		

1 学習の目標

- ・ 現代の諸課題を捉え、諸資料から人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けます。
- ・ 倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に施行し、説明したり対話したりする力を養います。
- ・ 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追及したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとする態度を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第1章 自己形成と自己の生き方 第1節 青年期の課題と自己形成 第2節 人間とは何か	・ 青年期の心身の特徴を把握して、人間を理解するためのさまざまな視点があることを理解します。 ・ 「第二の誕生」「マージナルマン」等を学習し、青年期特有の不安を客観的に理解し、自己確立に努めます。	単元テスト
	第2章 人間としてのあり方生き方 第1節 ギリシア思想 第2節 キリスト教 第3節 イスラーム 第4節 仏教 第5節 中国思想 第6節 宗教・芸術と人生	・ ソクラテス、イエスやイスラームの思想を理解します。 ・ 仏教の世界観や人間観の特徴を考えます。	期末考査
第2学期	第3章 社会・世界と人間としてのあり方生き方 第1節 人間の尊厳 第2節 科学・技術と人間 第3節 民主社会と自由の実現 第4節 社会と個人 第5節 近代的人間の見直し 第6節 現代の暴力に抗して	・ 人間の尊厳、ルネサンス期の思想、宗教改革などについて理解します。 ・ 近代科学の誕生、ベーコン・デカルトの思想、経験論・合理論の考え方の特色について理解します。 ・ 社会契約論を通して、民主社会の成り立ちを理解し、社会契約の思想について、理解します。	単元テスト
	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚 第1節 古代日本人の試走 第2節 日本の仏教思想 第3節 近世日本の思想 第4節 西洋思想の需要と展開	・ 日本の風土の特徴を理解するとともに日本人の道徳意識の特徴を理解します。 ・ 福沢諭吉や中江兆民の思想を学習し、日本の近代化の課題について考えます。	期末考査
第3学期	第5章 自然や科学技術にかかわる諸課題と倫理 第1節 生命の倫理 第2節 環境の倫理 第3節 科学技術の倫理 第6章 社会と文化にかかわる諸課題と倫理 第1節 福祉の課題 第2節 文化と宗教の課題 第3節 平和の課題	・ 現代に生きる私たちが直面する課題について理解し、これからあるべき姿を考えます。	

3 評価の規準

- 【知識・技能】
現代の諸課題を捉え、諸資料から人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能が身に付いている。
- 【思考・判断・表現】
倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に施行し、説明したり対話したりする力が身に付いている。
- 【主体的に学習に取り組む態度】
人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追及したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとする態度が身に付いている。

4 評価方法

各学期の評価は、上記3つの観点を踏まえ、定期考査（期末考査）、単元テスト、提出物、学習態度（発表や意欲）、出欠席等を基に総合的に評価（100点法）します。学年末の評価は、各学期の成績を基に算出します。

5 学習のアドバイス

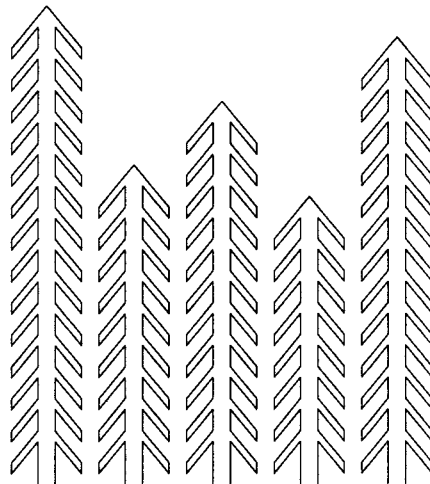
教科書を読み、疑問に感じたことなどをノートに書き出してみましょう。また、新聞やテレビのニュースを見る習慣を身に付け、社会の動きに目を向けましょう。

令和8年度

シ ラ バ ス

(※シラバスとは学習計画表のこと)

数学科



愛媛県立内子高等学校 小田分校

教 科	数学	科 目	数学 I	単位数	3単位	学 年	1 学年
教科書	新編 数学 I	(数研出版)	副教材等	3 TRIAL 数学 I + A	(数研出版)		

1 学習の目標

- ・ 数と式、集合と命題、2次関数、図形と計量及びデータの分析について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図ります。
- ・ 事象を数学的に考察する能力を培い、数学の良さを認識できるようにします。
- ・ 数学的な処理や考察に主体的に取り組み、身近な事象に活用する態度を育てます。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第1章 数と式 第1節 式の計算 第2節 実数 第3節 1次不等式	・ 数を実数まで拡張する意義や集合と命題に関する基本的な概念を理解できるようにします。 ・ 式を多面的に見たり処理したりするとともに、1次不等式を事象の考察に活用できるようにします。	単元テスト
	第2章 集合と命題	・ 集合と命題についての有用性を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにします。	単元テスト 期末考查
第2学期	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 第2節 2次関数の値の変化 第3節 2次方程式と2次不等式	・ 2次関数とそのグラフについて理解し、2次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにします。	単元テスト
	第4章 図形と計量 第1節 三角比 第2節 三角形への応用	・ 三角比の意味やその性質について理解し、三角比を用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにします。	単元テスト 期末考查
第3学期	第5章 データの分析	・ 統計の基礎的な考えを理解するとともに、それらを用いてデータを整理、分析し傾向を把握できるようにします。	学年末考查

3 評価の規準

【知識・技能】

数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。

事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

命題の条件や結論に着目し、数式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力を身に付けている。

関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表やグラフ・式などと相互の関連付けを行い、考察する力を身に付けている。

データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。

【主体的に学習に取り組む態度】

数学の良さを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。

問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

4 評価方法

学期毎に、上記の評価の規準の3つの観点から、学習活動への取組、単元テスト、定期考查、小テスト、振り返りシート、ノート、プリント、レポートについて評価します。また、各学期の評価を総括し、学年末の成績をA・B・Cおよび評点で評価します。

5 学習のアドバイス

予習・復習を確実に行いましょう。授業中に理解できなかったところは、その日のうちに授業担当教員に質問するなどして理解に努め、日々の学習内容を確実に理解しましょう。演習で解けなかった問題については、答えを見て解けるようになった後でも、同じ問題を何度も解いて内容を定着させるようにしましょう。

教科	数学	科目	数学A	単位数	2単位	学年	1学年
教科書	新編 数学A (数研出版)	副教材等	3 T R I A L 数学I+A (数研出版)				

1 学習の目標

- ・ 場合の数と確率、図形の性質、数学と人間の活動について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図ります。
- ・ 事象を数学的に考察する能力を養い、数学の良さを認識できるようにします。
- ・ 数学的な処理や考察に主体的に取り組み、身近な事象に活用する態度を育てます。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数	・ 場合の数を求めるときの基本的な考えについて理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにします。	単元テスト
	第2節 確率	・ 確率を求めるときの基本的な考え方について理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにします。	期末考查
第2学期	第2章 図形の性質 第1節 平面図形 第2節 空間図形	・ 確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用したりできるようにします。 ・ 三角形や円、空間図形に関する基本的な性質について理解します。	単元テスト 単元テスト 期末考查
第3学期	第3章 数学と人間の活動	・ 数学史的な話題、数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と文化との関わりについて理解を深めます。 ・ 整数の除法の性質に基づいてユークリッドの互除法の仕組みを理解し、それらを用いて2つの整数の最大公約数を求められるようにします。	学年末考查

3 評価の規準

【知識・技能】

図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。

事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見出し、論理的に考察する力が身に付いている。

確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察することができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

数学の良さを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。

問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

4 評価方法

学期毎に、上記の評価の規準の3つの観点から、学習活動への取組、単元テスト、定期考查、小テスト、振り返りシート、ノート、プリント、レポートについて評価します。また、各学期の評価を総括し、学年末の成績をA・B・Cおよび評点で評価します。

5 学習のアドバイス

予習・復習を確実に行いましょう。授業中に理解できなかったところは、その日のうちに授業担当教員に質問するなどして理解に努め、日々の学習内容を確実に理解しましょう。演習で解けなかった問題については、答えを見て解けるようになった後でも、同じ問題を何度も解いて内容を定着させるようにしましょう。

教 科	数学	科 目	数学Ⅱ	単位数	3単位	学 年	2学年ビジネス・グローバル
教科書	高校数学Ⅱ（実教出版）		副教材等	高校数学Ⅱ 専用 スタディーノート（実教出版）			

1 学習の目標

- ・ いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図ります。
- ・ 事象を数学的に考察する能力を培い、数学の良さを認識できるようにします。
- ・ 数学的な処理や考察に主体的に取り組み、身近な事象に活用する態度を育てます。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	1章 複素数と方程式	・ 整式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解できるようにします。 ・ 数の範囲を複素数までに拡張して2次方程式を解くこと及び因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにします。 ・ 等式などの証明ができるようにします。	 単元テスト 期末考查
	1節 式の計算		
	2節 複素数と2次方程式		
	3節 高次方程式		
第2学期	4節 式と証明	・ 座標や式を用いて、直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにします。 ・ 軌跡について理解し、簡単な場合について軌跡を求めることができるようにします。	 単元テスト 期末考查
	2章 図形と方程式		
	1節 点と座標		
	2節 直線の方程式		
第3学期	3節 円の方程式	・ 角を一般角まで拡張して、三角関数及び加法定理について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにします。 ・ 指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解させ、指数法則を用いて数や式の計算をすることができるようにします。	 学年末考查
	4節 不等式の表す領域		
	3章 いろいろな関数		
	1節 三角関数		
	2節 加法定理／弧度法		
	3節 指数関数		

3 評価の規準

【知識・技能】

多項式の除法や分数式の四則計算の方法について理解し、簡単な場合について計算することができる。
指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。

【思考・判断・表現】

座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察することができる。

三角関数の加法定理から新たな性質を導くことができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

事象を指数関数・対数関数の考えを用いて考察する良さを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。

問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

4 評価方法

学期毎に、上記の評価の規準の3つの観点から、学習活動への取組、単元テスト、定期考查、小テスト、振り返りシート、ノート、プリント、レポートについて評価します。また、各学期の評価を総括し、学年末の成績をA・B・Cおよび評点で評価します。

5 学習のアドバイス

予習・復習を確実に行いましょう。授業中に理解できなかったところは、その日のうちに授業担当教員に質問するなどして理解に努め、日々の学習内容を確実に理解しましょう。演習で解けなかった問題については、答えを見て解けるようになった後でも、同じ問題を何度も解いて内容を定着させるようにしましょう。

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	3単位	学 年	2学年アカデミア
教科書	新編 数学Ⅱ (数研出版)	副教材等	3 TRIAL 数学Ⅱ+B+C (数研出版)	等			

1 学習の目標

- ・ いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解させます。
- ・ 事象を数学的に考察、表現する能力を養うとともに、数学の良さを認識できるようにします。
- ・ 数学的な処理や考察に主体的に取り組み、社会生活に活用する態度を育てます。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第1章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式・不等式の証明	・ 整式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解できるようにするとともに、等式や不等式が成り立つことを証明できるようにします。	単元テスト
	第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 第2節 高次方程式	・ 方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数までに拡張して2次方程式を解くこと及び因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにします。	期末考查
第2学期	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円 第3節 軌跡と領域	・ 座標や式を用いて、直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにします。	単元テスト
	第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理	・ 角の概念を一般角まで拡張して、三角関数及び三角関数の加法定理について理解し、それらを事象に活用できるようにします。	単元テスト
	第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数	・ 指数関数、対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにします。	期末考查
第3学期	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法	・ 微分積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにします。	学年末考查

3 評価の規準

【知識・技能】

指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすることができる。
導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかく方法を理解している。

【思考・判断・表現】

座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察することができる。

三角関数の加法定理から新たな性質を導くことができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

事象を指数関数・対数関数の考えを用いて考察する良さを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。

事象を微分・積分の考えを用いて考察する良さを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。

4 評価方法

学期毎に、上記の評価の規準の3つの観点から、学習活動への取組、定期考查、単元テスト、小テスト、振り返りシート、ノート、プリント、レポートについて評価します。また、各学期の評価を総括し、学年末の成績をA・B・Cおよび評点で評価します。

5 学習のアドバイス

予習・復習を確実に行いましょう。授業中に理解できなかったところは、その日のうちに授業担当教員に質問するなどして理解に努め、日々の学習内容を確実に理解しましょう。演習で解けなかった問題については、答えを見て解けるようになった後でも、同じ問題を何度も解いて内容を定着させるようにしましょう。

教科	数学	科目	数学B	単位数	2単位	学年	2学年アカデミア
教科書	新編 数学B (数研出版)	副教材等	3 T R I A L 数学Ⅱ+B+C (数研出版) 等				

1 学習の目標

- ・ 数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解させます。
- ・ 事象を数学的に考察、表現する能力を養うとともに、数学の良さを認識できるようにします。
- ・ 数学的な処理や考察に主体的に取り組み、社会生活に活用する態度を育てます。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第1章 数列 第1節 数列とその和 第2節 いろいろな数列	・ 簡単な数列とその和の計算について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにします。 ・ いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解できるようにします。	単元テスト 期末考查
第2学期	第3節 漸化式と数学的帰納法 第2章 確率分布と統計的な推測 第1節 確率分布	・ 漸化式と数学的帰納法について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにします。 ・ 標本調査の考え方や確率変数と確率分布について理解できるようにします。	単元テスト 期末考查
第3学期	第2節 二項分布と正規分布 第3節 統計的な推測	・ 二項分布と正規分布の性質や特徴について理解できるようにします。 ・ 標本調査の方法や結果を批判的に考察することができるようにします。	学年末考查

3 評価の規準

【知識・技能】

等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求めることができる。

二項分布と正規分布の性質や特徴について理解している。

【思考・判断・表現】

自然数の性質を見い出し、それらを数学的帰納法を用いて論証するとともに、他の証明方法と比較し多面的に考察することができる。

確率分布や標本分布の特徴を確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察することができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

事象を数列の考えを用いて考察する良さを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとした日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列の考えを問題解決に活用することができる。

事象を数学的な推測の考えを用いて考察する良さを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。

4 評価方法

学期毎に、上記の評価の規準の3つの観点から、学習活動への取組、単元テスト、定期考查、小テスト、振り返りシート、ノート、プリント、レポートについて評価します。また、各学期の評価を総括し、学年末の成績をA・B・Cおよび評点で評価します。

5 学習のアドバイス

予習・復習を確実に行いましょう。授業中に理解できなかったところは、その日のうちに授業担当教員に質問するなどして理解に努め、日々の学習内容を確実に理解しましょう。演習で解けなかった問題については、答えを見て解けるようになった後でも、同じ問題を何度も解いて内容を定着させるようにしましょう。

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	2単位	学 年	3学年ビジネス・グローバル
教科書	高校数学Ⅱ（実教出版）		副教材等	高校数学Ⅱ専用 スタディーノート（実教出版） 数学就職問題集（愛媛県数学部会編集）			

1 学習の目標

- 様々な関数や愛媛県内の採用試験でよく出題される問題について演習を繰り返し行うことで、問題の傾向を把握し、計算の基礎・基本の定着を図ります。
- 事象を数学的に考察する能力を培い、数学の良さを認識できるようにします。
- 数学的な処理や考察に主体的に取り組み、身近な事象に活用する態度を育てます。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	(発展学習) 第1章 比と歩合 第2章 数と式の計算 第3章 1次方程式と1次関数 第6章 2次方程式と2次関数 第7章 不等式 第8章 三角比と三角関数	- 比と歩合の問題が解けるようにします。 - 数と式についての計算ができるようにします。 - 方程式の解を求めたり、文章問題を方程式で表したりできるようにします。 - 条件を満たす関数を求めたり、関数のグラフが描けたりできるようにします。 - 数の大小の性質を理解し、不等式が解けるようにします。 - 三角比と三角関数を活用して問題が解けるようにします。	単元テスト 期末考查
第2学期	第11章 場合の数と確率 第4章 図形 第12章 数列 第5章 その他 (2年次の続き) 3章 いろいろな関数 3節 指数関数 4節 対数関数 4章 微分と積分 1節 微分係数と導関数 2節 導関数の応用	- 場合の数と確率の問題が解けるようにします。 - 図形の性質を理解し、問題が解けるようにします。 - 数の規則性から数列を式で表します。また、数列の問題が解けるようにします。 - 指数関数及び対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにします。 - 微分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにします。	単元テスト 期末考查
第3学期	3節 積分の考え	積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにします。	

3 評価の規準

【知識・技能】

数学における基本的な考え方や計算方法等についての技術を身に付けている。
指数関数・対数関数、及び微分・積分の考えにおける基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。

【思考・判断・表現】

既習事項における基本的な知識や技術を組み合わせて事象を論理的に考察しようとしている。
指数関数や対数関数の基本的な性質の関係に着目し、関数の性質や身近な事象について考察することができる。
微分・積分の考えに基づいて、関数の性質やグラフの位置関係について考察することができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

学習内容を通して、事象を数学的に考察する良さを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。
問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

4 評価方法

学期毎に、上記の評価の規準の3つの観点から、学習活動への取組、単元テスト、定期考查、小テスト、振り返りシート、ノート、プリント、レポートについて評価します。また、各学期の評価を総括し、学年末の成績をA・B・Cおよび評点で評価します。

5 学習のアドバイス

予習・復習に時間をかけて確実に行いましょう。授業中に理解できなかったところは、その日のうちに授業担当教員に質問するなどして理解に努め、日々の学習内容を確実に理解しましょう。演習で解けなかった問題については、答えを見て解けるようになった後でも、同じ問題を何度も解いて内容を定着させるようにしましょう。

教科	数学	科目	数学探究	単位数	3単位	学 年	3学年アカデミア
教科書	自作教材 (内子高校小田分校)			副教材等	共通テスト対策【実力養成】 基礎徹底演習 数学〔新課程版〕 (ラーンズ)		

1 学習の目標

- ・ 数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bの基礎・基本を定着させるとともに、大学入学共通テストに対応できる実力を身に付けます。
- ・ 大学入学共通テスト実践問題集に取り組むことで、大学入学共通テストの出題傾向の把握と思考力・判断力を身に付けます。
- ・ 数学的な処理や考察に主体的に取り組む、社会生活に活用する態度を育てます。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第1章 数と式	・ 各章のタイトルにある分野ごとに、大学入学共通テスト対策を、問題集「基礎徹底演習」を用いて行い、大学入学共通テストに対応できる実力を身に付けていきます。2学期中間検査まで行います。	単元テスト 期末検査
	第2章 2次関数		
	第3章 図形と計量		
	第4章 データの分析		
	第5章 場合の数と確率		
	第6章 図形の性質		
	第7章 数学と人間の活動		
	第8章 式と証明		
	第9章 複素数と方程式		
	第10章 図形と方程式		
第2学期	第11章 三角関数	・ 大学入学共通テストの出題傾向を把握するとともに、学力の定着を図ります。また、実践的な演習を行い、時間配分やマーク解答のタイミングなど、個別の対応パターンを固めていきます。	単元テスト 期末検査
	第12章 指数関数・対数関数		
	第13章 微分法と積分法		
	第14章 数 列		
	第15章 統計的な推測 大学入学共通テスト 実践問題		
第3学期	数学ⅠA 直前対策問題 数学ⅡB 直前対策問題	・ 大学入学共通テスト本番を想定して、演習問題に取り組めます。試験本番の最終確認を行います。	

3 評価の規準

【知識・技能】

数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bの各分野における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bの各分野における知識を活用して事象を論理的に考察している。また、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察し、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現している。

【主体的に学習に取り組む態度】

数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bの各分野において考え方に関心を持つとともに、数学のよさを認識し、知識を積極的に活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めている。

4 評価方法

学期毎に、上記の評価の規準の3つの観点から、学習活動への取組、単元テスト、定期検査、小テスト、振り返りシート、ノート、プリント、レポートについて評価します。また、各学期の評価を総括し、学年末の成績をA・B・Cおよび評点で評価します。

5 学習のアドバイス

予習・復習を確実に行いましょう。授業中に理解できなかったところは、その日のうちに授業担当教員に質問するなどして理解に努め、日々の学習内容を確実に理解しましょう。演習で解けなかった問題については、答えを見て解けるようになった後でも、同じ問題を何度も解いて内容を定着させるようにしましょう。

教科	数学	科目	数学C	単位数	2単位	学年	3学年アカデミア
教科書	新編 数学C (数研出版)			副教材等	3 TRIAL II + B + C (数研出版) 等		

1 学習の目標

- ベクトル、平面上の曲線と複素平面の考えについて理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てます。
- 事象を数学的に考察、表現する能力を養うとともに、数学の良さを認識できるようにします。
- 数学的な処理や考察に主体的に取り組む、社会生活に活用する態度を育てます。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算 第2節 ベクトルと平面図形	- 平面上のベクトルの意味を理解し、ベクトルの演算や成分表示、内積などの基本的な性質について理解できるようにします。 - 平面図形に関する問題を、ベクトルを用いて処理できるようにします。	単元テスト
	第2章 空間のベクトル	座標及びベクトルの考えを平面から空間に拡張できることを理解できるようにします。	期末考查
第2学期	第3章 複素数平面 第4章 式と曲線 第1節 2次曲線 第2節 媒介変数表示と極座標	- 複素数平面における図形の移動などに関連付けて、複素数の演算や累乗根などの意味を考察できるようにします。 - 放物線、楕円、双曲線を相互に関連付けて考察できるようにします。 - 極座標の意味及び曲線が極座標で表されることを理解できるようにします。	単元テスト 期末考查
第3学期	問題演習	大学入学共通テスト及び大学入試問題を想定して、実践問題演習を行います。	

3 評価の規準

【知識・技能】

ベクトル、平面上の曲線と複素平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統一的・発展的に考察する力を身に付け、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現している。

【主体的に学習に取り組む態度】

数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を身に付けている。

4 評価方法

学期毎に、上記の評価の規準の3つの観点から、学習活動への取組、単元テスト、定期考查、小テスト、振り返りシート、ノート、プリント、レポートについて評価します。また、各学期の評価を総括し、学年末の成績をA・B・Cおよび評点で評価します。

5 学習のアドバイス

予習・復習を確実に行いましょう。授業中に理解できなかったところは、その日のうちに授業担当教員に質問するなどして理解に努め、日々の学習内容を確実に理解しましょう。演習で解けなかった問題については、答えを見て解けるようになった後でも、同じ問題を何度も解いて内容を定着させるようにしましょう。

教科	数学	科目	数学Ⅲ	単位数	3単位	学 年	3学年アカデミア理系
教科書	新編 数学Ⅲ (数研出版)			副教材等	3 TRIALⅢ+C (数研出版) 等		

1 学習の目標

- ・ 極限、微分法および積分法の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解させます。
- ・ 事象を数学的に考察、表現する能力を養うとともに、数学の良さを認識できるようにします。
- ・ 数学的な処理や考察に主体的に取り組み、社会生活に活用する態度を育てます。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第1章 関数	・ 分数関数と無理関数の値の変化やグラフの特徴について理解することができるようになります。 ・ 数列の極限を求めることができるようになります。 ・ 関数の極限について理解することができるようになります。 ・ 三角関数及び指数関数、対数関数の導関数を求めることができるようになります。	単元テスト
	第2章 極限		
	第1節 数列の極限		
	第2節 関数の極限		期末考查
第2学期	第3章 微分法	・ 導関数を用いて、いろいろな曲線の接線の方程式を求めたり、グラフの概形をかいたりすることができるようになります。 ・ 置換積分法及び部分積分法について理解し、それらを用いて不定積分や定積分を求めることができるようになります。 ・ 定積分を用いて、図形の面積や立体の体積及び曲線の長さを求めることができるようになります。	単元テスト
	第1節 導関数		
	第2節 いろいろな関数の導関数		
	第4章 微分法の応用		
	第1節 導関数の応用		
	第2節 いろいろな応用		期末考查
第3学期	第5章 積分法とその応用	・ 導関数を用いて、いろいろな曲線の接線の方程式を求めたり、グラフの概形をかいたりすることができるようになります。 ・ 置換積分法及び部分積分法について理解し、それらを用いて不定積分や定積分を求めることができるようになります。 ・ 定積分を用いて、図形の面積や立体の体積及び曲線の長さを求めることができるようになります。	
	第1節 不定積分		
	第2節 定積分		
	第3節 積分法の応用		
第3学期	問題演習	・ 大学入学共通テスト及び大学入試問題を想定して、実践問題演習を行います。	

3 評価の規準

【知識・技能】

極限及び微分法と積分法についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。

【主体的に学習に取り組む態度】

数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を身に付けている。

4 評価方法

学期毎に、上記の評価の規準の3つの観点から、学習活動への取組、単元テスト、定期考查、小テスト、振り返りシート、ノート、プリント、レポートについて評価します。また、各学期の評価を総括し、学年末の成績をA・B・Cおよび評点で評価します。

5 学習のアドバイス

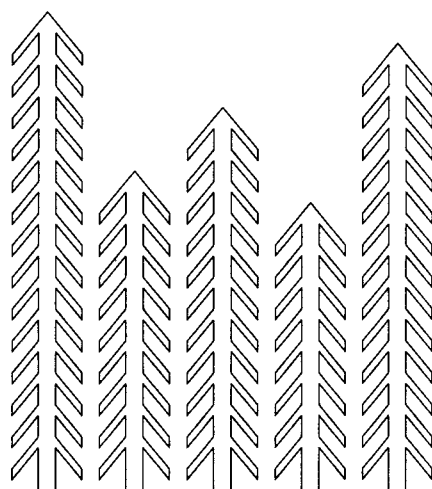
予習・復習を確実に行いましょう。授業中に理解できなかったところは、その日のうちに授業担当教員に質問するなどして理解に努め、日々の学習内容を確実に理解しましょう。演習で解けなかった問題については、答えを見て解けるようになった後でも、同じ問題を何度も解いて内容を定着させるようにしましょう。

令和8年度

シ ラ バ ス

(※シラバスとは学習計画表のこと)

理科



愛媛県立内子高等学校 小田分校

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	2単位	学 年	1学年
教科書	高等学校 改訂	地学基礎 (第一学習社)	副教材等		ビジュアルプラス地学基礎ノート (実教出版)		

1 学習の目標

- 日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高めます。
- 目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てます。
- 地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第1章 地球のすがた 第1節 地球の概観 第2節 プレーートの運動 第2章 地球の活動 第1節 地震 第2節 火山活動	- 地球の形や大きさについて、エラトステネスの測定方法やフランス学士院の測定方法を学習します。 - プレートの運動、断層の種類、変成作用について学習します。 - 地震の発生やその分布について学習します。 - 地震波の伝わり方について学習します。 - 日本近郊の地震の特徴について学習します。 - 世界および日本の火山の分布、火山帯でのマグマの発生について学習します。	期末考查
第2学期	第3章 大気と海洋 第1節 地球のエネルギー収支 第2節 大気と海水の運動 第4章 宇宙と地球 第1節 宇宙と太陽の誕生 第2節 太陽系と地球の誕生 第5章 生物の変遷と地球環境 第1節 地層と化石 第2節 地球と生物の変遷	- 大気の組成、大気の圧力、大気圏の構造、緯度によるエネルギー収支や、大気の大循環について学習します。 - 海水の組成と温度、海洋の層構造について学習します。 - エルニーニョ現象とラニーニャ現象について学習します。 - 宇宙の始まりやビッグバン、宇宙の晴れ上がりについて学習します。 - 太陽のエネルギー源や太陽の表面現象、太陽の構造について学習します。 - 太陽系の構造と誕生について、太陽系がどのように形成されたのかを学習します。 - 化石のでき方、示相化石と示準化石、相対年代と数値年代、地質時代の区分について学習します。	期末考查
第3学期	第6章 地球の環境 第1節 地球環境の科学 第2節 日本の自然環境	- 地球の温暖化について学習します。 - オゾン層の破壊について学習します。 - 自然エネルギーの利用や水資源について学習します。	学年末考查

3 評価の規準

【知識・技能】

地学的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付け、観察、実験の過程や結果及びそこから導き出した自らの考えを的確に表現できる。

【思考・判断・表現】

地学的な事物・現象の中に問題を見だし、観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実に基づいて科学的に判断したことを、言語活動を通じて表現できる。

【主体的に学習に取り組む態度】

地学的な事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

4 評価方法

定期考查、単元別テスト、平常点を総合的に判断して評価します。

平常点は、授業態度・出席状況・実験や観察への態度・実験レポートやノート等の提出物・小テストなどを総合的に評価します。

※ 理科では、特に観察・実験における意欲・態度・実験の技能・考察力を重視します。

5 学習のアドバイス

自分自身で考え、また「なぜか？」といつも自問自答することで、科学的な思考力が身に付きます。

実験には積極的に参加し、自分自身で触れ、考えるようにしましょう。実験データは正確に記録して、大切に、グラフの作成や分析をしましょう。実験後は実験プリントを整理し、提出しましょう。必ず復習をして理解を深め、演習問題等の課題をきちんと提出しましょう。考查の後には訂正ノート(テスト直し)を必ず課しますので、テスト後の勉強についてもしっかりとやりましょう。

令和8年度 内子高等学校 小田分校 シラバス

教科	理科	科目	物理基礎	単位数	2単位	学 年	2学年 アカデミア理系
教科書	高等学校 改訂 物理基礎 (第一学習社)		副教材等	セミナー物理基礎+物理 (第一学習社)			

1 学習の目標

- 日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高めます。
- 目的意識をもって観察、実験などを行い、物理的に探究する能力と態度を育てます。
- 物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第1章 運動とエネルギー 第1節 物体の運動	・ 基本的な運動である等速直線運動や等加速度直線運動について、物体の運動を調べるにはある時刻における座標、速度、加速度を知ればよいことを学習します。	期末考查
	第2節 力と運動の法則	・ 力の働きについて理解し、力を加えた場合に生じる加速度は加えた力や質量とどのような関係にあるか学習します。	
	第3節 仕事と力学的エネルギー	・ 力学的な仕事の意味を理解し、仕事をする能力として力学的エネルギーを学習します。	
第2学期	第2章 熱 第1節 熱とエネルギー	・ エネルギーの立場から熱現象を理解し、エネルギーが保存されることを学習します。	期末考查
	第3章 波動 第1節 波の性質	・ エネルギーの変換と保存について学習します。	
	第2節 音波	・ 波を振動が媒質を伝わる現象として捉え、その要素や波の性質について学習します。	
	第4章 電気 第1節 静電気と電流	・ 音が「波」の諸性質を示すことを理解し、共振・共鳴及びドップラー効果について学習します。	
第3学期	第2節 電流と磁場	・ 物体が帯電するしくみを学習し、オームの法則、合成抵抗の求め方、ジュール熱と電気量の関係について学習します。	学年末考查
	第3節 エネルギーとその利用	・ 交流は電圧が時間的に変化することを理解し、直流との違い、交流発電機や変圧器のしくみについて学習します。	

3 評価の規準

【知識・技能】

物理学的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付け、観察、実験の過程や結果及びそこから導き出した自らの考えを的確に表現できる。

【思考・判断・表現】

物理学的な事物・現象の中に問題を見だし、観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実に基づいて科学的に判断したことを、言語活動を通じて表現できる。

【主体的に学習に取り組む態度】

物理学的な事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

4 評価方法

定期考查、単元別テスト、平常点を総合的に判断して評価します。

平常点は、授業態度・出席状況・実験や観察への態度・実験レポートやノート等の提出物・小テストなどを総合的に評価します。

※ 理科では、特に観察・実験における意欲・態度・実験の技能・考察力を重視します。

5 学習のアドバイス

身近な物理現象について、興味・関心を持って積極的に授業に参加しましょう。実験や観察では、疑問を持った仮説を立てたりして、意欲的に取り組みましょう。そして、結果をまとめたり比較したりして、しっかりと考察しましょう。また、日常生活との関連や、自然環境と私たちの関わりについて考え、学習を進めましょう。特に授業のある日は必ず1時間復習をして理解を深め、問題演習等の課題をきちんと提出しましょう。考查の後には訂正ノート(テスト直し)を必ず課しますので、テスト後の勉強についてもしっかりとやりましょう。

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	2単位	学 年	2学年ビジネス・グローバル
教科書	改訂版 新編	化学基礎 (数研出版)	副教材等	改訂	ネオバルノート化学基礎 (第一学習社)		

1 学習の目標

- 日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高めます。
- 目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てます。
- 化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	序章 化学の特徴 第1編 物質の構成と化学結合 第1章 物質の構成 第2章 物質の構成粒子 第3章 粒子の結合	- 生活の中の化学について再発見をし、化学の役割について学習します。 - 物質の構成粒子や物質の種類の違いを学習します。 - 原子の構造及び電子配置と周期律との関係を学習します。 - イオンの生成、イオン結合、金属結合、共有結合を電子配置と関連付けて学習します。	期末考查
第2学期	第2編 物質の変化 第1章 物質と化学反応式 第2章 酸と塩基の反応 第3章 酸化還元反応	- 原子量・分子量・式量などの物質量の基本事項、物質と溶液の濃度の関係を学習します。 - 化学反応式は、化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解し、化学の進歩の歴史と基本的な法則の発見の経緯について学習します。 - 水溶液の酸性・塩基性の強弱と水素イオン濃度との関係及びpHについて学習します。 - 酸と塩基の性質と、中和反応に関与する物質の量的関係を学習します。 - 酸化・還元の見方を理解し、酸化還元反応が電子の授受によることを学習します。	期末考查
第3学期		- 酸化剤・還元剤の反応と実用電池の形成の関係を学習します。 - 酸化還元反応と日常生活や社会生活との関わりについて学習します。	学年末考查

3 評価の規準

【知識・技能】

化学的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付け、観察、実験の過程や結果及びそこから導き出した自らの考えを的確に表現できる。

【思考・判断・表現】

化学的な事物・現象の中に問題を見だし、観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実に基づいて科学的に判断したことを、言語活動を通じて表現できる。

【主体的に学習に取り組む態度】

化学的な事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

4 評価方法

定期考查、単元別テスト、平常点を総合的に判断して評価します。

平常点は、授業態度・出席状況・実験や観察への態度・実験レポートやノート等の提出物・小テストなどを総合的に評価します。

※ 理科では、特に観察・実験における意欲・態度・実験の技能・考察力を重視します。

5 学習のアドバイス

自分自身で考え、また「なぜか？」といつも自問自答することで、科学的な思考力が身に付きます。

実験には積極的に参加し、自分自身で触れ、考えるようにしましょう。実験データは正確に記録して、大切にし、グラフの作成や分析をしましょう。実験後は実験プリントを整理し、提出しましょう。必ず復習をして理解を深め、演習問題等の課題をきちんと提出しましょう。考查の後には訂正ノート(テスト直し)を必ず課しますので、テスト後の勉強についてもしっかりとやりましょう。

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	2単位	学 年	2学年アカデミア
教科書	改訂版	高等学校	化学基礎 (数研出版)	副教材等	新編 アクセス化学基礎 (浜島書店) 新編 アクセス活用ノート化学基礎 (浜島書店)		

1 学習の目標

- 日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高めます。
- 目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てます。
- 化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	序章 化学の特徴 第1編 物質の構成と化学結合 第1章 物質の構成 第2章 物質の構成粒子 第3章 粒子の結合	- 生活の中の化学について再発見をし、化学の役割について学習します。物質の種類と性質について学習します。 - 物質の構成粒子の違いと物質の種類の違いを学習します。 - 原子の構造および電子配置と周期律との関係や化学結合と物質の性質との関係を理解し、物質について微視的な見方を学習します。 - イオンの生成、イオン結合、金属結合、共有結合を電子配置と関連付けて学習します。	期末考查
第2学期	第2編 物質の変化 第1章 物質と化学反応式 第2章 酸と塩基の反応 第3章 酸化還元反応	- 原子量・分子量・式量などの物質の基本事項を学び、物質と溶液の濃度の関係を学習します。 - 化学反応式は、化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解し、化学の進歩の歴史と基本的な法則の発見の経緯について学習します。 - 水溶液の酸性・塩基性の強弱と水素イオン濃度との関係及びpHについて学習します。 - 酸と塩基の性質と、中和反応に関与する物質の量的関係を学習します。 - 酸化・還元の定義を理解し、酸化還元反応が電子の授受によることを学習します。	期末考查
第3学期		- 酸化剤・還元剤の反応と実用電池の形成の関係を学習します。 - 酸化還元反応と日常生活や社会生活との関わりについて学習します。	学年末考查

3 評価の規準

【知識・技能】

化学的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付け、観察、実験の過程や結果及びそこから導き出した自らの考えを的確に表現できる。

【思考・判断・表現】

化学的な事物・現象の中に問題を見だし、観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実に基づいて科学的に判断したことを、言語活動を通じて表現できる。

【主体的に学習に取り組む態度】

化学的な事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

4 評価方法

定期考查、単元別テスト、平常点を総合的に判断して評価します。

平常点は、授業態度・出席状況・実験や観察への態度・実験レポートやノート等の提出物・小テストなどを総合的に評価します。

※ 理科では、特に観察・実験における意欲・態度・実験の技能・考察力を重視します。

5 学習のアドバイス

自分自身で考え、また「なぜか？」といつも自問自答することで、科学的な思考力が身に付きます。

実験には積極的に参加し、自分自身で触れ、考えるようにしましょう。実験データは正確に記録して、大切にし、グラフの作成や分析をしましょう。実験後は実験プリントを整理し、提出しましょう。必ず復習をして理解を深め、演習問題等の課題をきちんと提出しましょう。考查の後には訂正ノート(テスト直し)を必ず課しますので、テスト後の勉強についてももしっかりやりましょう。

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	2単位	学 年	2学年アカデミア
教科書	改訂版	高等学校	生物基礎 (数研出版)	副教材等	新編 アクセス生物基礎 (浜島書店)		新編 アクセス活用ノート生物基礎 (浜島書店)

1 学習の目標

- 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高めます。
- 目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てます。
- 生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第1章 生物の特徴 1. 生物の多様性と共通性 2. エネルギーと代謝 3. 呼吸と光合成 第2章 遺伝子とそのはたらき 1. 遺伝情報とDNA 2. 遺伝情報の複製と分配 3. 遺伝情報の発現	- 生物の特徴の1つに挙げられる、多様性と共通性について学習します。 - エネルギーと代謝の関係性、エネルギーの通貨として働くATPについて学習します。 - 遺伝子の本体としてのDNAの構造を学習します。 - 体細胞分裂に伴うDNAの複製と分配について学習します。 - 遺伝情報がタンパク質の合成という形で現れる過程を学習します。	期末考查
第2学期	第3章 ヒトの体内環境の維持 1. 体内での情報伝達と調節 2. 体内環境の維持のしくみ 3. 免疫のはたらき	- 自律神経とホルモンによる体内環境の調節のしくみを学習します。 - 血液の成分とはたらき、血液の凝固について学習します。 - 異物の体内への侵入を防いだり、侵入した異物を排除したりするしくみを学習します。 - 免疫と病気の関係や、免疫が医療に応用されていることについて学習します。	期末考查
第3学期	第4章 生物の多様性と生態系 1. 植生と遷移 2. 植生の分布とバイオーム 3. 生態系と生物の多様性 4. 生態系のバランスと保全	- 生態系の成り立ちと植生の果たす役割を理解し、植生の遷移が生じるメカニズムを学習します。 - 気候条件の違いに基づいて、様々なバイオームが成立する過程や、世界や日本におけるバイオームの分布について学習します。 - 生態系におけるエネルギーの流れについて理解し、生態系の保全について学習します。	学年末考查

3 評価の規準

【知識・技能】

生物学的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付け、観察、実験の過程や結果及びそこから導き出した自らの考えを的確に表現できる。

【思考・判断・表現】

生物学的な事物・現象の中に問題を見だし、観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実に基づいて科学的に判断したことを、言語活動を通じて表現できる。

【主体的に学習に取り組む態度】

生物学的な事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

4 評価方法

定期考查、単元別テスト、平常点を総合的に判断して評価します。

平常点は、授業態度・出席状況・実験や観察への態度・実験レポートやノート等の提出物・小テストなどを総合的に評価します。

※ 理科では、特に観察・実験における意欲・態度・実験の技能・考察力を重視します。

5 学習のアドバイス

まず、身近な生き物について興味・関心を持ち、しっかりと観察する姿勢を身に付けましょう。授業には、積極的に参加し、特に実験や観察の際には、疑問を持ったり仮説を立てたりして、意欲的に取り組みましょう。そして、結果をまとめたり比較したりして、しっかりと考察しましょう。また、授業で学習する内容と日常生活との関連について考え、科学の進歩と我々の生活との深い結び付きも理解しましょう。必ず復習をして理解を深め、問題演習等の課題をきちんと提出しましょう。考查の後には訂正ノート(テスト直し)を必ず提出しますので、テスト後の勉強についてもしっかりとやりましょう。

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	2単位	学 年	3学年ビジネス・グローバル
教科書	改訂版 新編	生物基礎 (数研出版)	副教材等	改訂	ネオバルノート生物基礎 (第一学習社)		

1 学習の目標

- 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高めます。
- 目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てます。
- 生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第1章 生物の特徴 1. 生物の多様性と共通性 2. エネルギーと代謝 3. 呼吸と光合成 第2章 遺伝子とのはたらき 1. 遺伝情報とDNA 2. 遺伝情報の複製と分配 3. 遺伝情報の発現	・ 生物の特徴の1つに挙げられる、多様性と共通性について学習します。 ・ エネルギーと代謝の関係性、エネルギーの通貨として働くATPについて学習します。 ・ 遺伝子の本体としてのDNAの構造を学習します。 ・ 体細胞分裂に伴うDNAの複製と分配について学習します。 ・ 遺伝情報がタンパク質の合成という形で現れる過程を学習します。	期末考查
第2学期	第3章 ヒトの体内環境の維持 1. 体内での情報伝達と調節 2. 体内環境の維持のしくみ 3. 免疫のはたらき	・ 自律神経とホルモンによる体内環境の調節のしくみ、血液の成分とはたらき、血液の凝固について学習します。 ・ 異物の体内への侵入を防いだり、侵入した異物を排除したりするしくみを学習します。 ・ 免疫と病気の関係や、免疫が医療に応用されていることについて学習します。	期末考查
第3学期	第4章 生物の多様性と生態系 1. 植生と遷移 2. 植生の分布とバイオーム 3. 生態系と生物の多様性 4. 生態系のバランスと保全	・ 生態系の成り立ちと植生の果たす役割を理解し、植生の遷移が生じるメカニズムを学習します。 ・ 気候条件の違いに基づいて、様々なバイオームが成立する過程や、世界や日本におけるバイオームの分布について学習します。 ・ 生態系におけるエネルギーの流れについて理解し、生態系の保全について学習します。	

3 評価の規準

【知識・技能】

生物学的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付け、観察、実験の過程や結果及びそこから導き出した自らの考えを的確に表現できる。

【思考・判断・表現】

生物学的な事物・現象の中に問題を見だし、観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実に基づいて科学的に判断したことを、言語活動を通じて表現できる。

【主体的に学習に取り組む態度】

生物学的な事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

4 評価方法

定期考査、単元別テスト、平常点を総合的に判断して評価します。

平常点は、授業態度・出席状況・実験や観察への態度・実験レポートやノート等の提出物・小テストなどを総合的に評価します。

※ 理科では、特に観察・実験における意欲・態度・実験の技能・考察力を重視します。

5 学習のアドバイス

まず、身近な生き物について興味・関心を持ち、しっかりと観察する姿勢を身に付けましょう。授業には、積極的に参加し、特に実験や観察の際には、疑問を持ったり仮説を立てたりして、意欲的に取り組みましょう。そして、結果をまとめたり比較したりして、しっかりと考察しましょう。また、授業で学習する内容と日常生活との関連について考え、科学の進歩と我々の生活との深い結び付きも理解しましょう。必ず復習をして理解を深め、問題演習等の課題をきちんと提出しましょう。考査の後には訂正ノート(テスト直し)を必ず提出しますので、テスト後の勉強についてもしっかりとやりましょう。

教科	理科	科目	物理	単位数	4単位	学年	3学年 アカデミア理系
教科書	高等学校 物理 (第一学習社)		副教材等	新課程版	セミナー物理基礎+物理 (第一学習社)		

1 学習の目標

- 物理的な事物・現象に対する探究心を高めます。
- 目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てます。
- 物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成します。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第Ⅰ章 運動とエネルギー	- 平面運動などの運動について学習します。 - 力のモーメント、剛体のつりあい、剛体にはたらく2力の合成、偶力などを学習します。 - 運動量と力積の関係を理解し、運動量保存の法則を学習します。 - 等速円運動の諸量について理解し、単振動について学習します。 - ケプラーの法則を学習し、万有引力を受ける物体の運動を理解します。 - 気体の諸法則について学習します。 - 正弦波の式、位相について理解し、波の式の導出と諸原理について学習します。	期末考查
	第1節 平面運動と放物運動		
	第2節 剛体のつりあい		
	第3節 運動量の保存		
	第4節 円運動と単振動		
第2学期	第5節 気体の性質と分子の運動		
	第Ⅱ章 波動		
	第1節 波の性質		
	第2節 音波		
	第3節 光波		
第3学期	第Ⅲ章 電気と磁気	- 音波の性質や伝わり方、ドップラー効果などを学習します。 - 光の屈折・回折・干渉などの現象について、ヤングの実験などを通して学習します。 - 導体について理解し、静電誘導、誘電分極のしくみ、電場や電位の基本的な性質を学習します。 - オームの法則やジュール熱などの式を導き、各物理量の求め方について学習します。 - 磁場中で電流が受ける力を学習します。 - 磁場中を動く導体に生じる起電力や、導体を動かすのに要する力などを学習します。 - 電子の波動性と物質波、波動と粒子の二重性について学習します。 - 原子核の構成やその変化に伴う放射線の放出について学習します。	期末考查
	第1節 電場と電位		
	第2節 電流		
	第3節 電流と磁場		
	第4節 電磁誘導と交流		
第3学期	第Ⅳ章 原子		
	第1節 電子と光		
第3学期	第2節 原子と原子核		

3 評価の規準

【知識・技能】

物理的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付け、観察、実験の過程や結果及びそこから導き出した自らの考えを的確に表現できる。

【思考・判断・表現】

物理的な事物・現象の中に問題を見だし、観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実に基づいて科学的に判断したことを、言語活動を通じて表現できる。

【主体的に学習に取り組む態度】

物理的な事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

4 評価方法

定期考查、単元別テスト、平常点を総合的に判断して評価します。

平常点は、授業態度・出席状況・実験や観察への態度・実験レポートやノート等の提出物・小テストなどを総合的に評価します。

※ 理科では、特に観察・実験における意欲・態度・実験の技能・考察力を重視します。

5 学習のアドバイス

身近な物質や現象について興味・関心を持って積極的に授業に参加しましょう。実験や観察では、疑問を持った仮説を立てたりして、意欲的に取り組みましょう。そして、結果をまとめたり比較したりして、しっかりと考察しましょう。また、日常生活との関連や、自然環境と私たちの関わりについて考え、学習を進めましょう。特に授業のある日は必ず1時間復習をして理解を深め、問題演習等の課題をきちんと提出しましょう。考查の後には訂正ノート(テスト直し)を必ず課しますので、テスト後の勉強についてもしっかりとやりましょう。

教科	理科	科目	化学	単位数	4単位	学年	3学年 アカデミア理系
教科書	化学（数研出版）			副教材等	セミナー化学基礎＋化学（第一学習社）		

1 学習の目標

- 化学的な事物・現象に対する探究心を高めます。
- 目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てます。
- 化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成します。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第1編 物質の状態 第1章 固体の構造 第2章 物質の状態変化 第3章 気体 第4章 溶液 第2編 物質の変化 第1章 化学反応とエネルギー 第2章 電池と電気分解 第3章 化学反応の速さとしくみ 第4章 化学平衡	・ 固体の結晶格子の概念とそれぞれの結晶の構造について学習します。 ・ 状態変化に伴うエネルギーの出入りや、化学結合と融点・沸点の関係を学習します。 ・ 理想気体の状態方程式、混合気体に対する考え方、実在気体との違いについて学習します。 ・ 溶解のしくみを理解し、固体及び気体の溶解度を溶解平衡と関連付けて学習します。 ・ 化学反応に伴って放出・吸収する熱量をエンタルピー変化で表すことを学習します。 ・ 電池のしくみを学習します。 ・ 反応速度と反応条件の関係や反応のしくみ、触媒の利用について学習します。 ・ 可逆反応と化学平衡、ルシャトリエの原理に基づく化学平衡の移動について学習します。	期末考査
第2学期	第3編 無機物質 第1章 非金属元素 第2章 金属元素（Ⅰ）－典型元素－ 第3章 金属元素（Ⅱ）－遷移元素－ 第4編 有機化合物 第1章 有機化合物の分類と分析 第2章 脂肪族炭化水素 第3章 アルコールと関連化合物 第4章 芳香族化合物	・ 非金属元素の単体と化合物の性質や反応を周期表と関連させて学習します。 ・ 典型金属元素・遷移金属元素の単体と化合物の性質や反応について学習します。 ・ 有機化合物の分類と特徴を学習します。 ・ 脂肪族炭化水素の性質や反応を構造と関連して理解します。 ・ 酸素を含む脂肪族化合物の性質や反応について学習します。 ・ 芳香族化合物の構造、性質及び反応について学習します。	期末考査
第3学期	第5編 高分子化合物 第1章 高分子化合物の性質 第2章 天然高分子化合物 第3章 合成高分子化合物	・ 高分子化合物の分類や構造、重合方法、特徴などについて学習します。 ・ 天然高分子化合物の構造や性質について学習します。 ・ 合成高分子化合物の構造や性質及び合成について学習します。	

3 評価の規準

【知識・技能】

化学的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付け、観察、実験の過程や結果及びそこから導き出した自らの考えを的確に表現できる。

【思考・判断・表現】

化学的な事物・現象の中に問題を見いだし、観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実に基づいて科学的に判断したことを、言語活動を通じて表現できる。

【主体的に学習に取り組む態度】

化学的な事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

4 評価方法

定期考査、単元別テスト、平常点を総合的に判断して評価します。

平常点は、授業態度・出席状況・実験や観察への態度・実験レポートやノート等の提出物・小テストなどを総合的に評価します。

※ 理科では、特に観察・実験における意欲・態度・実験の技能・考察力を重視します。

5 学習のアドバイス

自然の事物・現象に関心や探求心を持って取り組みましょう。観察・実験では、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に捉えるようにしましょう。また、多くの演習を通して、実力を付けていきましょう。特に授業があった日は必ず1時間復習するようにしましょう。

教科	理科	科目	生物探究	単位数	2単位	学 年	3学年 アカデミア文系
教科書	自作教材（内子高等学校小田分校）		副教材等	高等学校 生物基礎（数研出版） 新編 アクセス生物基礎（浜島書店） 新編 アクセス活用ノート生物基礎（浜島書店）			

1 学習の目標

- 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高めます。
- 目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てます。
- 生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	既習事項の確認と問題演習 第1章 生物の特徴 1. 生物の多様性と共通性 2. エネルギーと代謝 3. 呼吸と光合成 第2章 遺伝子とそのはたらき 1. 遺伝情報とDNA 2. 遺伝情報の複製と分配 3. 遺伝情報の発現	- これまでの学習内容について基礎的事項を再度確認し、様々な問題を解いていくことを通してさらに深い知識や応用力を身に付けます。 - 授業では取り扱わなかった生物現象の詳細なしくみや最先端の科学事象についても学習します。	期末考査
第2学期	第3章 ヒトの体内環境の維持 1. 体内での情報伝達と調節 2. 体内環境の維持のしくみ 3. 免疫のはたらき	- これまでの学習内容について基礎的事項を再度確認し、様々な問題を解いていくことを通して、さらに深い知識や応用力を身に付けます。 - 授業では取り扱わなかった生物現象の詳細なしくみや最先端の科学事象についても学習します。 - 記述だけでなく、マーク式の問題演習を行うことで、時間内に多くの問題を解く力を身に付けます。 - 過年度の問題にも挑戦し、幅広い知識を身に付けます。	期末考査
第3学期	第4章 生物の多様性と生態系 1. 植生と遷移 2. 植生の分布とバイオーム 3. 生態系と生物の多様性 4. 生態系のバランスと保全	- 記述だけでなく、マーク式の問題演習を行うことで、時間内に多くの問題を解く力を身に付けます。 - 過年度の問題にも挑戦し、幅広い知識を身に付けます。	

3 評価の規準

【知識・技能】

生物学的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付け、観察、実験の過程や結果及びそこから導き出した自らの考えを的確に表現できる。

【思考・判断・表現】

生物学的な事物・現象の中に問題を見いだし、観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実に基づいて科学的に判断したことを、言語活動を通じて表現できる。

【主体的に学習に取り組む態度】

生物学的な事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

4 評価方法

定期考査、単元別テスト、平常点を総合的に判断して評価します。

平常点は、授業態度・出席状況・実験や観察への態度・実験レポートやノート等の提出物・小テストなどを総合的に評価します。

※ 理科では、特に観察・実験における意欲・態度・実験の技能・考察力を重視します。

5 学習のアドバイス

授業には積極的に参加して、多くの知識や考え方を確実に身に付けましょう。さらに、生物探究では、復習と問題演習が大切になります。問題演習を繰り返し行うことで、知識を確実に身に付けましょう。また、実験や観察の際には、仮説を立て、目的を持って意欲的に取り組みましょう。結果をまとめる際には、身に付けている知識と比較し、しっかりと考察しましょう。また、授業で学習する内容と日常生活との関連について考え、科学の進歩と我々の生活との深い結び付きも理解しましょう。

教科	理科	科目	地学探究	単位数	2単位	学 年	3学年 アカデミア文系
教科書	自作教材（内子高等学校小田分校）		副教材等	高等学校 地学基礎（第一学習社） 新課程版 ネオパルノート地学基礎（第一学習社） センサー地学基礎 4th Edition（啓林館）			

1 学習の目標

- 日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高めます。
- 目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てます。
- 地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	既習事項の確認と問題演習	- これまでの学習内容について基礎的事項を再度確認し、様々な問題を解いていくことを通してさらに深い知識や応用力を身に付けます。 - 授業では取り扱わなかった自然現象の詳細なしくみや最先端の科学事象についても学習します。	期末考查
	第1章 地球のすがた 第1節 地球の概観 第2節 プレーートの運動 第2章 地球の活動 第1節 地震 第2節 火山活動		
第2学期	第3章 大気と海洋 第1節 地球のエネルギー収支 第2節 大気と海水の運動 第4章 宇宙と地球 第1節 宇宙と太陽の誕生 第2節 太陽系と地球の誕生 第5章 生物の変遷と地球環境 第1節 地層と化石 第2節 地球と生物の変遷	- これまでの学習内容について基礎的事項を再度確認し、様々な問題を解いていくことを通して、さらに深い知識や応用力を身に付けます。 - 授業では取り扱わなかった自然現象の詳細なしくみや最先端の科学事象についても学習します。 - 記述だけでなく、マーク式の問題演習を行うことで、時間内に多くの問題を解く力を身に付けます。 - 過年度の問題にも挑戦し、幅広い知識を身に付けます。	期末考查
	第6章 地球の環境 第1節 地球環境の科学 第2節 日本の自然環境		
第3学期		- 記述だけでなく、マーク式の問題演習を行うことで、時間内に多くの問題を解く力を身に付けます。 - 授業では取り扱わなかった自然現象の詳細なしくみや最先端の科学事象についても学習します。	

3 評価の規準

【知識・技能】

地学的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付け、観察、実験の過程や結果及びそこから導き出した自らの考えを的確に表現できる。

【思考・判断・表現】

地学的な事物・現象の中に問題を見だし、観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実に基づいて科学的に判断したことを、言語活動を通じて表現できる。

【主体的に学習に取り組む態度】

地学的な事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

4 評価方法

定期考查、単元別テスト、平常点を総合的に判断して評価します。

平常点は、授業態度・出席状況・実験や観察への態度・実験レポートやノート等の提出物・小テストなどを総合的に評価します。

※ 理科では、特に観察・実験における意欲・態度・実験の技能・考察力を重視します。

5 学習のアドバイス

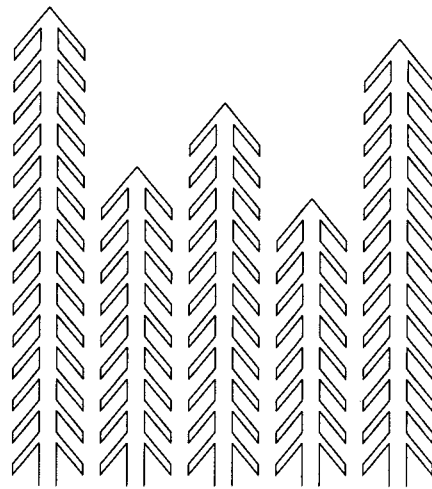
自然の事物・現象に関心や探究心を持って取り組みましょう。観察・実験では、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に捉えるようにしましょう。また、多くの演習を通して、実力を付けていきましょう。特に授業があった日は必ず1時間復習するようにしましょう。

令和8年度

シ ラ バ ス

(※シラバスとは学習計画表のこと)

保健体育科



愛媛県立内子高等学校小田分校

教科	保健体育	科目	体育	単位数	3単位	学年	1学年
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）		副教材等	ステップアップ2026（大修館書店） 現代高等保健体育ノート（大修館書店）			

1 学習の目標

○運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けます。
○合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養います。
○健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	1 集団行動	・ 小田校体操、集合、整頓、開列、方向転換、行進等集団行動の仕方を学習します。	スキルテスト
	2 体づくり運動	・ 体づくりの運動の意義と体力の高め方について学習します。	
	3 運動会練習	・ 競技やダンスの練習を行います。	
	4 選択Ⅰ 球技（ソフトボール及びバレーボール）	・ 個人的技能、集団的技能、ルール、審判法等を学習し、ゲームを行います。	
	5 体育理論	・ 体の動き、スポーツの変遷等を学習します。	
第2学期	1 体づくり運動	・ 体づくりの運動等を学習します。	スキルテスト
	2 選択Ⅱ 球技（サッカー及びバスケットボール）	・ 個人的技能、集団的技能、ルール、審判法等を学習し、ゲームを行います。	
	3 陸上競技（長距離走）	・ 長距離走を行います。	
	4 体育理論	・ スポーツの文化的特徴等を学習します。	
第3学期	1 武道またはダンスから一つ選択	・ 剣道またはダンスを学習します。	スキルテスト
	2 体づくり運動	・ 体づくりの運動等を学習します。	
	3 スキーまたはスノーボードから一つ選択	・ スキー場で、実習を行います。	
	4 選択Ⅲ 球技（テニス及びバドミントン）	・ 個人的技能、集団的技能、ルール、審判法等を学習し、ゲームを行います。	
	5 体育理論	・ スポーツと経済等を学習します。	

3 評価の規準

【知識及び技能】

自己や仲間の課題を解決するなどの多様な喜びを味わい、技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などについて理解している。各種目特有の技能を身に付けたり、自己に適した技で演技したりすることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。

【主体的に学習に取り組む態度】

主体的に取り組むとともに、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることや健康・安全を確保しようとしている。

4 評価方法

「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に判断して評価します。

5 学習のアドバイス

授業を欠席しないようにしましょう。積極的な態度で授業に臨み、準備・後片付けなども率先して行うことを心掛けましょう。

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1単位	学年	1学年
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）		副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館書店）			

1 学習の目標

- 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともにその技能を身に付けます。
- 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養います。
- 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	2 安全な社会生活 (4) 応急手当の意義とその基本 (5) 日常的な応急手当 (6) 心肺蘇生法	- 適切な応急手当について学習します。 - 具体的な応急手当の方法を学習します。 - 心肺蘇生法の原理と手順について学習します。	期末 考查
	1 現代社会と健康 (1) 健康の考え方と成り立ち (2) 私たちの健康のすがた (3) 生活習慣病とその予防 (4) がんの原因と予防 (5) がんの治療と回復	- 健康の考え方と成り立ちについて学習します。 - 私たちの健康のすがたについて学習します。 - 生活習慣病とその予防について学習します。 - がんの原因と予防について学習します。 - がんの治療と回復について学習します。	
第2学期	(6) 運動と健康 (7) 食事と健康 (8) 休養・睡眠と健康 (9) 喫煙と健康 (10) 飲酒と健康 (11) 薬物乱用と健康 (12) 精神疾患の特徴 (13) 精神疾患の予防 (14) 精神疾患からの回復 (15) 現代の感染症 (16) 感染症の予防	- 運動と健康について学習します。 - 食事と健康について学習します。 - 休養・睡眠と健康について学習します。 - 喫煙と健康について学習します。 - 飲酒と健康について学習します。 - 薬物乱用と健康について学習します。 - 精神疾患の特徴について学習します。 - 精神疾患の予防について学習します。 - 精神疾患からの回復について学習します。 - 現代の感染症について学習します。 - 感染症の予防について学習します。	期末 考查
第3学期	(18) 健康に関する意志決定・行動選択 (19) 健康に関する環境づくり 2 安全な社会生活 (1) 事故の現状と発生要因 (2) 安全な社会の形成 (3) 交通における安全	- 健康に関する意思決定・行動選択について学習します。 - 健康に関する環境づくりについて学習します。 - 事故の現状と発生要因について学習します。 - 安全な社会の形成について学習します。 - 交通における安全について学習します。	学年末 考查

3 評価の規準

【知識・技能】

健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。

【思考・判断・表現】

個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し総合的に捉えることにより、適切な意思決定を行い、選択すべき行動を適切に判断している。

【主体的に学習に取り組む態度】

個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとしている。

4 評価方法

「知識・技能」「思考・判断力・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に判断して評価します。

5 学習のアドバイス

授業に集中して臨みましょう。『現代高等保健体育ノート』の問題を解いて、予習・復習に役立ててください。学期末に提出してもらいます。

教科	保健体育	科目	体育	単位数	2単位	学 年	2 学年
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）		副教材等	ステップアップ 2025（大修館書店） 現代高等保健体育ノート（大修館書店）			

1 学習の目標

- 運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けます。
 ○合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養います。
 ○健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	1 集団行動 2 体づくり運動 3 運動会練習 4 選択Ⅰ 球技（ソフトボール及びバレーボール） 5 体育理論	- 小田校体操、集合、整頓、開列、方向転換、行進等集団行動の仕方を学習します。 - 体づくりの運動の意義と体力の高め方について学習します。 - 競技やダンスの練習を行います。 - 個人的技能、集団的技能、ルール、審判法等を学習し、ゲームを行います。 - 体の動き、スポーツの変遷等を学習します。	スキルテスト
第2学期	1 体づくり運動 2 選択Ⅱ 球技（サッカー及びバスケットボール） 3 陸上競技（長距離走） 4 体育理論	- 体づくりの運動等を学習します。 - 個人的技能、集団的技能、ルール、審判法等を学習し、ゲームを行います。 - 長距離走を行います。 - スポーツの文化的特徴等を学習します。	スキルテスト
第3学期	1 武道またはダンスから一つ選択 2 体づくり運動 3 スキーまたはスノーボードから一つ選択 4 選択Ⅲ 球技（テニス及びバドミントン） 5 体育理論	- 剣道またはダンスを学習します。 - 体づくりの運動等を学習します。 - スキー場で、実習を行います。 - 個人的技能、集団的技能、ルール、審判法等を学習し、ゲームを行います。 - スポーツと経済等を学習します。	スキルテスト

3 評価の規準

【知識及び技能】

自己や仲間の課題を解決するなどの多様な喜びを味わい、技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などについて理解している。各種目特有の技能を身に付けたり、自己に適した技で演技したりすることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。

【主体的に学習に取り組む態度】

主体的に取り組むとともに、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることや健康・安全を確保しようとしている。

4 評価方法

「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に判断して評価します。

5 学習のアドバイス

授業を欠席しないようにしましょう。積極的な態度で授業に臨み、準備・後片付けなども率先して行うことを心掛けましょう。

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1単位	学 年	2 学年
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）		副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館書店）			

1 学習の目標

- 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともにその技能を身に付けます。
- 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養います。
- 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	3 生涯を通じる健康 (1) ライフステージと健康 (2) 思春期と健康 (3) 性意識と性行動の選択 (4) 妊娠・出産と健康 (5) 避妊法と人工妊娠中絶 (6) 結婚生活と健康 (7) 中高年期と健康 (8) 働くことと健康	・ ライフステージと健康について学習します。 ・ 思春期と健康について学習します。 ・ 性意識と性行動の選択について学習します。 ・ 妊娠・出産と健康について学習します。 ・ 避妊法と人工妊娠中絶について学習します。 ・ 結婚生活と健康について学習します。 ・ 中高年期と健康について学習します。 ・ 働くことと健康について学習します。	期末考査
第2学期	(9) 労働災害と健康 (10) 健康的な職業生活 4 健康を支える環境づくり (1) 大気汚染と健康 (2) 水質汚濁、土壌汚染と健康 (3) 環境と健康にかかわる対策 (4) ごみの処理と上下水道の整備 (5) 食品の安全性 (6) 食品衛生にかかわる活動	・ 労働災害と健康について学習します。 ・ 健康的な職業生活について学習します。 ・ 大気汚染と健康について学習します。 ・ 水質汚濁、土壌汚染と健康について学習します。 ・ 環境と健康にかかわる対策について学習します。 ・ ごみの処理と上下水道の整備について学習します。 ・ 食品の安全性について学習します。 ・ 食品衛生にかかわる活動について学習します。	期末考査
第3学期	(7) 保健サービスとその活用 (8) 医療サービスとその活用 (9) 医薬品の制度とその活用 (10) さまざまな保健活動や社会的対策 (11) 健康に関する環境づくりと社会参加	・ 保健サービスとその活用について学習します。 ・ 医療サービスとその活用について学習します。 ・ 医薬品の制度とその活用について学習します。 ・ さまざまな保健活動や社会的対策について学習します。 ・ 健康に関する環境づくりと社会参加について学習します。	学年末考査

3 評価の規準

【知識・技能】 健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し総合的に捉えることにより、適切な意思決定を行い、選択すべき行動を適切に判断している。 【主体的に学習に取り組む態度】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとする。

4 評価方法

「知識・技能」「思考・判断力・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に判断して評価します。

5 学習のアドバイス

授業に集中して臨みましょう。『現代高等保健体育ノート』の問題を解いて、予習・復習に役立ててください。学期末に提出してもらいます。
--

教科	保健体育	科目	体育	単位数	2単位	学 年	3 学年
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）		副教材等	ステップアップ 2024（大修館書店） 現代高等保健体育ノート（大修館書店）			

1 学習の目標

- 運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けます。
 ○合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養います。
 ○健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	1 集団行動	・ 小田校体操、集合、整頓、開列、方向転換、行進等集団行動の仕方を学習します。	スキルテスト
	2 体づくり運動	・ 体づくりの運動の意義と体力の高め方について学習します。	
	3 運動会練習	・ 競技やダンスの練習を行います。	
	4 選択Ⅰ 球技（ソフトボール及びバレーボール）	・ 個人的技能、集団的技能、ルール、審判法等を学習し、ゲームを行います。	
	5 体育理論	・ スポーツの技術と技能等を学習します。	
第2学期	1 体づくり運動	・ 体づくりの運動等を学習します。	スキルテスト
	2 選択Ⅱ 球技（サッカー及びバスケットボール）	・ 個人的技能、集団的技能、ルール、審判法等を学習し、ゲームを行います。	
	3 陸上競技（長距離走）	・ 長距離走を行います。	
	4 体育理論	・ 技能と体力、トレーニング等を学習します。	
第3学期	1 体づくり運動	・ 体づくりの運動等を学習します。	スキルテスト
	2 選択Ⅲ 球技（テニス及びバドミントン）	・ 個人的技能、集団的技能、ルール、審判法等を学習し、ゲームを行います。	
	3 体育理論	・ スポーツ時の安全の確保等を学習します。	

3 評価の規準

【知識及び技能】

自己や仲間の課題を解決するなどの多様な喜びを味わい、技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などについて理解している。各種目特有の技能を身に付けたり、自己に適した技で演技したりすることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。

【主体的に学習に取り組む態度】

主体的に取り組むとともに、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることや健康・安全を確保しようとしている。

4 評価方法

「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に判断して評価します。

5 学習のアドバイス

授業を欠席しないようにしましょう。積極的な態度で授業に臨み、準備・後片付けなども率先して行うことを心掛けましょう。

教 科	保健体育	科 目	体育	単位数	3単位	学 年	3学年
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）		副教材等	ステップアップ 2024（大修館書店）			

1 学習の目標

○運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けます。
 ○合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養います。
 ○健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養います。 運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けます。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	1 球技 (1) バスケットボール (2) バドミントン	・ 個人的技能、集団的技能、ルール、審判法等を学習し、ゲームを行います。	スキルテスト
第2学期	1 球技 (1) テニス (2) 卓球	・ 個人的技能、集団的技能、ルール、審判法等を学習し、ゲームを行います。	スキルテスト
第3学期	1 球技 (1) サッカー (2) バレーボール	・ 個人的技能、集団的技能、ルール、審判法等を学習し、ゲームを行います。	スキルテスト

3 評価の規準

【知識及び技能】

自己や仲間の課題を解決するなどの多様な喜びを味わい、技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などについて理解している。各種目特有の技能を身に付けたり、自己に適した技で演技したりすることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。

【主体的に学習に取り組む態度】

主体的に取り組むとともに、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることや健康・安全を確保しようとしている。

4 評価方法

「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に判断して評価します。

5 学習のアドバイス

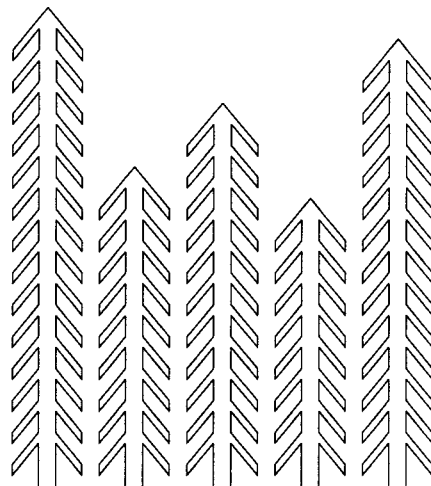
授業を欠席しないようにしましょう。積極的な態度で授業に臨み、準備・後片付けなども率先して行うことを心掛けましょう。

令和8年度

シ ラ バ ス

(※シラバスとは学習計画表のこと)

芸術科



愛媛県立内子高等学校 小田分校

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	2単位	学 年	1学年
教科書	高校生の音楽①（教育芸術社）			副教材等			

1 学習の目標

- ・ 芸術的な表現力・想像力を身に付けるために、音楽の基本的な知識を学び、鑑賞や音楽表現（歌唱・器楽・創作）に生かします。
- ・ グループ活動では、協力しながら基礎的な知識を活用する能力を伸ばします。
- ・ 生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	○ 歌唱（斉唱・合唱） ・ 校歌 ・ 少年時代 ・ 世界に一つだけの花 ○ 楽典 ・ 音符の名前 ・ 音符の長さ ・ 楽譜の読み方	・ 耳馴染んだ曲を全員で斉唱や合唱をします。 ・ 曲の持っている雰囲気を感じ、その雰囲気を自らの声で表現します。 ・ 手話コーラスを通して、言葉の大切さを学び、表現力を向上します。 ・ 音楽の三要素である、リズム・ハーモニー・メロディーについて学習します。	
第2学期	○ 器楽 ・ 和楽器 ○ 歌唱（芸術歌曲）・鑑賞 ・ フランスの音楽 ・ ドイツの音楽	・ 日本の伝統楽器を通して、日本音楽について学習します。 ・ 和楽器の奏法を習得し、独奏できるようにします。 ・ 芸術的な歌について学習します。 ・ 歌詞の意味を理解し、単純な曲調の中に込められた作曲者の意図を感じながら歌います。	
第3学期	○ 歌唱・鑑賞 ・ アフリカの音楽 ・ イタリアの音楽 ・ アイルランドの音楽	・ 世界の音楽に触れ、音楽と生活の結び付きを学習します。 ・ イタリア語の読み方や発音を理解し、イタリアの歌曲を歌います。 ・ アイルランドの音楽について理解し、舞台芸術を鑑賞します。	

3 評価の基準

【知識・技能】

音楽の多様性を理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。

【思考力・判断力・表現力】

自己のイメージを持って音楽表現をしたり、音楽を批評しながら良さや美しさを味わいながら聴いたりすることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

活動に主体的・協同的に取り組み、音楽文化に幅広く関わろうとしている。

4 評価方法

音楽の基礎的な知識（小テスト）や、歌唱・器楽・創作の表現活動に関する技能や芸術的な表現力（実技テスト）、鑑賞の能力（提出物）、その他授業態度や出席状況等を総合的に評価します。

5 学習へのアドバイス

- ・ 表現活動では、自己のイメージを持って、それが相手に伝わるように積極的に取り組みましょう。
- ・ 鑑賞活動では、根拠のある批評をしましょう。また、他の人意見を受容する姿勢で取り組みましょう。
- ・ 日ごろから多様なジャンルの音楽に興味を持ち、積極的に触れ合いましょう。

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	2単位	学 年	2学年ビジネス・グローバル
教科書	高校音楽②（教育芸術社）			副教材等			

1 学習の目標

- ・ 芸術的な表現力・想像力を身に付けるために、創意工夫を生かした音楽表現に必要な知識を学び、鑑賞や音楽表現（歌唱・器楽・創作）に生かします。
- ・ グループ活動では、協力しながら知識を活用する能力を伸ばします。
- ・ 生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	○ 歌唱（斉唱・合唱） ・ 校歌 ・ 道 ・ こきりこ節 ○ 器楽 ・ プライムロック	・ 耳馴染んだ曲を全員で斉唱や合唱をします。 ・ 曲の持っている雰囲気を感じ、その雰囲気を自らの声で表現します。 ・ 体の部位によって音の鳴り方の違いを理解し、リズムアンサンブルを行います。	
第2学期	○ 歌唱 ・ Stand by me ・ Yesterday once more ○ 器楽 ・ ギター ○ 鑑賞 ・ インドネシアの音楽 ・ ドイツの音楽	・ 英語の発音に気を付けながら雰囲気に応じた歌い方を工夫します。 ・ ギターの基本的な奏法を理解します。 ・ コードの基本的な奏法を理解し、簡単なコードを使い、曲を弾きます。 ・ 民族楽器の成り立ち、演奏方法を学習し、地域の理解を深めます。 ・ ドイツ語の読み方や発音を理解し、ドイツ語歌曲を歌います。	
第3学期	○ 器楽・歌唱・鑑賞 ・ クラスコンサート	・ 読譜力を養います。 ・ グループごとに楽器などでのグループアンサンブル演奏会を行います。	

3 評価の規準

【知識・技能】

音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。

【思考力・判断力・表現力】

個性豊かに音楽表現をしたり、音楽を批評しながら良さや美しさを深く味わいながら聴いたりすることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

主体的・協同的に音楽の諸活動に取り組み、音楽文化に幅広く関わろうとしている。

4 評価方法

音楽に関する知識（小テスト）や、歌唱・器楽・創作の表現活動に関する技能や芸術的な表現力（実技テスト）、鑑賞の能力（提出物）、その他授業態度や出席状況等を総合的に評価します。

5 学習のアドバイス

- ・ 表現活動では、自己のイメージを持って、それが相手に伝わるように積極的に取り組みましょう。
- ・ 鑑賞活動では、根拠のある批評をしましょう。また、他の人意見を受容する姿勢で取り組みましょう。

教 科	芸術	科 目	音楽研究	単位数	2単位	学 年	3学年ビジネス・グローバル
教科書				副教材等	改訂	音楽通論（教育芸術社）	

1 学習の目標

- ・ 芸術的な表現力・想像力を身に付けるために、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な知識を学び、鑑賞や音楽表現（歌唱・器楽・創作）に生かします。
- ・ グループ活動では、協力しながら知識を活用する能力を伸ばします。
- ・ 生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	○ 音楽理論 ・ 譜表と音名 ・ 音符と休符 ・ リズムと拍子 ○ 器楽 ・ ピアノ演奏	・ 生涯で音楽を愛好するために、実技と知識の双方を学習します。 ・ 読譜力を付けるため、演習問題を解きます。 ・ 両手でピアノが弾けるようにします。	
第2学期	○ 音楽理論 ・ 音程 ・ 音階 ・ 和音 ○ 器楽 ・ 和楽器	・ 音楽の仕組みについて学習します。 ・ 複数人でアンサンブルができるようにします。	
第3学期	○ 音楽理論・鑑賞 ・ 西洋音楽史について ○ 歌唱 ・ 歌い継ぎたい愛唱歌	・ 年代を追って代表的な作曲家や代表作などを学習します。 ・ 生涯に渡って伝承しておくべき作品を歌います。	

3 評価の基準

【【知識・技能】】

音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫や表現上の工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。

【思考力・判断力・表現力】

音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現をしたり、音楽を批評しながら良さや美しさを深く味わいながら聴いたりすることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

主体的・協同的に音楽の諸活動に取り組み、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を身に付けている。

4 評価方法

音楽に関する知識（小テスト）や、歌唱・器楽・創作の表現活動に関する技能や芸術的な表現力（実技テスト）、鑑賞の能力（提出物）、その他授業態度や出席状況等を総合的に評価します。

5 学習へのアドバイス

- ・ 表現活動では、自己のイメージを持って、それが相手に伝わるように積極的に取り組みましょう。
- ・ 鑑賞活動では、根拠のある批評をしましょう。また、他の人意見を受容する姿勢で取り組みましょう。
- ・ 日ごろから多様なジャンルの音楽に興味を持ち、積極的に触れ合いましょう。

教 科	芸術	科 目	美術 I	単位数	2単位	学 年	1 学年
教科書	美術 1（光村図書）			副教材等			

1 学習の目標

- ・ 造形的な視点について理解を深めるとともに、表現方法を創意工夫して制作することを目指します。
- ・ 主題を生成し創造的に発想し、価値意識を持って美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めます。
- ・ 生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	○ デザイン ・ 文字のデザイン ○ 絵画 ・ 身近なものを描く ・ 顔料を作る ○ 鑑賞	・ 基本的な書体のエレメントを習得します。 ・ 自分の名前をレタリングして表現します。 ・ 身近なものをしっかり観察しながら、鉛筆の濃淡で表現します。 ・ 顔料の組成を学び、小石から岩絵の具を作ります。 ・ 絵画・彫刻作品等を使った対話型鑑賞をします。	
第2学期	○ 絵画 ・ 木版画 ○ デザイン ・ キャラクターデザイン ○ 鑑賞	・ 地域にゆかりのあるものを主題にした木版画を制作します。 ・ 地域の特産品をモチーフにしたキャラクターデザインを作成します。 ・ デザイン作品等を使った対話型鑑賞をします。	
第3学期	○ 絵画 ・ スクラッチボード制作 ○ 映像メディア表現 ・ アニメーションの原理 ○ 鑑賞	・ スクラッチボードの下地を作り、下絵を描いた後、ニードルで描画したところに着色します。 ・ フェナキストスコープと、iPadを使ったGIFアニメーションを制作します。 ・ 映像メディア作品等を鑑賞します。	

3 評価の基準

【知識・技能】

形や色、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、表現の形態や方法を工夫し、主題を追求して創造的に表している。

【思考・判断・表現】

感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、造形的なよさや美しさを感じ取り、創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。

【主体的に学習に取り組む態度】

主体的に自己を見つめ構成した作品の造形的なよさや美しさを感じ取ったことをもとに、表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

4 評価方法

造形活動に関心を持ってアイデアスケッチをし、材料や表現方法を工夫して主体的に制作しているか、完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り他者の考えに関心を持ち見方や感じ方を深めることができたかななどを総合的に評価します。

5 学習へのアドバイス

感性や美意識、想像力を働かせるとともに造形的な視点を豊かに持って、自分としての意味や価値観を作り出しながら普段の生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わることを意識しましょう。

令和8年度 内子高等学校小田分校シラバス

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	2単位	学 年	2学年・ビジネス・グローバル
教科書	美術2（光村図書）				副教材等		

1 学習の目標

- ・ 造形的に理解を深め、表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができることを目指します。
- ・ 個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術文化に対する見方や感じ方を深めます。
- ・ 感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	○ デザイン ・ トーンセパレーションによるイラスト制作	・ パネルの水張りを学習します。 ・ 画像のコピーを明暗の調子により分割します。 ・ マスキングやスパッタリングの技法を学習します。 ・ 色彩計画を立て、ポスターカラーで着色します。 ・ ミューズテープやビニールカバーを施します。	
第2学期	○ 絵画 ・ 凹版画（エッチング）	・ 自分自身の内面を見つめ、主題を生成します。 ・ アイデアスケッチをまとめ、下絵を描きます。 ・ エッチングプレートに転写し、ニードルで描画します。 ・ 腐食後、インクを詰め、プレス機で刷ります。 ・ エディションナンバーとサインを入れ、額装します。	
第3学期	○ デザイン ・ アナモルフォーシス ○ 鑑賞	・ 方眼紙に下絵を描きます。 ・ 極座標に転写し、着色します。 ・ 筒状にした鏡面シートに映し、細部の仕上げをします。 ・ デザイン作品等を使った対話型鑑賞をします。	

3 評価の基準

【知識・技能】

形や色などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、主題に合った表現方法を創意工夫し、材料や用具の特性を生かして個性豊かで創造的に表している。

【思考・判断・表現】

主題を生成し、形や色、構図などについて考え、個性豊かで創造的な表現の構想や発想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。

【主体的に学習に取り組む態度】

感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の創造的な諸活動に取り組み、表現の共通点や相違点などから美術文化について考えながら、鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。

4 評価方法

主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、造形的な良さや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、生涯に渡り美術を愛好する心情を育むとともに、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたことができたかななどを総合的に評価します。

学習へのアドバイス

表現及び鑑賞の活動を通して、形や色などといった造形の要素に着目してその効果を考えたり、全体のイメージや作風、様式などを理解し、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることを意識しましょう。

教 科	芸術	科 目	美術研究	単位数	2単位	学 年	3学年・ビジネス・グローバル
教科書					副教材等	なるほどデザイン (MDN)	

1 学習の目標

- ・ これまでに身に付けている造形要素に関する基礎知識を生かし、より実践的な美術・デザインに関する学習に発展させ、表現意図を持って創造的に表現する能力を身に付けます。
- ・ 学習を通して、生活や社会の中での美術やデザインの意義や役割について、理解を深めます。
- ・ 美術作品等の鑑賞を通して、造形的な良さや美しさ、目的や機能との調和などを感じ取り、作者の心情や意図、作品と時代や社会との関わりなどについて考え、見方や感じ方を深めます。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	○ 編集とデザイン ○ 鑑賞	・ 伝えるための基本について学びます。 ・ ページデザインの実践について学びます。 ・ 色や形の重要性和多様性を学びます。 ・ 対話型鑑賞について学びます。	
第2学期	○ デザインの七つのポイント ○ 鑑賞	・ 優先順位と取捨選択について学びます。 ・ 主役と脇役について学びます。 ・ 擬人化について学びます。 ・ イメージの拡張について学びます。 ・ 非言語コミュニケーションについて学びます。 ・ ディテール表現について学びます。 ・ 内容と対照への思いについて学びます。 ・ 対話型鑑賞について学びます。	
第3学期	○ デザインの各要素の生かし方	・ 文字組みと書体について学びます。 ・ 役割に合わせたサイズや組み方について学びます。 ・ 配色の効果について学びます。 ・ 写真や図の配置とトリミングについて学びます。	

3 評価の基準

【知識・技能】

誰に、何を、どう伝えるかなど、制作意図を明確にすることにより実際のページデザインからデザインのプロセスを理解させ、伝えたいことを整理し、大事なことにスポットを当てるための方法を考えようとしている。

【思考・判断・表現】

文字組みを構成する要素を揃えたり、差を付けたりしたときの効果を理解させ、書体、サイズ、組み方による視線の動きや印象の違いを考え目的に合わせた色の使い方や写真等を効果的に表現している。

【主体的に学習に取り組む態度】

言葉やイメージの連想を重ねる発想方法を体験することにより、文字による表現とビジュアル表現の特徴を理解し、バランスを考え細部へのこだわりの大切さに気付き、創造活動に取り組もうとしている。

4 評価方法

構想段階におけるアイデアスケッチ、制作途中における創意工夫、鑑賞活動における発言やレポートなど、表現や鑑賞の活動全般から、意欲・関心、知識及び技能、思考力・表現力等を総合的に評価します。

5 学習へのアドバイス

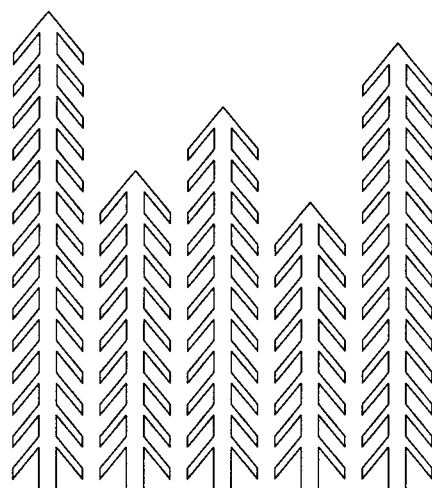
日頃から、身の回りにあるデザイン等が持つ機能や美しさに関心を持って観察しましょう。また、感じたことや考えたことを、言葉でも伝えることを意識しましょう。

令和8年度

シ ラ バ ス

(※シラバスとは学習計画表のこと)

英語科



愛媛県立内子高等学校 小田分校

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅠ	単位数	3単位	学 年	1 学年
教科書	VISTA English Communication I (SANSEIDO)			副教材等	DataBase3300 (桐原書店)		

1 学習の目標

- ・ 基本的な単語、熟語、文法事項を習得し、文の構成を意識して英文を読めるようにします。
- ・ ポイントに注意して、100 語程度の英文を聞き取れるようにします。
- ・ 自分の意見や体験について簡潔に書けるようにします。
- ・ 身近なテーマについてペアで会話ができるようにします。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	Get Ready! ①②③④ ののちゃんの英文法 基本を復習しよう Lesson1 Colors of Spring Lesson2 Dick Bruna Lesson3 Interesting Sports	・ アルファベットの書き方から基本的な英会話まで中学校の内容を復習します。 ・ 世界各地の文化について学習します。 ・ be 動詞・一般動詞の現在形について学習します。 ・ ミッフィーの作者について学習します。 ・ be 動詞・一般動詞の過去形について学習します。 ・ アメリカのスポーツについて学習します。 ・ 現在進行形・過去進行形について学習します。	期末考查
第2学期	Lesson4 Pictograms Lesson5 We Are Part of Nature Lesson6 Machu Picchu Lesson7 Artificial Intelligence Lesson8 Is There a Santa Claus?	・ ピクトグラムの役割について学習します。 ・ 助動詞・動名詞について学習します。 ・ 写真家の動植物への思いについて考えます。 ・ 不定詞について学習します。 ・ マチュピチュについて学習します。 ・ 現在完了形について学習します。 ・ 人工知能について学習します。 ・ 受け身について学習します。 ・ サンタ・クロースの存在について考えます。 ・ 関係代名詞について学習します。	期末考查
第3学期	Lesson9 Kid's Guernica Lesson10 Ethical Fashion ENJOY READING! The Story of Oshin, a Japanese Cinderella	・ キッズゲルニカプロジェクトについて学習します。 ・ 名詞を修飾する分詞・関係副詞を学習します。 ・ 服が環境に与える影響について学習します。 ・ 比較について学習します。 ・ 日本文学「おしん」を読み、感想を書いたり、話したりします。 ・ 仮定法過去について学習します。	学年末 考查

3 評価の規準

【知識・技能】

英文を読み取る技能を身に付け、それを基に英語で話ができる。

【思考・判断・表現】

英文の概要を捉え、それについて英語で話すことができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

英文の概要を捉え、それについて英語で話そうとしている。

4 評価方法

各学期の評価は、上記3つの観点を踏まえ、単元テスト、定期考査、小テスト、提出物、学習態度（発表・意欲）、出席状況等を踏まえ、総合的に評価します。 学年末の評価は、1・2学期の評価も加えて算出します。

5 学習へのアドバイス

1年生にとって最も大切なことは高校英語に早く慣れることです。それにはまず、予習・復習のサイクルを身に付け、日々確実に勉強することが必要です。英語コミュニケーションⅠでは、「聞く・話す(発表、やりとり)・読む・書く」の5領域を総合的に学習します。また、英文法も1年次に体系的に学習するようになっています。教科書を有効活用してどんどん英語力を向上させていきましょう。

教科	外国語	科目	論理・表現1	単位数	2単位	学 年	1 学年
教科書	BIG DIPPER English Logic and Expression I (増進堂)			副教材等	Evergreen English Grammar 25 Lessons (いっずな書店) 総合英語 Evergreen (いっずな書店)		

1 学習の目標

- ・ 基本的な文法事項を習得します。
- ・ コミュニケーションを円滑にするための表現を習得します。
- ・ 適切な言語を用いて、自分の考えを分かりやすく簡潔に書いたり話したりできるようにします。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	(Part) Lesson 1 はじめに① Lesson 2 はじめに② Lesson 3 はじめに③ Lesson 4 My friends Lesson 5 My family Lesson 6 Pastime Lesson 7 My town Lesson 8 Our teachers Lesson 9 Visiting a Museum	・ 主語に注意して英文を英語で表現します。 ・ 適切な動詞を用いて英語で表現します。 ・ 数えられる名詞を英語で表現します。 ・ 「～ですか」を英語で表現します。 ・ 「～する」「～した」などを英語で表現します。 ・ 未来に行うことについて、英語で表現します。 ・ 完了・継続・経験の意味を英語で表現します。 ・ 能力・許可・推量の意味を英語で表現します。 ・ 必要・義務や、推量を英語で表現します。	期末考查
第2学期	Lesson 10 Famous People Lesson 11 Reading Lesson 12 Studying Abroad Lesson 13 Advice Lesson 14 Hobbies Lesson 15 My vacation Lesson 16 In a Zoo Lesson 17 Our team Lesson 18 Neighbors Lesson 19 Speeches	・ 「～は・・・に見える」などを英語で表現します。 ・ 「～される[されない]」などを英語で表現します。 ・ 「～する方法」を英語で表現します。 ・ 「～するために」を英語で表現します。 ・ 「～すること」を英語で表現します。 ・ 「～しに行く」を英語で表現します。 ・ 「同じくらい」を英語で表現します。 ・ 「最も～」「でこるだけ」を英語で表現します。 ・ 「～する人々」を英語で表現します。 ・ 「・・・が～すること」を英語で表現します。	期末考查
第3学期	Lesson 20 My Wish Lesson 21 A Birthday Gift (Part 2) Lesson 1 School Life Lesson 2 School Subjects Lesson 3 Free Time Lesson 4 Feeling Well?	・ 事実と異なる状況を英語で表現します。 ・ 節や条件節を英語で表現します。 ・ 英語で勧誘・提案をする表現を学びます。 ・ 理由を聞く・述べる表現を学びます。 ・ 英語で確認・訂正を行う表現を学びます。 ・ 英語で心配を表す、助言を行う表現を学びます。	学年末考查

3 評価の規準

【知識・技能】

基本的な表現、文法、言語の働きなどの理解し、これらの知識を場面に応じて適切に活用することができる。

【思考・判断・表現】

日常的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、伝え合うことができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

自分の意見を、相手によりよく理解してもらえるように、日常的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、相手の意見に応じて、伝え合おうとしている。

4 評価方法

各学期の評価は、上記3つの観点を踏まえ、単元テスト、定期考査、小テスト、提出物、学習態度（発表・意欲）、出席状況等を踏まえ、総合的に評価します。 学年末の評価は、1・2学期の評価も加えて算出します。

5 学習のアドバイス

中学校までに学習した単語や文法を基礎にしながら、基本的な英語表現を学習します。より多様な表現ができるよう、基本的な語彙力・文法力を定着させます。また、学習事項を踏まえて、自分の意見や考えを英語で表現する練習を重ね、論理的に表現するための基礎と思考力を身に付けていきましょう。

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	3単位	学 年	2学年アカデミア
教科書	Grove English Communication Ⅱ (増進堂)			副教材等	DataBase 3300 (桐原書店)		

1 学習の目標

- ・ 1年次に学習した事項を更に深化させ、より4技能を高めます。
- ・ フレーズ・リーディングを意識し、より速い速度で英文を読めるようにします。
- ・ 自分の意見や体験について、より英語らしく表現できるようにします。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	Lesson 1 Breakfast Around the World	・ 世界の朝食についての英文を読みます。	
	Lesson 2 What Makes You a Good Street Dancer?	・ SV、SVC、SV0、SV00、SVOCについて学習します。	
	Lesson 3 Small Actions Can Be Powerful	・ ストリートダンスについての英文を読みます。	
	Lesson 4 Zoos	・ 完了形、完了進行形について学習します。	
第2学期	For Reading 1 Salty Coffee	・ ボランティアについての英文を読みます。	
	Lesson 5 Paper Can Change the Future	・ 助動詞、to 不定詞について学習します。	
	Lesson 6 Digital Society	・ 動物園の役割についての英文を読みます。	
	Lesson 7 Connecting with People	・ 助動詞を含む受け身、進行形の受け身について学習します。	
	Lesson 8 The Man of Practice	・ 手紙「秘密のラブレター」についての英文を読みます。	
		・ 紙の歴史についての英文を読みます。	
第3学期	Lesson 9 The World Without Honeybees	・ 分詞の形容詞的用法について学習します。	
	Lesson 10 The Forth Bridge: An Iconic Landmark in Scotland	・ デジタル社会の問題点と未来についての英文を読みます。	
	For Reading 2 Rickshaw Girl by Mitali Perkins	・ SV0+to 不定詞について学習します。	
		・ 人と人とのつながりについての英文を読みます。	
		・ 比較、関係代名詞について学びます。	期末考査
		・ ある人物の成し遂げたことの英文を読みます。	期末考査
		・ 関係副詞について学習します。	期末考査
		・ ミツバチの役割についての英文を読みます。	学年末考査
		・ 仮定法過去、仮定法過去完了について学習します。	学年末考査
		・ 歴史的建造物についての英文を読みます。	学年末考査
		・ 倒置、省略、同格について学びます。	学年末考査
		・ バングラディッシュの少女の英文を読みます。	学年末考査

3 評価の規準

【知識・技能】

英文を読み取る技能を身に付け、それを基に英語で話ができる。

【思考・判断・表現】

英文の概要を捉え、それについて英語で話すことができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

英文の概要を捉え、それについて英語で話そうとしている。

4 評価方法

各学期の評価は、上記3つの観点を踏まえ、単元テスト、定期考査、小テスト、提出物、学習態度（発表・意欲）、出席状況等を踏まえ、総合的に評価します。 学年末の評価は、1・2学期の評価も加えて算出します。

5 学習のアドバイス

1年次に身に付けた単語力、文法力を踏まえて、2年次では、更に深化した英語学習を行います。英語学習の方法については、1年次に学習した精読に加えて、フレーズ・リーディングでの速読の方法も学習します。英語の4技能を高められるよう、家庭学習の充実を図り、英語力を伸ばしましょう。

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	3単位	学 年	2学年グローバル
教科書	Grove English Communication II (増進堂)			副教材等	DataBase3300(桐原書店) Evergreen English Grammar 25 Lessons		

1 学習の目標

- ・ 1年次に学習した事項を更に深化させ、より4技能を高めます。
- ・ フレーズ・リーディングを意識し、より速い速度で英文を読めるようにします。
- ・ 自分の意見や体験について、より英語らしく表現できるようにします。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	Lesson 1 Breakfast Around the World	・ 世界の朝食についての英文を読みます。	
	Lesson 2 What Makes You a Good Street Dancer?	・ SV、SVC、SVO、SVOO、SVOCについて学習します。	
	Lesson 3 Small Actions Can Be Powerful	・ ストリートダンスについての英文を読みます。	
	Lesson 4 Zoos	・ 完了形、完了進行形について学習します。	
第2学期	For Reading 1 Salty Coffee	・ ボランティアについての英文を読みます。	
	Lesson 5 Paper Can Change the Future	・ 助動詞、to不定詞について学習します。	
	Lesson 6 Digital Society	・ 動物園の役割についての英文を読みます。	
	Lesson 7 Connecting with People	・ 助動詞を含む受け身、進行形の受け身について学習します。	
第3学期	Lesson 8 The Man of Practice	・ 手紙「秘密のラブレター」についての英文を読みます。	期末考査
	Lesson 9 The World Without Honeybees	・ 紙の歴史についての英文を読みます。	
	Lesson 10 The Forth Bridge: An Iconic Landmark in Scotland	・ 分詞の形容詞的用法について学習します。	
	For Reading 2 Rickshaw Girl by Mitali Perkins	・ デジタル社会の問題点と未来についての英文を読みます。	
第3学期	Lesson 9 The World Without Honeybees	・ SV0+to不定詞について学習します。	期末考査
	Lesson 10 The Forth Bridge: An Iconic Landmark in Scotland	・ 人と人とのつながりについての英文を読みます。	
	For Reading 2 Rickshaw Girl by Mitali Perkins	・ 比較、関係代名詞について学びます。	
		・ ある人物の成し遂げたことの英文を読みます。	
第3学期	Lesson 9 The World Without Honeybees	・ 関係副詞について学習します。	学年末考査
	Lesson 10 The Forth Bridge: An Iconic Landmark in Scotland	・ ミツバチの役割についての英文を読みます。	
	For Reading 2 Rickshaw Girl by Mitali Perkins	・ 仮定法過去、仮定法過去完了について学習します。	
		・ 歴史的建造物についての英文を読みます。	

3 評価の規準

【知識・技能】

英文を読み取る技能を身に付け、それを基に英語で話ができる。

【思考・判断・表現】

英文の概要を捉え、それについて英語で話すことができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

英文の概要を捉え、それについて英語で話そうとしている。

4 評価方法

各学期の評価は、上記3つの観点から踏まえ、単元テスト、定期考査、小テスト、提出物、学習態度（発表・意欲）、出席状況等を踏まえ、総合的に評価します。 学年末の評価は、1・2学期の評価も加えて算出します。

5 学習のアドバイス

1年次に身に付けた単語力、文法力を踏まえて、2年次では、更に深化した英語学習を行います。英語学習の方法については、1年次に学習した精読に加えて、フレーズ・リーディングでの速読の方法も学習します。英語の4技能を高められるよう、家庭学習の充実を図り、英語力を伸ばしましょう。

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	2単位	学 年	2学年ビジネス
教科書	Grove English Communication II (増進堂)			副教材等	DataBase3300(桐原書店) Evergreen English Grammar 25 Lessons		

1 学習の目標

- ・ 1年次に学習した事項を更に深化させ、より4技能を高めます。
- ・ フレーズ・リーディングを意識し、より速い速度で英文を読めるようにします。
- ・ 自分の意見や体験について、より英語らしく表現できるようにします。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	Lesson 1 Breakfast Around the World	・ 世界の朝食についての英文を読みます。 ・ SV、SVC、SV0、SV00、SVOC について学習します。	期末考査
	Lesson 2 What Makes You a Good Street Dancer?	・ ストリートダンスについての英文を読みます。 ・ 完了形、完了進行形について学習します。	
第2学期	Lesson 3 Small Actions Can Be Powerful	・ ボランティアについての英文を読みます。 ・ 助動詞、to 不定詞について学習します。	期末考査
	Lesson 4 Zoos For Reading 1 Salty Coffee	・ 動物園の役割についての英文を読みます。 ・ 助動詞を含む受け身、進行形の受け身について学習します。 ・ 手紙「秘密のラブレター」についての英文を読みます。	
第3学期	Lesson 5 Paper Can Change the Future	・ 紙の歴史についての英文を読みます。 ・ 分詞の形容詞的用法について学習します。	学年末考査
	Lesson 6 Digital Society	・ デジタル社会の問題点と未来についての英文を読みます。 ・ SV0+to 不定詞について学習します。	

3 評価の規準

【知識・技能】

英文を読み取る技能を身に付け、それを基に英語で話ができる。

【思考・判断・表現】

英文の概要を捉え、それについて英語で話すことができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

英文の概要を捉え、それについて英語で話そうとしている。

4 評価方法

各学期の評価は、上記3つの観点から踏まえ、単元テスト、定期考査、小テスト、提出物、学習態度（発表・意欲）、出席状況等を踏まえ、総合的に評価します。 学年末の評価は、1・2学期の評価も加えて算出します。

5 学習のアドバイス

1年次に身に付けた単語力、文法力を踏まえて、2年次では、更に深化した英語学習を行います。英語学習の方法については、1年次に学習した精読に加えて、フレーズ・リーディングでの速読の方法も学習します。英語の4技能を高められるよう、家庭学習の充実を図り、英語力を伸ばしましょう。

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅱ	単位数	2単位	学 年	2学年アカデミア
教科書	BIG DIPPER English Logic and Expression Ⅱ (増進堂)			副教材等	総合英語 Evergreen ・ 25 Lessons Workbook (いっずな書店) Next Stage 英文法・語法問題 (桐原書店)		

1 学習の目標

- ・ 1年次に学習した文法事項をさらに定着させます。
- ・ コミュニケーションを円滑にするための表現を、適切な場面に応じて使用できるようにします。
- ・ 適切な言語を用いて、自分の考えを分かりやすく簡潔に書いたり話したりできるようにします。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	(Part1) Lesson 1 School Festival	・ 「～である」を英語で表現します。	期末考査
	Lesson 2 A Trip to Sapporo	・ 未来の予定について英語で表現します。	
	Lesson 3 My Dear Friend	・ 状態・動作の継続を英語で表現します。	
	Lesson 4 A Dog in a Barbershop	・ 過去の状態や習慣を英語で表現します。	
	Lesson 5 Japanese Food	・ 「～だと言われている」を英語で表現します。	
	Lesson 6 Volunteer Activities	・ 「・・・ように勧める」を英語で表現します。	
	Lesson 7 A Stage Actor	・ 「～したこと」を英語で表現します。	
	Lesson 8 I Like Singing	・ 「～するほど」を英語で表現します。	
	Lesson 9 Cycling	・ 「～している」を英語で表現します。	
2学期	Lesson 10 My New Hiking Boots	・ 「同じくらい」を英語で表現します。	期末考査
	Lesson 11 The Yangtze River	・ 「最も～」 「何番目に～」を英語で表現します。	
	Lesson 12 My Sister's Job	・ 「～する人・物」を関係代名詞で表現します。	
	Lesson 13 In Kansas City	・ 「～すること」を関係詞で表現します。	
	Lesson 14 Dreaming of Space	・ 事実と異なる仮定を英語で表現します。	
	Lesson 15 An Android Like You	・ 「～ならいいのに」などを英語で表現します。	
	Lesson 16 I left My Smartphone	・ 「～であると気付いた」を英語で表現します。	
	(Part2) Lesson 1 What's Your Favorite Dish	・ 英語で好き嫌いを述べます。	
	Lesson 2 Uniforms or Casual Clothes?	・ 英語で希望・欲求を述べます。	
第3学期	Lesson 3 Project Studies Program	・ 英語で賛成・反対を述べます。	学年末考査
	Lesson 4 A Guitar Concert	・ 英語で勧誘・招待・期待を述べます。	
	Lesson 5 Studying abroad	・ 英語で計画・意図を述べます。	
	Lesson 6 What Should I Do?	・ 英語で提案、助言を行います。	
	Lesson 7 A Korean Drama	・ 英語で程度や譲歩を行います。	

3 評価の規準

【知識・技能】

日常的な話題や社会的な話題について、自分の意見を構成や流れを工夫して話して伝え合う技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

自分の意見を、相手によりよく理解してもらえるように、日常的な話題や社会的な問題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら伝え合っている。

【主体的に学習に取り組む態度】

知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。

4 評価方法

各学期の評価は、上記3つの観点から踏まえ、単元テスト、定期考査、小テスト、提出物、学習態度（発表・意欲）、出席状況等を踏まえ、総合的に評価します。 学年末の評価は、1・2学期の評価も加えて算出します。

5 学習のアドバイス

1年次に身に付けた単語力・文法力を土台に、2年次ではさらに論理的に構成や展開を工夫して話したり書いたりして伝える、または伝え合うことができるようになるための英語学習を行います。英語の基本的例文・基本表現を定着させ、情報や自分自身の考え、気持ちなどを英語で表現しながら、実践的な表現力を伸ばしていきましょう。

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅱ	単位数	2単位	学 年	2学年グローバル
教科書	BIG DIPPER English Logic and Expression Ⅱ (増進堂)			副教材等	総合英語 Evergreen (いっぴずな書店) Evergreen English Grammar 25 Lessons (いっぴずな書店)		

1 学習の目標

- ・ 1年次に学習した文法事項をさらに定着させます。
- ・ コミュニケーションを円滑にするための表現を、適切な場面に応じて使用できるようにします。
- ・ 適切な言語を用いて、自分の考えを分かりやすく簡潔に書いたり話したりできるようにします。

2 学習の内容および

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	(Part1) Lesson 1 School Festival	・ 「～である」を英語で表現します。	期末考査
	Lesson 2 A Trip to Sapporo	・ 未来の予定について英語で表現します。	
	Lesson 3 My Dear Friend	・ 状態・動作の継続を英語で表現します。	
	Lesson 4 A Dog in a Barbershop	・ 過去の状態や習慣を英語で表現します。	
	Lesson 5 Japanese Food	・ 「～だと言われている」を英語で表現します。	
	Lesson 6 Volunteer Activities	・ 「・・・ように勧める」を英語で表現します。	
	Lesson 7 A Stage Actor	・ 「～したこと」を英語で表現します。	
	Lesson 8 I Like Singing	・ 「～するほど」を英語で表現します。	
	Lesson 9 Cycling	・ 「～している」を英語で表現します。	
2学期	Lesson 10 My New Hiking Boots	・ 「同じくらい」を英語で表現します。	期末考査
	Lesson 11 The Yangtze River	・ 「最も～」 「何番目に～」を英語で表現します。	
	Lesson 12 My Sister's Job	・ 「～する人・物」を関係代名詞で表現します。	
	Lesson 13 In Kansas City	・ 「～すること」を関係詞で表現します。	
	Lesson 14 Dreaming of Space	・ 事実と異なる仮定を英語で表現します。	
	Lesson 15 An Android Like You	・ 「～ならいいのに」などを英語で表現します。	
	Lesson 16 I left My Smartphone	・ 「～であると気付いた」を英語で表現します。	
	(Part 2) Lesson 1 What's Your Favorite Dish	・ 英語で好き嫌いを述べます。	
	Lesson 2 Uniforms or Casual Clothes?	・ 英語で希望・欲求を述べます。	
第3学期	Lesson 3 Project Studies Program	・ 英語で賛成・反対を述べます。	学年末考査
	Lesson 4 A Guitar Concert	・ 英語で勧誘・招待・期待を述べます。	
	Lesson 5 Studying abroad	・ 英語で計画・意図を述べます。	
	Lesson 6 What Should I Do?	・ 英語で提案、助言を行います。	
	Lesson 7 A Korean Drama	・ 英語で程度や譲歩を行います。	

3 評価の規準

【知識・技能】

日常的な話題や社会的な話題について、自分の意見を構成や流れを工夫して話して伝え合う技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

自分の意見を、相手によりよく理解してもらえるように、日常的な話題や社会的な問題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら伝え合っている。

【主体的に学習に取り組む態度】

知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。

4 評価方法

各学期の評価は、上記3つの観点から踏まえ、単元テスト、定期考査、小テスト、提出物、学習態度（発表・意欲）、出席状況等を踏まえ、総合的に評価します。 学年末の評価は、1・2学期の評価も加えて算出します。

5 学習のアドバイス

1年次に身に付けた単語力・文法力を土台に、2年次ではさらに論理的に構成や展開を工夫して話したり書いたりして伝える、または伝え合うことができるようになるための英語学習を行います。英語の基本的例文・基本表現を定着させ、情報や自分自身の考え、気持ちなどを英語で表現しながら、実践的な表現力を伸ばしていきます。

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	2単位	学 年	3学年ビジネス
教科書	Grove English Communication Ⅱ (増進堂)		副教材等	DataBase3300 (旺文社)			

1 学習の目標

- ・ 1・2年次に学習した事項を更に深化させ、より一層4技能の習得を進めます。
- ・ フレーズ・リーディングを意識し、よい速い速度で英文を読めるようにします。
- ・ 異文化理解など、より国際的な感覚で英語を用いることができるようにします。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	LESSON 6 Digital Society LESSON 7 Connecting with People	・ デジタル社会の問題点と、未来についての英文を読みます。 ・ SV0+to不定詞について学習します。 ・ 人と人とのつながりについての英文を読みます。 ・ 比較、関係代名詞について学びます。	期末考査
第2学期	LESSON 8 Practice Makes Perfect: A Japanese Baker's World Victory LESSON 9 The World Without Honeybees	・ 世界大会を目指した日本人のパン職人についての英文を読みます。 ・ 関係副詞について学習します。 ・ ミツバチの役割についての英文を読みます。 ・ 仮定法過去、仮定法過去完了について学習します。	期末考査
第3学期	LESSON 10 The Forth Bridge: An Iconic Landmark in Scotland	・ 歴史的建造物についての英文を読みます。 ・ 倒置、省略、同格について学びます。	単元テスト

3 評価の規準

【知識・技能】

英文を読み取る技能を身に付け、それを基に英語で話ができる。

【思考・判断・表現】

英文の概要を捉え、それについて英語で話すことができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

英文の概要を捉え、それについて英語で話そうとしている。

4 評価方法

各学期の評価は、上記3つの観点を踏まえ、単元テスト、定期考査、小テスト、提出物、学習態度（発表・意欲）、出席状況等を踏まえ、総合的に評価します。学年末の評価は、1・2学期の評価も加えて算出します。

5 学習へのアドバイス

1・2年次に身に付けた単語力、文法力を踏まえて、更に深化した英語学習を行います。英語学習の方法については、1・2年次に身に付けたものを土台にして、更に積み上げていきます。

3年次からは、特に英文を読み、それらに関する意見を簡単な英語を使って述べるができるよう経験を積みます。その中で英語力を高め、将来に生かせるよう家庭での予習・復習を充実させましょう。

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅢ	単位数	3単位	学 年	3学年アカデミア
教科書	Power On English Communication III (東京書籍)			副教材等	DataBase 4800 (桐原書店) Next Stage 英文法・語法問題 (桐原書店)		

1 学習の目標

- ・ 英文読解に必要なスキルを学習し、身に付け、実践します。
- ・ 物語や評論などについて、速読や精読で読むことができるようになります。
- ・ 英文読解に必要な音読のスキルを学習し、英文を読む速度を速めます。
- ・ 英文構造を理解し、英文読解できるようにします。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	Lesson 1 Library of the Future	・ 日本の図書館とニューヨーク公共図書についての記事を読み、分詞構文などについて学びます。 ・ 大谷翔平選手の人物伝を読み、現在完了進行形やbe動詞+to不定詞を確認します。 ・ 動物の歯科医の仕事についての科学記事を読み、比較表現、使役動詞について学びます。 ・ 写真家の松本紀生さんの半生や作品についての記事を読み、関係代名詞のなどを定着させます。	期末考査
	Lesson 2 History Maker Otani Shohei		
	Lesson 3 Zoo Dentists: How They Work for Zoo Animals		
	Lesson 4 Nature Photographer in Alaska		
第2学期	Lesson 5 A Science Award That Makes You Laugh, and Then Think	・ イグ・ノーベル賞を受賞した研究についての文章を読み、過去完了進行形などを確認します。 ・ ハロウィーンについての論説文を読み、ディスコースマーカーを意識して読む力を養います。 ・ 3D プリント技術の使用例や今後の課題などについての記事を読み、事実と意見を見分けます。 ・ 奴隷制度下の人権問題とハリエット・タブマンの功績について読み、ディスコースマーカーを意識して英文を読む力を付けます。 ・ 英語の語彙の歴史について論説文を読み、ディスコースマーカーを意識して読む力を養います。	期末考査
	Lesson 6 Where Does Halloween Come from?		
	Lesson 7 Will 3D Printing Technology Change		
	Lesson 8 A Conductor of the Underground Railroad		
	Lesson 9 English, Always Growing		
第3学期	Lesson 10 Understanding the Culture of Dogs	・ イヌの習性とその文化についてのエッセイを読み、「追加」の情報を意識して英文を読む力を付けます。	単元テスト

3 評価の規準

【知識・技能】

英文を読み取る技能を身に付け、それを基に情報や自分の考えなどを論理的に話したり書いたりして伝えることができる。

【思考・判断・表現】

英文の概要を捉え、それについて英語で話すことができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

英文の概要を捉え、それについて英語で話したり書いたりして伝えようとしている。

4 評価方法

各学期の評価は、上記3つの観点から踏まえ、単元テスト、定期考査、小テスト、提出物、学習態度（活動の様子・意欲）、出席状況等を踏まえ、総合的に評価します。3学期は単元テストを実施します。学年末の評価は、1・2学期の評価も加えて算出します。

5 学習のアドバイス

1・2年次に身に付けた単語力・文法力を土台に、3年次では英文読解の方法の学習を行います。大学入試や各種の試験において、英文を速く正確に読めることが合格の秘訣です。長文読解は、単語・熟語・構造だけではなく内容に関する豊富な知識を持つことが非常に大切な学習分野となります。英文を読む際に必要となる、ディスコース・マーカーなどの英文構造を知り、より速く英文が読めるようトレーニングしていきましょう。

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅢ	単位数	3単位	学 年	3学年グローバル
教科書	Power On English Communication Ⅲ (東京書籍)			副教材等	DataBawe3300 (桐原書店)		

1 学習の目標

- ・ 英文読解に必要なスキルを学習し、身に付け、実践します。
- ・ 物語や評論などについて、速読や精読で読むことができますようにします。
- ・ 英文読解に必要な音読のスキルを学習し、英文を読む速度を速めます。
- ・ 英文構造を理解し、英文読解できるようにします。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	Lesson 1 Library of the Future Lesson 2 History Maker Otani Shohei Lesson 3 Zoo Dentists: How They Work for Zoo Animals Lesson 4 Nature Photographer in Alaska	・ 日本の図書館とニューヨーク公共図書についての記事を読み、分詞構文などについて学びます。 ・ 大谷翔平選手の人物伝を読み、現在完了進行形や be 動詞 + to 不定詞を確認します。 ・ 動物の歯科医の仕事についての科学記事を読み、比較表現、使役動詞について学びます。 ・ 写真家の松本紀生さんの半生や作品についての記事を読み、関係代名詞のなどを定着させます。	期末考査
第2学期	Lesson 5 A Science Award That Makes You Laugh, and Then Think Lesson 6 Where Does Halloween Come from? Lesson 7 Will 3D Printing Technology Change Lesson 8 A Conductor of the Underground Railroad Lesson 9 English, Always Growing	・ イグ・ノーベル賞を受賞した研究についての文章を読み、過去完了進行形などを確認します。 ・ ハロウィーンについての論説文を読み、ディスコースマーカを意識して読む力を養います。 ・ 3D プリント技術の使用例や今後の課題などについての記事を読み、事実と意見を見分けます。 ・ 奴隷制度下の人権問題とハリエット・タブマンの功績について読み、ディスコースマーカを意識して英文を読む力を付けます。 ・ 英語の語彙の歴史について論説文を読み、ディスコースマーカを意識して読む力を養います。	期末考査
第3学期	Lesson 10 Understanding the Culture of Dogs	・ イヌの習性とその文化についてのエッセイを読み、「追加」の情報を意識して英文を読む力を付けます。	単元テスト

3 評価の規準

【知識・技能】

英文を読み取る技能を身に付け、それを基に情報や自分の考えなどを論理的に話したり書いたりして伝えることができる。

【思考・判断・表現】

英文の概要を捉え、それについて英語で話すことができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

英文の概要を捉え、それについて英語で話したり書いたりして伝えようとしている。

4 評価方法

各学期の評価は、上記3つの観点から踏まえ、単元テスト、定期考査、小テスト、提出物、学習態度（活動の様子・意欲）、出席状況等を踏まえ、総合的に評価します。3学期は単元テストを実施します。学年末の評価は、1・2学期の評価も加えて算出します。

5 学習のアドバイス

1・2年次に身に付けた単語力・文法力を土台に、3年次では英文読解の方法の学習を行います。大学入試や各種の試験において、英文を速く正確に読めることが合格の秘訣です。長文読解は、単語・熟語・構法だけではなく内容に関する豊富な知識を持つことが非常に大切な学習分野となります。英文を読む際に必要となる、ディスコース・マーカなどの英文構造を知り、より速く英文が読めるようトレーニングしていきましょう。

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅲ	単位数	2単位	学 年	3学年アカデミア
教科書	Harmony English Logic and Expression Ⅲ (いいずな書店)			副教材等	NextStage 英文法・語法問題(桐原書店)		

1 学習の目標

- ・ 言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養います。
- ・ コミュニケーションを円滑にするための表現を、適切な場面に応じて使用できるようにします。
- ・ 論理的な思考力を養い、論理の展開や表現の方法を工夫し、伝える能力を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	Lesson 1 My Hometown Lesson 2 The Place I'd Like to Live Lesson 3 Designing "Future Cities" Lesson 4 Refreshing Our Minds and Bodies Lesson 5 Study Struggles Lesson 6 Choosing a Career Path	・ 関係詞について学びます。 ・ 不定詞・前置詞句について学びます。 ・ 導入・本論(問題点と提案)・結論の構造を学びます。 ・ 形容詞・副詞について学びます。 ・ 比較について学び理解できるようにします。 ・ 将来のキャリアに関する文章を読んで理解し記事を書いたり、スピーチしたりすることができるようになります。	期末考査
第2学期	Lesson 7 Extreme Weather around the World Lesson 8 Working to Solve Energy Problems Lesson 9 For the Future of Our Planet Lesson 10 What's Ethical Shopping? Lesson 11 Global Economic Inequality Lesson 12 Sustainable Economic Growth Lesson 13 Why We Learn Foreign Languages Lesson 14 Communication in the Digital Age	・ 時制について学びます。 ・ 助動詞について学びます。 ・ ディベートの流れを理解し、立論・反論を組み立てます。 ・ 接続詞・接続表現について学びます。 ・ 仮定法について学びます。 ・ Cause and Effectの構造を用いてプレゼンテーション原稿を作ります。 ・ 強調構文・倒置について学びます。 ・ 省略について学びます。	期末考査
第3学期	Lesson 15 Online Learning	・ 強調について学び、ディベートの流れを理解して、立論・反論を組み立てます。	単元テスト 発表活動等

3 評価の規準

【知識・技能】

習得すべき知識や重要な概念等を理解している。

【思考・判断・表現】

知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。

【主体的に取り組む態度】

知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。

4 評価方法

各学期の評価は、上記3つの観点で踏まえ、単元テスト、定期考査、小テスト、提出物、学習態度(発表・意欲)、出席状況等を踏まえ、総合的に評価します。3学期には単元テストを実施します。学年末の評価は、1・2学期の評価も加えて算出します。

5 学習へのアドバイス

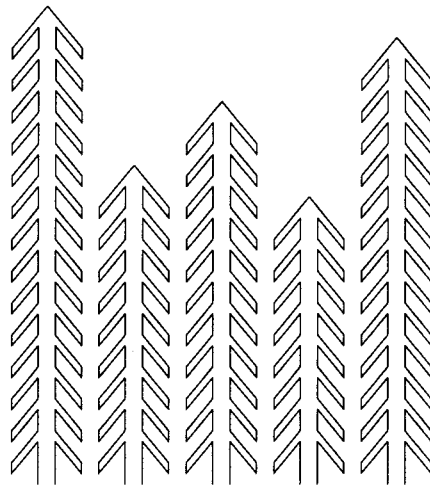
1・2年次に身に付けた文法力、構文力を土台に、3年次では、更に深化した英語学習を行います。様々な社会問題に関して自分の意見を持ち、英語で表現する能力を身に付けていきましょう。大学入試を見据え、家庭学習の充実を図りながら、更に英語力を伸ばしましょう。

令和8年度

シ ラ バ ス

(※シラバスとは学習計画表のこと)

家庭科



愛媛県立内子高等学校小田分校

令和8年度 内子高等学校 小田分校 シラバス

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	2単位	学 年	1 学年
教科書	新家庭基礎 気づく力築く未来（実教出版）		副教材等	調理実習ノート（基礎編）			

1 学習の目標

- ・ 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けます。
- ・ 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を身に付けます。
- ・ 様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向け、その充実向上を目指し主体的に取り組もうとする態度を身につけます。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第1章 自分らしい生き方と家族	・ 自分の目指すライフスタイル実現のために生涯を見通した自己の生活について、主体的に考えます。 ・ 現在の自分を見つめ、将来の目標や自分らしいライフスタイルを考え、家庭の機能、家族関係、法律、福祉について学習します。	期末考查
	第3章 高齢者とかかわる	・ 日本の高齢者の現状と問題点を理解し、高齢者の生活を支援するための仕組みを学習します。	
	第4章 社会とかかわる	・ 社会保障制度、社会福祉の基本的理念、ともに支えあって生きる社会の考え方について学習します。	
	第5章 食生活をつくる 【調理実習】	・ 自分の食生活を見直し、健康で安全な食生活を考えます。 ・ 栄養素の働き、食品の栄養的特徴、特性を生かした調理法を学び、実習します。	
	ホームプロジェクト	・ 課題を見つけ、夏休みに調査・研究を行います。	
第2学期	第7章 住生活をつくる	・ 住居の機能、気候風土と住文化、住空間の設計などについて科学的に理解し、ライフスタイルに応じた住み方の工夫について考えます。	期末考查
	第6章 衣生活をつくる	・ 被服の機能の視点から「着装」の目的を理解し、TPOに応じた着方を学習します。 ・ 被服材料の性能に応じた管理方法を学び、製作実習を通して、基礎的な縫製技術を身に付けます。	
	第8章 消費行動を考える	・ 賢い消費者として適切な意思決定が行えるよう、契約トラブルとその対策、消費者信用について学習します。	
第3学期	第2章 子どもとかかわる	・ 胎児から幼児までの子どもがどのように成長していくのか学習し、子どもを取り巻く環境の変化や課題について考えます。	学年末考查
	第9章 経済的に自立する	・ 主体的な家計管理と経済計画の重要性を考え、将来のライフプランニングについて学習します。	

3 評価の規準

【知識・技能】

家庭生活の意義や役割を理解し、生活を充実向上するために必要な知識や基礎的・基本的な技術を身に付けている。

【思考・判断・表現】

家庭や地域の生活について課題を見出し、その解決を目指し思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身に付けている。

【主体的に学習に取り組む態度】

家庭や地域の生活について関心を持ち、様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けてその充実向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。

4 評価方法

各学期の評価は、上記3つの観点から踏まえ、定期考查、ノート・ワークシートにおける記述内容、学習態度（授業中の発表内容や取り組む意欲）実習の取組、課題などを基に総合的に評価します。学年末の評価は、各学期の成績を基に算出します。

5 学習のアドバイス

食生活、消費生活、子どもの発達と保育などに関する生活の様々な事象や課題を実習や体験学習を通して考えます。自分のこととして主体的に捉え、授業や課題に積極的に取組み、実践するよう心がけてください。科学的な理解に基づいた知識や技術を身に付けると同時に、多様な考え方があることを知り、自分の考えを形成しよりよい生活をめざしましょう。

令和8年度 内子高等学校 小田分校 シラバス

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	2単位	学 年	1 学年
教科書	新家庭基礎	気づく力築く未来（実教出版）	副教材等	調理実習ノート（基礎編）			

1 学習の目標

- ・ 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けます。
- ・ 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を身に付けます。
- ・ 様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向け、その充実向上を目指し主体的に取り組もうとする態度を身につけます。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第1章 自分らしい生き方と家族	・ 自分の目指すライフスタイル実現のために生涯を見通した自己の生活について、主体的に考えます。	
	第3章 高齢者とかかわる	・ 現在の自分を見つめ、将来の目標や自分らしいライフスタイルを考え、家庭の機能、家族関係、法律、福祉について学習します。	
	第4章 社会とかかわる	・ 日本の高齢者の現状と問題点を理解し、高齢者の生活を支援するための仕組みを学習します。	
	第5章 食生活をつくる 【調理実習】	・ 社会保障制度、社会福祉の基本的理念、ともに支えあって生きる社会の考え方について学習します。	
	ホームプロジェクト	・ 自分の食生活を見直し、健康で安全な食生活を考えます。	
第2学期	第7章 住生活をつくる	・ 栄養素の働き、食品の栄養的特徴、特性を生かした調理法を学び、実習します。	期末考查
	第6章 衣生活をつくる	・ 課題を見つけ、夏休みに調査・研究を行います。	
	第8章 消費行動を考える	・ 住居の機能、気候風土と住文化、住空間の設計などについて科学的に理解し、ライフスタイルに応じた住み方の工夫について考えます。	
第3学期	第2章 子どもとかかわる	・ 被服の機能の視点から「着装」の目的を理解し、TPOに応じた着方を学習します。	期末考查
	第9章 経済的に自立する	・ 被服材料の性能に応じた管理方法を学び、製作実習を通して、基礎的な縫製技術を身に付けます。	
第3学期	第2章 子どもとかかわる	・ 賢い消費者として適切な意思決定が行えるよう、契約トラブルとその対策、消費者信用について学習します。	学年末考查
	第9章 経済的に自立する	・ 胎児から幼児までの子どもがどのように成長していくのか学習し、子どもを取り巻く環境の変化や課題について考えます。	

3 評価の規準

【知識・技能】

家庭生活の意義や役割を理解し、生活を充実向上するために必要な知識や基礎的・基本的な技術を身に付けている。

【思考・判断・表現】

家庭や地域の生活について課題を見出し、その解決を目指し思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身に付けている。

【主体的に学習に取り組む態度】

家庭や地域の生活について関心を持ち、様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けてその充実向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。

4 評価方法

各学期の評価は、上記3つの観点から踏まえ、定期考查、ノート・ワークシートにおける記述内容、学習態度（授業中の発表内容や取り組み意欲）実習の取組、課題などを基に総合的に評価します。学年末の評価は、各学期の成績を基に算出します。

5 学習のアドバイス

食生活、消費生活、子どもの発達と保育などに関する生活の様々な事象や課題を実習や体験学習を通して考えます。自分のこととして主体的に捉え、授業や課題に積極的に取組み、実践するよう心がけてください。科学的な理解に基づいた知識や技術を身に付けると同時に、多様な考え方があることを知り、自分の考えを形成しよりよい生活をめざしましょう。

令和8年度 内子高等学校 小田分校 シラバス

教科	家庭科	科目	フードデザイン	単位数	3単位	学 年	3学年ビジネス・グローバル
教科書	フードデザインFood Changes LIFE (教育図書)			副教材等	調理実習ノート (基礎編)		

1 学習の目標

- ・ 栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどを理解するとともに、関連する技術を身に付けます。
- ・ 食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けます。
- ・ 食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生活の総合的なデザインと食育の推進に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けます。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第1章 健康と食生活 1. 食事の意義と役割 2. 食を取り巻く現状	・ 食べることはさまざまな役割があることを理解するとともに、家族や仲間と共に食事する意義を学習します。 ・ 朝食の欠食や肥満・やせなどの問題を、青年期の食生活と関連づけて考えます。	期末考查
	第2章 栄養と食品 1. 栄養素と消化吸収 2. 各栄養素のはたらき 3. 食品とその特徴 4. 何をどれだけ食べる？	・ 五大栄養素それぞれの持つ特有のはたらきについて理解します。また、さまざまな食品について、それぞれの特徴とその調理性、加工について理解します。 ・ 日本人の食事摂取基準や食品群別摂取量の目安について知り、自分に必要な栄養素や食品について考えます。	
	第3章 食品の選択と取り扱い 1. 食品選択のコツ 2. 食品の衛生と安全 3. 食品の安全を考えて選ぶ	・ 食品に記載された情報の正しい見方を知り、食品選択に役立てることができる力を身に付けます。 ・ 食中毒の種類や危険性について知り、適切な予防ができる力を身に付けます。	
第2学期	第4章 調理してみよう 1. なぜ調理するのか 2. 調理操作と調理器具 【調理実習】	・ 食べ物のおいしさには何が影響するか考えます。 ・ 調理実習を通して基本的な技術を学習し、実生活で実践できる力を身に付けます。 ・ 各様式別料理の特徴、献立構成、食卓構成、作法を理解します。	期末考查
	第5章 各国料理とコーディネート 1. 料理の様式 2. テーブルコーディネート	・ テーブルコーディネートの基本をふまえ、食事のテーマにふさわしい食卓の整え方や環境作りの技術を身に付けます。	
第3学期	第6章 食育と食育推進活動 1. 食育推進の取組 2. 食文化を見つめる 3. 食と環境について考えよう	・ 現代の食生活を見直すために食育の大切さを理解します。 ・ 食品ロスの影響を理解し、自分や社会が取り組むべき問題について考えます。	

3 評価の規準

【知識・技能】

栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識を体系的に理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

食生活の現状から食生活全般に関する課題を見だし、思考を深め、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【主体的に学習に取り組む態度】

食生活に関する諸問題に関心を持ち自ら学び、食育の推進に向けて、積極的に取り組もうとする態度を身に付けている。

4 評価方法

各学期の評価は、上記3つの観点から踏まえ、定期考查、ノート・ワークシートにおける記述内容、学習態度（授業中の発表内容や取り組み意欲）実習の取組などを基に総合的に評価します。学年末の評価は、各学期の成績を基に算出します。

5 学習のアドバイス

「食べる」ことは、一生を健康でより豊かに過ごすことと深く関わっています。「考えて食べる」ことを主体的に考えていきましょう。実習は限られた回数しかできません。学習した内容を身に付け、幅広く応用できるよう日ごろから食生活に関心を持ち、家庭でも実践してください。調理実習をはじめ、グループで学習する機会も多くあります。グループ学習がスムーズに楽しく進行できるよう、協力・協調し合う気持ちで臨みましょう。

令和8年度 内子高等学校 小田分校 シラバス

教科	家庭科	科目	保育基礎	単位数	2単位	学 年	3学年グローバル
教科書	保育基礎 ようこそ、ともに育ち合う保育の世界へ			副教材等			

1 学習の目標

- ・ 保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴及び子どもの福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けます。
- ・ 子どもを取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を育成します。
- ・ 子どもの健やかな発達を目指して学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けます。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	1章 子どもの保育 1. 保育の意義 2. 保育の環境 3. 保育の方法	・ 保育には、子どもの生涯の人格形成の基礎を培う重要な意義があることを理解します。 ・ 家庭及び幼稚園、保育所や認定こども園について、それぞれの養育・保育環境の特徴や役割を理解します。	期末考查
	2章 子どもの発達 1. 子どもの発達の特性 2. 乳幼児の発育と発達	・ 愛着関係の形成過程を学び、安全基地としての親の重要性について理解します。また、家族・きょうだい・友だちなどの対人関係と社会性の発達について考えます。	
第2学期	3章 子どもの生活 1. 子どもの健康と生活 2. 子どもの食事 3. 子どもの衣服と寝具 4. 子どもの健康と安全	・ 生活習慣を題材にした絵本などから、生活習慣の習得を促すにはどのような工夫が必要か考えます。 ・ 近年の幼児に関する食事習慣や健康面の課題を学習し、家庭や保育施設でどのようなことが求められているか考察します。	期末考查
	4章 子どもの福祉 1. 保育にみる児童観 2. 児童福祉の理念と法規・制度	・ 保育所保育指針などを取り上げながら養護の必要性・目的を理解し、発達の段階に応じた適切な養護の方法を学習します。 ・ 日本の児童観の変遷と、社会環境や法制度のしくみについて理解します。	
第3学期	5章 子どもの文化 1. 子どもの文化の意義 2. 子どもの文化を支える場 3. 子どもと遊び 4. 子どもの表現活動 【おもちゃの製作、保育実習】	・ 子どもの健やかな発達における遊びの重要性や意義を、おもちゃづくりなどの活動を通じて理解します。 ・ 子どもの遊びの内容や時間・場所・仲間などが、近年の社会の変化の影響を受けて変容していることを知り、どのような課題があるか考えます。 ・ 子どもの遊びに対する、保育者としての適切な関わり方を理解します。	

3 評価の規準

【知識・技能】

子どもの発達や生活の特徴、保育、福祉や文化などについての知識を体系的・系統的に身に付けている。
子どもの発達の特性や発達過程に対応した技術を身に付けている。

【思考・判断・表現】

子どもを取り巻く課題を見付け、保育を担う職業人の視点から合理的かつ創造的に解決するために、思考を深め、適切な判断や工夫、表現をする力を身に付けている。

【主体的に学習に取り組む態度】

子どもの発達や保育にかかわる職業について関心を持ち、地域の保育や子育て支援を通じて子どもの健やかな発達に寄与しようとする意欲的な態度を身に付けている。

4 評価方法

各学期の評価は、上記3つの観点から踏まえ、定期考查、ノート・ワークシートにおける記述内容、学習態度（授業中の発表内容や取り組み意欲）実習への取組、作品制作などを基に総合的に評価します。学年末の評価は、各学期の成績を基に算出します。

5 学習のアドバイス

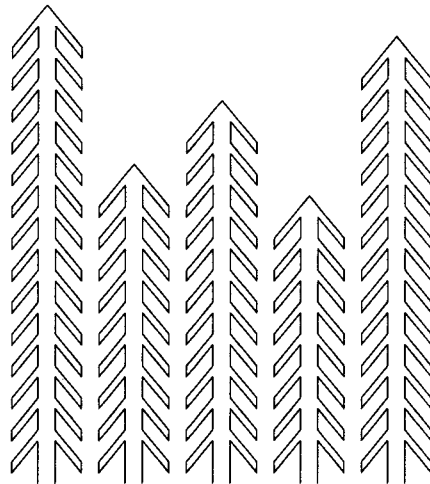
おもちゃの制作などの実習を通して子どもの健やかな発達のために、どのように触れ合い、どのように環境を整えるかなどについて主体的に考えていきます。授業や課題に意欲的に取り組み、保育者として子どもへの適切な関わり方についての知識と技術を身に付けましょう。

令和8年度

シ ラ バ ス

(※シラバスとは学習計画表のこと)

探究科



愛媛県立内子高等学校 小田分校

教科	探究	科目	プロジェクト学習 I	単位数	2単位	学 年	2学年グローバル
教科書	プロジェクト学習の手引き (内子高等学校小田分校)			副教材等			

1 学習の目標

- ・ テーマ設定から調査・実践・発表に至る過程を通して、課題発見・解決能力等の基本的な知識・技能を身に付けます。
- ・ プロジェクトを進める過程で、論理的思考力、コミュニケーション力、自己の考えを適切に表現できる力を養います。
- ・ 地域の魅力や課題の発見、ふるさとの未来をデザインする取組を通し、主体的・協働的な態度を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第1章 導入 1 準備 (1) プロジェクト学習とは (2) 題材の決定 (3) 情報収集 (4) 課題の発見	・ プロジェクト学習の考え方と手法について学習します。 ・ それぞれのグループで考えた題材を元に、様々な情報を収集・分析を行い、課題意識を持ちながら、「題材」を決定します。	
	第2章 実践 1 調査研究 (1) 目標設定 (2) 計画	・ プロジェクト全体の目標やチームの目標を設定します。	
第2学期	(3) 情報の収集・分析 (4) 課題解決策の提案 2 プレゼンテーション (1) 制作	・ 目標達成に必要な情報をイメージし、必要な情報を収集・分析します。 ・ まとめた情報を元に、解決策をまとめます。 ・ 分かりやすく、効果的に伝えることができるプレゼンテーションを考え制作します。	
第3学期	(2) 発表・評価 第3章 まとめ 1 振り返り (1) 再構築 (2) 学習の確認	・ プレゼンテーションにより、グループの考えを伝えることができるように発表します。 ・ 年間を通して活動してきたことを踏まえて、ポートフォリオを作成します。	

3 評価の規準

【知識及び技能】

探究的な学習を通して、情報収集や調査方法の方法、また、レポートの書き方やプレゼンテーションの技術について基礎的・基本的な知識や技術を身に付け、研究内容を他者に伝えるための技能を適切に活用することができる。

【思考力・判断力・表現力等】

探究的な学習を通して、各教科で身に付けた基礎的・基本的な知識・技能を横断的・総合的に活用し、自ら立てたテーマに沿って問題や課題、解決する方法等を適切に表現することができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

探究的な学習を通して、自分の興味・関心に応じて、発見した問題や課題から自らテーマを設定し、主体的に知識・技能を身に付けたり、思考・判断・表現しようとする事ができる。

4 評価方法

各学期の評価は、上記3つの観点から踏まえ、実習の成果物、提出物、学習態度（発表方法や取り組む意欲）、出欠等を基に総合的に評価します。学年末の評価は、各学期の成績を基に算出します。

5 学習のアドバイス

この科目では、テーマ設定から調査・提案に至る過程を通して、論理的思考力、コミュニケーション力、表現力、課題発見・解決能力等の基本的な知識・技能を身に付けます。授業では主にグループ研究を行い、その研究成果を発表する形式になります。日頃から研究活動に対して積極的に取り組み、研究内容の充実を図ってください。

教科	探究	科目	プロジェクト学習Ⅱ	単位数	2単位	学 年	3学年グローバル
教科書	プロジェクト学習の手引き (内子高等学校小田分校)			副教材等			

1 学習の目標

- ・ テーマ設定から調査・実践・発表に至る過程を通して、課題発見・解決能力等の基本的な知識・技能を身に付けます。
- ・ プロジェクトを進める過程で、論理的思考力、コミュニケーション力、自己の考えを適切に表現できる力を養います。
- ・ 地域の魅力や課題の発見、ふるさとの未来をデザインする取組を通し、主体的・協働的な態度を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第1章 導 入 1 準備 (1) プロジェクト学習とは (2) 題材の決定 (3) 情報収集 (4) 課題の発見	・ 「プロジェクト学習Ⅰ」の経験を踏まえ、生徒自身が題材の決定、課題を発見します。	
	第2章 実 践 1 調査研究 (1) 目標設定 (2) 計画 (3) 情報の収集・分析 (4) 課題解決策の提案	・ 生徒自身が自らのビジョン（目的）とゴール（目標）を明確にし、プロジェクトを進めます。	
第2学期	第2章 実 践 2 プレゼンテーション (1) 制作	・ 分かりやすく、効果的に伝えることができるプレゼンテーションを考え制作します。	
第3学期	(2) 発表・評価 第3章 まとめ 1 振り返り (1) 再構築 (2) 学習の確認	・ プレゼンテーションにより、グループの考えを伝えることができるように発表します。 ・ 他者とも思考を共有することが、更なる気付きや知の共創をもたらすことを理解します。 ・ ポートフォリオを作成させ、学習について振り返り、自己の将来の生き方や進路について考察します。	

3 評価の規準

【知識及び技能】

探究的な学習を通して、情報収集や調査方法の方法、また、レポートの書き方やプレゼンテーションの技術について基礎的・基本的な知識や技術を身に付け、研究内容を他者に伝えるための技能を適切に活用することができる。

【思考力・判断力・表現力等】

探究的な学習を通して、各教科で身に付けた基礎的・基本的な知識・技能を横断的・総合的に活用し、自ら立てたテーマに沿って問題や課題、解決する方法等を適切に表現することができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

探究的な学習を通して、自分の興味・関心に応じて、発見した問題や課題から自らテーマを設定し、主体的に知識・技能を身に付けたり、思考・判断・表現しようとする事ができる。

4 評価方法

各学期の評価は、上記3つの観点の踏まえ、実習の成果物、提出物、学習態度（発表方法や取り組む意欲）、出欠等を基に総合的に評価（100点法）します。学年末の評価は、各学期の成績を基に算出します。

5 学習のアドバイス

この科目では、テーマ設定から調査・提案に至る過程を通して、論理的思考力、コミュニケーション力、表現力、課題発見・解決能力等の基本的な知識・技能を身に付けます。授業では主にグループ研究を行い、その研究成果を発表する形式になります。日頃から研究活動に対して積極的に取り組み、研究内容の充実を図ってください。

教科	探究	科目	ふるさと探訪学	単位数	2単位	学 年	2学年ビジネス・グローバル
教科書	ふるさと探訪学・創生学テキスト (内子高等学校小田分校)		副教材等				

1 学習の目標

- ・ 内子町を主な題材とし、各地域が抱える諸問題を踏まえて、地域経済や地域産業の関係を分析するとともに、職場・地域見学を通して、地域産業の果たすべき役割や地域産業の在るべき姿を理解します。
- ・ 課題解決のための方策、地域活性化のために必要な能力と態度を育てるとともに、社会における自己の在り方・生き方を考え、困難に対峙する力を高めます。
- ・ 様々な学習活動を通して、表現力・情報発信力を高めます。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	1 内子町の特徴とまちづくりの歴史 (1) 内子町の特徴 (2) まちづくりの展開、特徴	・ 内子町の特徴、まちづくりの歴史を教科書や実際に携わる方々から話を聞き、今後の学習に繋がります。	
	2 内子町の産業 (3) 林業・農業・その他の産業 (4) エコロジータウン	・ 内子町の産業を調べ、また最前線で活躍する方々から話を聞き、知識を深めていきます。	
	3 内子町の観光 (1) 町並み保存と内子座	・ 内子町の観光について調べ、観光の特徴や今後の観光の在り方などについて考えます。	
第2学期	(2) 内子フレッシュパークからり (3) 山並み・村並み保存	・ 観光資源となっている町並み・山並み・村並みについて、見学を通してその特徴をつかみます。	
	4 先進地域に学ぶ (1) 先進地域、関連地域に学ぶ	・ 国内外のまちづくりについて、知識を深めます。	
	5 まちづくりと行政 (1) 行政の役割 (2) 地域・企業と行政の関わり	・ 地域・企業・行政の関係性について知り、今後のまちづくりのために在るべき形を模索します。	
第3学期	6 地域調査 (1) 地域調査の計画 (2) 地域調査の方法、マナー、レポートのまとめ方 (3) 地域調査の実施、まとめ	・ これまでの学習を振り返り、実際に地域に出て調べる学習を行います。	
	7 ふるさと探訪をまとめる (1) 1年間のまとめレポートの作成について (2) まとめレポートの発表	・ これまでの学習を「ふるさと探訪ブック」の形でまとめ、関係者を含めて発表会を行い、討論することで学習効果を深めます。	

3 評価の規準

【知識及び技能】

内子町の諸課題について、基本的な知識を習得し、自分なりの視点・観点で表現することができる。また、内子町の諸課題についての統計・資料・図表を適切に扱い、正しく読み取るとともに、そこからその事象に対する本質的な要因・要素を読み取ることができる。

【思考力・判断力・表現力等】

内子町の諸課題について多角的な視点から考察し、自己や学校との関わりに注目して認識を深めるとともに、様々な視点から内子町の現状を認識する姿勢を持って、諸事象を表現することができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

内子町に諸課題に対する関心を高め、意欲的に追求する態度を示すとともに、積極的に地域の時事問題に触れ知識を深めようとしている。

4 評価方法

各学期の評価は、上記の3つの観点を踏まえ、提出物、学習状況（意欲・態度・発表等）、出欠席等を基に総合的に評価します。学年末の評価は、各学期の成績を基に算出します。

5 学習のアドバイス

内子町の動きや地域の様子に興味を持ちましょう。新聞や広報、議会だより、内子町のホームページなどを見て内子町に対する知識を深めましょう。また地域のひとと地域の現状についての話を聞いたりして、まちづくりに対する自分の考えを深めていきましょう。

教科	探究	科目	ふるさと創生学	単位数	2単位	学 年	3学年ビジネス
教科書	ふるさと探訪学・創生学テキスト (内子高等学校小田分校)		副教材等				

1 学習の目標

- 人口減少や少子高齢化・産業の衰退など、地域の抱える諸問題を理解するとともに、道路や公園などの公共空間、住宅の整備などのハード面と、産業、行政、教育、福祉といった生活環境のソフト面との有機的な関係を様々な角度から分析する力を養います。
- 地域振興のための様々な提案を行うことにより、地域人、産業人、そして起業人としての資質を身に付け、地域社会において具体的に貢献できる人材を育てます。
- 様々な学習活動を通して、表現力・情報発信力を高めます。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	1 まちづくりと行政 (1) 平成の大合併と内子町 (2) まちづくり総合計画 (3) 自治会制度とまちづくり (4) 自治会単位の地域づくり計画 (5) 地域づくり計画の分析 (6) 小田分校版地域づくり計画の作成計画 (7) 地域調査	- 内子町の特徴、まちづくりの歴史を教科書や実際に携わる方々から話を聞き、今後の学習に繋がります。 - 内子町独自の自治会制度について知り、その特色について学びます。 - 地域づくり計画について分析をし、自分たちで独自の地域づくり計画を作成します。	
第2学期	(8) 地域づくり計画の作成 (9) 内子町担当者との討論会 (10) 情報発信 2 わたしたちが内子町にできること (1) これからの内子町 (2) 地域のニーズを探る (3) NPO、株式会社、第三セクターをつくる (4) NPOをつくるために	- 地域づくり計画を内子町担当者と共に分析・討論し、学習効果を深めます。 - 実際に内子町のためにできることを考え、その具体的方法を考えます。 - NPO、株式会社、第三セクターについて、その特徴や違いなどを学習します。 - 実際にNPO法人設立方法を学習します。	
第3学期	7 ふるさと創生をまとめる (1) 学習のまとめ (2) 実際のNPOに学ぶ	- これまでの学習をレポート化し、学習効果を高めます。 - 実際にNPO法人について、その活動などについての話を聞きます。	

3 評価の規準

【知識及び技能】

内子町の諸課題について、基本的な知識を習得し、自分なりの視点・観点で表現することができる。また、内子町の諸課題についての統計・資料・図表を適切に扱い、正しく読み取るとともに、そこからその事象に対する本質的な要因・要素を読み取ることができる。

【思考力・判断力・表現力等】

内子町の諸課題について多角的な視点から考察し、自己や学校との関わりに注目して認識を深めるとともに、様々な視点から内子町の現状を認識する姿勢を持って、諸事象を表現することができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

内子町に諸課題に対する関心を高め、意欲的に追求する態度を示すとともに、積極的に地域の時事問題に触れ知識を深めようとしている。

4 評価方法

各学期の評価は、上記の3つの観点を踏まえ、提出物、学習状況（意欲・態度・発表等）、出席等を基に総合的に評価します。
学年末の評価は、各学期の成績を基に算出します。

5 学習のアドバイス

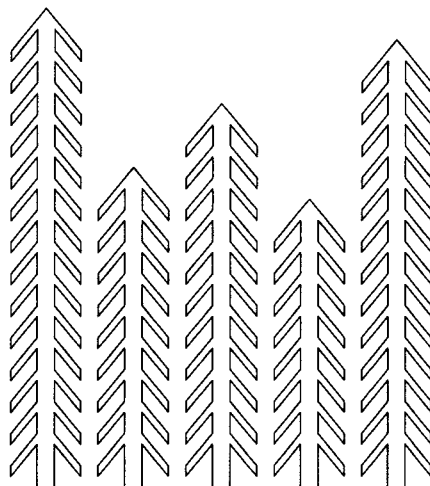
内子町の動きや地域の様子に興味を持ちましょう。新聞や広報、議会だより、内子町のホームページなどを見て内子町に対する知識を深めましょう。また地域のひとと地域の現状についての話を聞いたりして、まちづくりに対する自分の考えを深めていきましょう。

令和8年度

シ ラ バ ス

(※シラバスとは学習計画表のこと)

商業科



愛媛県立内子高等学校 小田分校

令和8年度 内子高等学校 小田分校 シラバス

教科	商業	科目	ビジネス基礎	単位数	2単位	学 年	2学年ビジネス
教科書	ビジネス基礎（実教出版）		副教材等	ビジネス基礎 準拠問題集（実教出版）			

1 学習の目標

- ・ ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けます。
- ・ ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。
- ・ ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第1章 商業の学習とビジネス	・ 商業を学ぶ重要性和学び方、ビジネスの概要について学習します。	期末考查
	第6章 ビジネスと売買取引	・ ビジネスで絶えず行われている売買取引、代金決済など取引に関する知識や技術を学習します。	
	第7章 ビジネス計算	・ ビジネス計算に関する知識や技術を学習します。 ・ より高度なビジネス計算ができるように学習します。	
第2学期	第2章 ビジネスとコミュニケーション	・ ビジネスにおける信頼関係構築の意義と重要性について学習します。 ・ 企業活動における情報の重要性、情報の入手と活用について学習します。	期末考查
	第3章 経済と流通の基礎	・ 経済の仕組みと流通の必要性について理解します。 ・ 流通を支える組織の一員としての役割を果たすことができる力を身に付けます。	
第3学期	第4章 さまざまなビジネス	・ ビジネスの具体的な種類について学習します。	学年末考查
	第5章 企業活動の基礎	・ 流通や流通に関わる様々なビジネスについて学習します。 ・ 企業の役割や組織、社会的責任について学習します。 ・ マーケティングの重要性や資金調達の方法など企業の一員として知っておくべき知識を身に付けます。	
	第8章 身近な地域のビジネス	・ さまざまな地域の魅力と課題、地域ビジネスの動向について学習します。	

3 評価の規準

【知識・技能】

ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解し、ビジネスの様々な場面で役に立つビジネスに関する基礎的な知識と技術を身に付けている。

【思考・判断・表現】

ビジネスをはじめとして様々な知識、技術を活用し、ビジネスに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、市場の動向、ビジネスに関する理論、データ、成功事例や改善に要する根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えている。

【主体的に学習に取り組む態度】

ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して、当事者としての意識を持ち、他者と信頼関係を構築して積極的にに関わり、ビジネスの創造と発展に責任を持って取り組もうとしている。

4 評価方法

各学期の評価は、上記三つの観点から踏まえ、定期考査、単元テスト、実習の成果物、提出物、小テスト、学習態度（発表や意欲）、検定取得状況、出欠等を基に総合的に評価します。学年末の評価は、各学期の成績を基に算出します。

5 学習へのアドバイス

「ビジネス基礎」は、商業科目の基礎となるものです。つまり、この科目で学ぶことは他の商業の科目を学習するときの基礎となります。また、私たちの身の回りにあるビジネスをまとめた科目である「ビジネス基礎」は、社会に出るときに必要な内容がこの本にまとめられているとも言えます。将来の見据えながら、ビジネスに関する基礎的なことを身に付けることができるように積極的に取り組んでください。

令和8年度 内子高等学校 小田分校 シラバス

教 科	商業	科 目	マーケティング	単位数	2単位	学 年	2学年ビジネス
教科書	マーケティング (実教出版)			副教材等	マーケティング 準拠問題集 (実教出版)		

1 学習の目標

- ・ マーケティングについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けます。
- ・ マーケティングに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。
- ・ ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、マーケティングに主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第1章 マーケティングの概要	・ 現代市場の特徴を理解し、マーケティングの考え方や手順について学習します。	期末考査
	第2章 消費者行動の理解	・ マーケティングの意義と課題や、消費者保護や環境問題など現代市場における重要性について理解を深めます。	
	第3章 市場調査	・ 消費者行動について理解するとともに、影響を与える要因について学習します。	
	第4章 STP	・ 市場調査について理解し、関連する知識・技術を学習します。	
第2学期	第5章 製品政策	・ 市場調査に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて立案・実施・評価・改善の一連の流れについて学習します。	期末考査
	第6章 価格政策	・ STP分析を理解し、関連する知識・技術を学習します。	
	第7章 チャンネル政策	・ 製品の捉え方を理解し、どのような製品を開発して、製品をどのように生産の計画を立てるのかという一連の手順について学習します。	
	第8章 プロモーション政策	・ 価格は、企業の売上や利益に直結する重要な要素であり、価格政策の目的や価格の種類について学習します。	
第3学期	第9章 マーケティングのひろがり	・ 企業が、消費者に製品を購入してもらうためには、どのような経路で販売すればよいかなどの特性を理解し、チャンネルの選択と管理について学習します。	学年末考査
		・ 消費者の購買行動を促進するさまざまなプロモーションの種類とその特徴について学習します。	
		・ プロモーションに関する規制と倫理について学習します。	

3 評価の規準組み合わせる

【知識・技能】

企業における事例など実際のマーケティングと関連付けられ、ビジネスの様々な場面で役に立つマーケティングに関する知識と技術を身に付けている。

【思考・判断・表現】

経済社会において、ビジネスに関する様々な知識、技術などを活用し、マーケティングに関する課題を発見するとともに、顧客理解、市場動向、マーケティング理論、データ分析など科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えている。

【主体的に学習に取り組む態度】

自らマーケティングについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、市場調査の実施と情報の分析、製品政策、価格政策、チャンネル政策、プロモーション政策の企画と実施などに責任を持って取り組んでいる。

4 評価方法

各学期の評価は、上記三つの観点で踏まえ、定期考査、単元テスト、実習の成果物、提出物、学習態度（発表や意欲）、出欠等を基に総合的に評価します。学年末の評価は、各学期の成績を基に算出します。

5 学習のアドバイス

「マーケティング」とは、簡単に表現すると「商品やサービスが売れる仕組みをつくること」です。授業や教科書や問題集の学習はもちろんのこと、ニュースや身の回りの出来事、宣伝活動などの商業活動や経済に関する情報に日頃から興味を持って接しましょう。

試験だけでなく毎日の授業態度や提出物の内容も評価します。授業を積極的に受け、提出物を必ず出すようにしてください。

令和8年度 内子高等学校 小田分校 シラバス

教科	商業	科目	簿記	単位数	4単位	学 年	2学年ビジネス
教科書	簿記（東京法令出版）		副教材等	完全段階式 標準検定簿記問題集（東京法令出版）			

1 学習の目標

- ・ 簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けます。
- ・ 取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養います。
- ・ 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第Ⅰ編 簿記の基本 第1章 企業の簿記 第2章 資産・負債・純資産－貸借対照表－ 第3章 費用・収益－損益計算書－ 第4章 取引と勘定 第5章 仕訳と勘定への記入 第6章 仕訳帳と総勘定元帳 第7章 試算表 第8章 決算	・ 「簿記」について、意味や目的、種類等と三つの前提条件を理解します。 ・ 簿記の五つの要素と、貸借対照表や損益計算書の意味や作成法、純損益の計算の仕組みを理解します。 ・ 簿記上の取引を理解し、勘定、仕訳の意味を知り、基本的な取引の仕訳と諸帳簿の記帳の仕方を習得します。 ・ 財務諸表の意味、役割を理解し、作成法を習得します。	期末考査
	第Ⅱ編 取引の記帳 第1章 現金・預金の記帳	・ 現金預金、その他の預貯金や小口現金について、意味や記帳法を習得します。	
第2学期	第2章 商品売上の記帳 第3章 掛取引の記帳 第4章 手形取引の記帳 第5章 その他の債権・債務の記帳 第6章 有価証券の記帳 第7章 固定資産の記帳 第8章 販売費および一般管理費の記帳 第9章 個人企業の純資産の記帳 第10章 個人企業の税金の記帳	・ 3分法での商品売上の必要性と記帳法、手形の種類や意味、記帳法を習得します。 ・ 様々な債権、債務の意味や性質を理解し、記帳法を習得します。また、有価証券や固定資産の意味や記帳法を習得します。	期末考査
	第Ⅲ編 決算(1) 決算整理（その1） 第Ⅳ編 会計帳簿 第1章 帳簿 第2章 3伝票制による記帳	・ 営業費の意味や個人企業の資本金の増減、また、税金の意義と種類を理解します。 ・ 各帳簿や伝票への記帳法を習得します。 ・ 決算整理の意味と必要性を理解し、各帳簿の締切り法を習得します。 ・ 各種帳簿の種類や役割3伝票による記帳法、財務諸表の意義と作成法を学習します。	
第3学期	検定対策 第Ⅴ編 特殊な取引 第1章 特殊な手形取引の記帳 第Ⅵ編 決算(2) 第1章 決算整理(その2)	・ これまでの集大成として簿記検定3級取得を目指して学習します。 ・ 手形に関する各種の特殊な取引を学習します。 ・ 固定資産の減価償却費の計算と記帳（定率法と間接法）、有価証券の評価、当座債越勘定への振り替え、費用・収益の繰延べ・見越しに係る記帳法について学習します。	学年末考査

3 評価の規準

【知識・技能】

簿記に関する理論的な知識と技術にとどまらず、実務と関連付けられ、ビジネスの様々な場面で役に立つ実務に即した知識と技術が身に付いている。

【思考・判断・表現】

簿記をはじめとした様々な知識・技術などを活用し、取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と実務に適用することに伴う課題を見いだすとともに、会計情報が社会に及ぼす影響を踏まえ、簿記に関する理論、企業活動の流れなど科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく課題に対応する力が身に付いている。

【主体的に学習に取り組む姿勢】

企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら簿記について学ぶ態度および組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識を持ち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、記帳・決算など適正な取引の記録と財務諸表の作成に責任を持って取り組む態度が身に付いている。

4 評価方法

各学期の評価は、上記三つの観点から踏まえ、定期考査、単元テスト、実習の成果物、提出物、小テスト、学習態度（発表や意欲）、検定取得状況、出欠等を基に総合的に評価します。学年末の評価は、各学期の成績を基に算出します。

5 学習へのアドバイス

自分の力で様々な課題に挑戦し、授業を通して簿記に関する基礎的な知識・技術を習得し、経済社会で生きていく力を身に付けてください。また、目標は簿記検定3級取得ですが、もっと上のレベルを目指して勉強してください。

令和8年度 内子高等学校 小田分校 シラバス

教科	商業	科目	ビジネス基礎	単位数	3単位	学 年	3学年ビジネス・グローバル
教科書	ビジネス基礎（実教出版）		副教材等	ビジネス基礎 準拠問題集（実教出版）			

1 学習の目標

- ・ ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けます。
- ・ ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。
- ・ ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第1章 商業の学習とビジネス	・ 商業を学ぶ重要性和学び方、ビジネスの概要について学習します。	期末考查
	第6章 ビジネスと売買取引	・ ビジネスで絶えず行われている売買取引、代金決済など取引に関する知識や技術を学習します。	
	第7章 ビジネス計算	・ ビジネス計算に関する知識や技術を学習します。 ・ より高度なビジネス計算ができるように学習します。	
第2学期	第2章 ビジネスとコミュニケーション	・ ビジネスにおける信頼関係構築の意義と重要性について学習します。 ・ 企業活動における情報の重要性、情報の入手と活用について学習します。	期末考查
	第3章 経済と流通の基礎	・ 経済の仕組みと流通の必要性について理解します。 ・ 流通を支える組織の一員としての役割を果たすことができる力を身に付けます。	
第3学期	第4章 さまざまなビジネス	・ ビジネスの具体的な種類について学習します。	
	第5章 企業活動の基礎	・ 流通や流通に関わる様々なビジネスについて学習します。 ・ 企業の役割や組織、社会的責任について学習します。	
	第8章 身近な地域のビジネス	・ マーケティングの重要性や資金調達の方法など企業の一員として知っておくべき知識を身に付けます。 ・ さまざまな地域の魅力と課題、地域ビジネスの動向について学習します。	

3 評価の規準

【知識・技能】

ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解し、ビジネスの様々な場面で役に立つビジネスに関する基礎的な知識と技術を身に付けている。

【思考・判断・表現】

ビジネスをはじめとして様々な知識、技術を活用し、ビジネスに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、市場の動向、ビジネスに関する理論、データ、成功事例や改善に要する根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えている。

【主体的に学習に取り組む態度】

ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して、当事者としての意識を持ち、他者と信頼関係を構築して積極的にに関わり、ビジネスの創造と発展に責任を持って取り組もうとしている。

4 評価方法

各学期の評価は、上記三つの観点から踏まえ、定期考査、単元テスト、実習の成果物、提出物、小テスト、学習態度（発表や意欲）、検定取得状況、出欠等を基に総合的に評価します。学年末の評価は、各学期の成績を基に算出します。

5 学習へのアドバイス

「ビジネス基礎」は、商業科目の基礎となるものです。つまり、この科目で学ぶことは他の商業の科目を学習するときの基礎となります。また、私たちの身の回りにあるビジネスをまとめた科目である「ビジネス基礎」は、社会に出るときに必要な内容がこの本にまとめられているとも言えます。将来の見据えながら、ビジネスに関する基礎的なことを身に付けることができるように積極的に取り組んでください。

令和8年度 内子高等学校 小田分校 シラバス

教科	商業	科目	商品開発と流通	単位数	2単位	学 年	3学年ビジネス・グローバル
教科書	商品開発と流通（実教出版）		副教材等	商品開発と流通 準拠問題集（実教出版）			

1 学習の目標

- 商品開発と流通について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けます。
- 商品開発と流通に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。
- ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、商品開発と流通に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	1章 商品開発と流通の概要	- 商品の成り立ちおよびその捉え方について理解します。 - 商品開発の意義、商品のライフサイクル、商品開発の手順について学習します。 - 流通の仕組み、市場環境の変化、流通チャネルの多様化について理解します。	期末考查
	2章 商品の企画	市場調査や環境分析、商品コンセプトの策定について理解します。	
第2学期	3章 事業計画の立案	- 事業計画の目的やその手順について学習します。 - 価格政策、流通計画、プロモーション計画について学習します。	期末考查
	4章 商品の開発	- 商品仕様の決定、プロトタイプの種類と目的、評価、商品デザインの役割や技法について学習します。 - ブランドの機能、知的財産権の登録について学習します。	
	5章 商品の販売	販売員活動、セールスプロモーションについて学習します。	
第3学期	6章 商品と流通に関わる新たな展開	多様化する顧客ニーズへの対応、情報システムを活用した新たな流通の展開について理解します。	

3 評価の規準

【知識・技術】

商品開発と流通について、実務に即して体系的・系統的に理解し、商品の企画からプロモーションまでの様々な場面で役に立つ商品開発に関する知識と、流通の立場から捉えた取引対象としての商品に関する知識を身に付けている。

【思考・判断・表現】

商品開発と流通をはじめとした様々な知識や情報などを活用し、商品開発と流通の動向や課題を発見するとともに、ビジネスに関わる様々な立場に立って、妥当性と課題などの視点から、科学的な根拠に基づいて商品開発と流通に関する計画を立案したり、提案したりしている。

【主たる学習に取り組む態度】

ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら商品開発と流通について学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識を持ち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、商品開発と流通に関する学習活動に責任をもって取り組もうとしている。

4 評価方法

各学期の評価は、上記三つの観点から踏まえ、定期考査、単元テスト、実習の成果物、提出物、小テスト、学習態度（発表や意欲）、出欠等を基に総合的に評価します。学年末の評価は、各学期の成績を基に算出します。

5 学習へのアドバイス

市場で売られ、消費者に喜んで購入される商品を開発する仕組みや手順、流通や販売方法を学習することで、身の回りの商品がどのように企画され、生産され、消費者に購入されるに至るかを学びます。その点をいかに普段の生活や将来の仕事の中で活用できるのかを考えながら学習する態度がみなさんのスキルアップにつながります。授業は、講義形式と実習形式を織り交ぜながら行います。そのため、普段の授業だけでなく、放課後や家庭での学習などを利用しながら知識・技術の習得を目指して取り組んでください。

教 科	商業	科 目	ビジネス法規	単位数	2単位	学 年	3学年ビジネス
教科書	ビジネス法規 (実教出版)			副教材等	ビジネス法規 準拠問題集 (実教出版)		

1 学習の目標

- ・ ビジネスに関する法規について、実務に即して体系的・系統的に理解します。
- ・ 法的側面からビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として法的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。
- ・ ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して、自ら学び、法規に基づくビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第1章 法の概要	・ ビジネスを適切に行うための法の役割について理解します。	期末考査
	第2章 権利・義務と財産権	・ 経済環境の変化と法を理解するとともに、法の分類及び法の解釈と適用の考え方を理解します。	
	第3章 財産権の変動	・ 権利と義務の概要、各種財産権の概要について、法規と関連付けながら理解します。	
第2学期	第4章 企業活動と法規	・ 契約全般、法行為や時効について、法規と関連付けながら理解します。	期末考査
	第5章 企業責任と法規	・ 企業活動の主体とその商行為の概要について理解します。また、資金調達や運用、金融取引の現状や課題等について具体的な事例を用い、法規と関連付けながら学習します。	
	第6章 紛争の解決と予防	・ 法令順守や説明責任の意義と重要性について理解します。また、労働者の保護、消費者の保護、情報の保護について、体的な事例を用い、法規と関連付けながら学習します。	
第3学期	第7章 税と法規	・ 公証制度の概要、和解、調停及び仲裁の目的、手続、効力並びに民事訴訟制度の概要について、法規と関連付けて理解します。	
		・ 税の種類や概要について理解します。	
		・ 各種税の申告と納付の仕組み及び申告書の作成など手続の概要について、法規と関連付けて理解します。	

3 評価の規準

【知識・技術】

企業における事例など実際のビジネスと関連付けられ、ビジネスのさまざまな場面で役に立つ法規に関する知識が身に付いている。

【思考・判断・表現】

唯一絶対の答えがないことの多い経済社会にあつて、ビジネスに関する法規をはじめとしたさまざまな知識などを活用し、法的側面からビジネスに関する課題を発見するとともに、ビジネスが社会に及ぼす影響を踏まえ、法的な根拠にもとづいて工夫してよりよく解決する力が身に付いている。

【主体的に学習に取り組む態度】

ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら法規について学ぶ態度および組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識を持ち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、法規に基づくビジネスに責任を持って取り組む態度が身に付いている。

4 評価方法

各学期の評価は、上記三つの観点を踏まえ、定期考査、単元テスト、実習の成果物、提出物、学習態度（発表や意欲）、出欠等を基に総合的に評価します。学年末の評価は、各学期の成績を基に算出します。

5 学習のアドバイス

この教科は、私たちの日常生活の中でも特に、経済活動に法がどのように関わっているかを学習するものです。社会生活を営むルールとして、法は重要な役割を果たしています。法律の学習は難しく、取っ付きにくいかもしれませんが、興味を持って積極的に学習に臨んでほしいです。

教科	商業	科目	簿記	単位数	4単位	学 年	3 学年ビジネス
教科書	簿記（東京法令出版）		副教材等	完全段階式 標準検定簿記問題集（東京法令出版）			

1 学習の目標

- ・ 簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けます。
- ・ 取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養います。
- ・ 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	昨年度までの復習学習 第Ⅶ編 本支店会計 第1章 本支店間の取引 第2章 本支店財務諸表の合併	・ 昨年度の学習内容を振り返ります。 ・ 支店会計の独立や本支店間・支店相互間取引の記録・計算・整理を学習します。 ・ 本店と支店を統合した本支店合併財務諸表の作成法を習得します。	期末考查
第2学期	第Ⅷ編 会計ソフトウェア 第1章 コンピュータを利用した会計処理 発展的な内容 株式会社会計 第1章 株式会社の設立・開業と株式の発行 第2章 当期純損益の計上と剰余金の配当・処分 第3章 株式会社の税務 発展的な内容 その他の債権・債務 第1章 電子記録債権・電子記録債務 第2章 クレジット売掛金	・ コンピュータ会計の意義及びクラウド会計システムを用いて効率的に取引の記録と財務諸表の作成をおこなう方法について学習します。 ・ 株式会社の仕組み・設立・資本金の増加と繰延資産について学習します。 ・ 繰越利益剰余金・準備金・配当金・任意積立金の配当及び処分について学びます。 ・ 株式会社と個人企業の税金の違いや株式会社に課せられる税金の種類について学びます。 ・ 従来の売掛債権・買掛債務に代わる新しい決済手段について学習します。	期末考查
第3学期	発展的な内容 進んだ決算 第1章 株式会社の財務諸表の作成 検定対策	・ 株式会社における各種の財務諸表の作成を通して、それぞれの関係を理解します。 ・ 1年間の集大成として簿記検定2級取得を目指して学習します。	

3 評価の規準

【知識・技能】

簿記に関する理論的な知識と技術にとどまらず、実務と関連付けられ、ビジネスの様々な場面で役に立つ実務に即した知識と技術が身に付いている。

【思考・判断・表現】

簿記をはじめとした様々な知識・技術などを活用し、取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と実務に適用することに伴う課題を見いだすとともに、会計情報が社会に及ぼす影響を踏まえ、簿記に関する理論、企業活動の流れなど科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく課題に対応する力が身に付いている。

【主体的に学習に取り組む姿勢】

企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら簿記について学ぶ態度および組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識を持ち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、記帳・決算など適正な取引の記録と財務諸表の作成に責任を持って取り組む態度が身に付いている。

4 評価方法

各学期の評価は、上記三つの観点から踏まえ、定期考査、単元テスト、実習の成果物、提出物、小テスト、学習態度（発表や意欲）、検定取得状況、出欠等を基に総合的に評価します。学年末の評価は、各学期の成績を基に算出します。

5 学習へのアドバイス

自分の力で様々な課題に挑戦し、授業を通して、簿記に関する基礎的な知識・技術を習得し、経済社会で生きていく力を身に付けてください。また、目標は簿記検定2級取得ですが、もっと上のレベルを目指して勉強してください。

教科	商業	科目	情報処理	単位数	3単位	学 年	3学年ビジネス
教科書	情報処理（東京法令出版）			副教材等	情報処理検定試験 模擬問題集（東京法令出版）		

1 学習の目標

- ・ 企業において情報を適切に扱えるようにするための知識や技術を、実務に即して体系的・系統的に身に付けます。
- ・ 情報を適切に扱うことで、さまざまな問題を発見し、解決していけるようにするための力を身に付けます。
- ・ 情報に関する知識や技術を活用し、主体的かつ協働的に問題を解決し、企業活動を改善していこうとする態度を身に付けます。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第1章 ビジネスと情報	・ コンピュータを活用することの重要性及びビジネスに関する情報を収集・処理・分析して表現し、活用することの重要性について学習します。 ・ 情報を分かりやすく伝達するために必要な情報デザインの重要性、伝えたい意図を的確に表現するための要素の構成と配置及び図解表現の効果と方法について理解します。	期末考查
	第2章 コンピュータシステムと情報通信ネットワーク	・ 基本的な情報通信ネットワークを構成するハードウェアとソフトウェアの基本的な仕組みや構成、インターネットの基本的な仕組みや接続形態及び通信プロトコルの役割について学習します。 ・ 情報セキュリティ確保の重要性、脅かすリスクについて理解し、予防するための手法や犯罪を防止する法規の概要について学習します。	
第2学期	第3章 情報の集計と分析	・ 統計的手法などを用いて情報を分析することの重要性、ビジネスを想定した題材を用いた分析の手法について学習します。 ・ 事象をモデル化し、シミュレーションを行う基礎的な技法及びアルゴリズムを考案し、プログラムとして表現する基礎的な技法を用いた問題の発見と解決について、ビジネスを想定した題材を用いて学習します。	期末考查
	第4章 ビジネス文書の作成	・ ビジネス文書を作成するために必要な知識と技能を身に付けます。 ・ ビジネス文書の種類や構成、適切な文章の表現方法について学習します。	
第3学期	第5章 プレゼンテーション	・ プレゼンテーションに必要な基本的な知識や技法を学習します。 ・ 効果的にプレゼンテーションを行う方法について学習します。	

3 評価の規準

【知識・技術】

ビジネスにおいて役立てることができる情報を収集・処理・分析・表現するための知識や技術を身に付けている。

【思考・判断・表現】

情報を扱うための知識や技術を活用して、情報に関する課題を発見し、解決するための思考力・判断力・表現力を身に付けている。

【主体的に学習に取り組む態度】

組織の一員として自己の役割を認識し、情報に関する知識や技術を活用して、協働して課題を解決していこうとする態度を身に付けている。

4 評価方法

各学期の評価は、上記三つの観点を踏まえ、定期考查、単元テスト、実習の成果物、提出物、小テスト、学習態度（発表や意欲）、検定取得状況、出欠等を基に総合的に評価します。学年末の評価は、各学期の成績を基に算出します。

5 学習へのアドバイス

ほとんど実習授業になるので、授業で学んだことを生かして、それを自分でしっかりと操作できるように実践力を養ってください。また、情報処理検定が9月と1月に実施されますので、一つでも多くの資格を取得できるように、放課後などを利用して、積極的に学習してください。

令和8年度 内子高等学校 小田分校 シラバス

教科書	商業	科目	簿記	単位数	5単位	学 年	3学年グローバル
教科書	簿記 (東京法令出版)	副教材等	完全段階式 標準検定簿記問題集 (東京法令出版)				

1 学習の目標

- ・ 簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けます。
- ・ 取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養います。
- ・ 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第Ⅰ編 簿記の基本	・ 「簿記」について、意味や目的、種類等と三つの前提条件を理解します。	
	第1章 企業の簿記	・ 簿記の五つの要素と、貸借対照表や損益計算書の意味や作成法、純損益の計算の仕組みを理解します。	
	第2章 資産・負債・純資産—貸借対照表—	・ 簿記上の取引を理解し、勘定、仕訳の意味を知り、基本的な取引の仕訳と諸帳簿の記帳の仕方を習得します。	
	第3章 費用・収益—損益計算書—	・ 財務諸表の意味、役割を理解し、作成法を習得します。	
	第4章 取引と勘定		
	第5章 仕訳と勘定への記入		
	第6章 仕訳帳と総勘定元帳		
	第7章 試算表		
	第8章 決算		
	第Ⅱ編 取引の記帳	・ 現金預金、その他の預貯金や小口現金について、意味や記帳法を習得します。	
第2学期	第1章 現金・預金の記帳	・ 3分法での商品売買の必要性和記帳法、手形の種類や意味、記帳法を習得します。	
	第2章 商品売買の記帳	・ 様々な債権、債務の意味や性質を理解し、記帳法を習得します。	
	第3章 掛取引の記帳	また、有価証券や固定資産の意味や記帳法を習得します。	
	第4章 手形取引の記帳	・ 営業費の意味や個人企業の資本金の増減、また、税金の意義と種類を理解します。	
	第5章 その他の債権・債務の記帳	・ 各帳簿や伝票への記帳法を習得します。	
	第6章 有価証券の記帳	・ 決算整理の意味と必要性を理解し、各帳簿の締切り法を習得します。	
	第7章 固定資産の記帳	・ 各種帳簿の種類や役割3伝票による記帳法、財務諸表の意義と作成法を学習します。	
	第8章 販売費および一般管理費の記帳	・ 簿記検定3級取得を目指し学習します。	期末考査
	第9章 個人企業の純資産の記帳		
	第10章 個人企業の税金の記帳		
第3学期	第Ⅲ編 決算(1) 決算整理 (その1)		
	第Ⅳ編 会計帳簿		
	第1章 帳簿		
	第2章 3伝票制による記帳		
	検定対策		
	第Ⅴ編 特殊な取引	・ 手形に関する各種の特殊な取引を学習します。	
	第1章 特殊な手形取引の記帳		
	第Ⅵ編 決算(2) 第1章 決算整理(その2)	・ 固定資産の減価償却費の計算と記帳 (定率法と間接法)、有価証券の評価、当座借越勘定への振り替え、費用・収益の繰延べ・見越しに係る記帳法について学習します。	
	第Ⅶ編 本支店会計	・ 支店会計の独立や本支店間・支店相互間取引の記録・計算・整理を学習します。	
	第1章 本支店間の取引	・ 本店と支店を統合した本支店合併財務諸表の作成法を習得します。	
第3学期	第2章 本支店財務諸表の合併	・ コンピュータ会計の意義及びクラウド会計システムを用いて効率的に取引の記録と財務諸表の作成をおこなう方法について学習します。	
	第Ⅷ編 会計ソフトウェア	・ 株式会社の仕組み・設立・資本金の増加と繰延資産について学習します。	
	第1章 コンピュータを利用した会計処理	・ 繰越利益剰余金・準備金・配当金・任意積立金の配当及び処分について学びます。	期末考査
	発展的な内容 株式会社会計		
	第1章 株式会社の設立・開業と株式の発行	・ 株式会社と個人企業の税金の違いや株式会社に課せられる税金の種類について学びます。	
	第2章 当期純損益の計上と剰余金の配当・処分	・ 従来の売掛債権・買掛債務に代わる新しい決済手段について学習します。	
	第3章 株式会社の税務	・ 株式会社における各種の財務諸表の作成を通して、それぞれの関係を理解します。	
	発展的な内容 その他の債権・債務	・ 1年間の集大成として簿記検定2級取得を目指して学習します。	
	第1章 電子記録債権・電子記録債務		
	第2章 クレジット売掛金		
	発展的な内容 進んだ決算		
	第1章 株式会社の財務諸表の作成		
	検定対策		

3 評価の規準

- 【知識・技能】
簿記に関する理論的な知識と技術にとどまらず、実務と関連付けられ、ビジネスの様々な場面で役に立つ実務に即した知識と技術が身に付いている。
- 【思考・判断・表現】
簿記をはじめとした様々な知識・技術などを活用し、取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と実務に適用することに伴う課題を見いだすとともに、会計情報が社会に及ぼす影響を踏まえ、簿記に関する理論、企業活動の流れなど科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく課題に対応する力が身に付いている。
- 【主体的に学習に取り組む姿勢】
企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら簿記について学ぶ態度および組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識を持ち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、記帳・決算など適正な取引の記録と財務諸表の作成に責任を持って取り組む態度が身に付いている。

4 評価方法

各学期の評価は、上記三つの観点と踏まえ、定期考査、単元テスト、実習の成果物、提出物、小テスト、学習態度（発表や意欲）、検定取得状況、出欠等を基に総合的に評価します。学年末の評価は、各学期の成績を基に算出します。

5 学習へのアドバイス

自分の力で様々な課題に挑戦し、授業を通して、簿記に関する基礎的な知識・技術を習得し、経済社会で生きていく力を身に付けてください。また、目標は簿記検定2級取得ですが、もっと上のレベルを目指して勉強してください。